

# 広島市こども・若者アンケート調査

## 報告書

令和8年3月  
広島市こども未来局



# 目次

調査の概要	1
1. 調査目的等	1
2. 回答者の属性	2
<b>I 調査の結果</b>	<b>5</b>
1. 広島市居住者が感じる都市の魅力	5
2. 卒業後の進路	7
3. 県内の大学等が進学先候補となる条件	9
4. 就職先の希望	11
5. 県内の企業が就職先候補となる条件	13
6. 社会生活・日常生活での困難さの有無	15
7. 困難さの主因	17
8. 困りごと・悩みごとの相談手段の希望	20
9. オンライン上の悩みを共有する場（オンラインサロン・メタバース）の利用意向	23
10. 広島市における「こども・若者の遊び・活動環境」	26
11. 家や学校以外で「行ってみたい・あったらいい」と思う居場所	29
12. 三滝少年自然の家の利用経験	33
13. 三滝少年自然の家に望む機能・設備	36
14. 三滝少年自然の家で体験したいプログラム	41
15. 児童館で遊んだ経験	45
16. 児童館で楽しかったことや魅力的に感じたこと	46
17. 児童館への要望	48
18. 児童館へ遊びに行ったことがない理由	49
19. 放課後児童クラブの利用	50
20. 放課後児童クラブに置いてほしいものや設備	52
21. 「インクルーシブ公園」の認知状況	54
22. 公園に時計がなくて困った経験	57
23. 平日の放課後における読書時間	60
24. 本の入手・閲覧方法	61
25. 読書をしなかった理由	62
26. インターネット利用で経験した困りごと	64
27. 成年年齢の引き下げに対する不安	69
28. 成年年齢の引き下げに不安を感じる内容	72
29. 消費者トラブル時の相談先の認知状況	75
30. 「エシカル消費」の認知状況	78
31. 実施しているエシカル消費の内容	80
<b>II 設問一覧</b>	<b>83</b>

## 調査の概要

### 1. 調査目的等

- 1) 調査目的：広島市の子ども・若者に関する施策に関し、子ども・若者等の意見やニーズ等を把握し、その意見等を施策へ反映させる取組を推進するため。
- 2) 調査実施方法：郵送配付・オンライン回答、無記名自記式
- 3) 調査時期：令和7年8月
- 4) 調査対象者：令和7年4月1日現在、広島市内の小学生、中学生及び15歳以上18歳未満の者とその保護者、並びに18歳以上29歳以下の者
- 5) 抽出方法：住民基本台帳より、居住区及び令和7年4月1日現在の満年齢を元に区分し無作為抽出
- 6) 送付数：12,000件
- 7) 調査結果の表示方法：
  - 表やグラフ中の「n」は、回答総数を表している。
  - 表やグラフ、文中の「高校生等」は、15歳以上18歳未満の者を、「大学生等」は、18歳以上29歳以下の者のうち「大学生・専門学生等」と回答した者を表している。
  - 比率(%)は小数点以下第2位を四捨五入で算出しているため、合計が合わないことや100%にならないことがある。
  - 表やグラフ、文章において、回答の選択肢等の表現を一部省略している場合がある。
  - グラフでは、見やすさを優先し、「0.0%」の数値表示を省略しているものがある。

### 8) 送付数及び回収数：

	対象者の区分	送付数	回収数	回収率
ア	小学生(1~3年生)	1,000件	183人	18.3%
イ	小学生(4~6年生)	1,000件	155人	15.5%
ウ	中学生	1,000件	171人	17.1%
エ	15歳以上18歳未満の者	1,000件	182人	18.2%
オ	18歳以上22歳未満の者	2,000件	236人	11.8%
カ	22歳以上29歳以下の者	2,000件	316人	15.8%
キ	ア~エの保護者	4,000件	734人	18.4%
	計	12,000件	1,977人	16.5%

## 2. 回答者の属性

### 1) 居住区

	合計	中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
小学生（1～3年生）	183人	25人	14人	25人	29人	40人	13人	12人	25人
	100.0%	13.7%	7.7%	13.7%	15.8%	21.9%	7.1%	6.6%	13.7%
小学生（4～6年生）	155人	13人	19人	22人	16人	42人	12人	10人	21人
	100.0%	8.4%	12.3%	14.2%	10.3%	27.1%	7.7%	6.5%	13.5%
中学生	171人	22人	17人	28人	18人	43人	15人	8人	20人
	100.0%	12.9%	9.9%	16.4%	10.5%	25.1%	8.8%	4.7%	11.7%
15歳以上18歳未満の者	182人	18人	17人	20人	21人	48人	13人	13人	32人
	100.0%	9.9%	9.3%	11.0%	11.5%	26.4%	7.1%	7.1%	17.6%
18歳以上22歳未満の者	236人	17人	26人	32人	41人	48人	24人	18人	30人
	100.0%	7.2%	11.0%	13.6%	17.4%	20.3%	10.2%	7.6%	12.7%
22歳以上29歳以下の者	316人	54人	32人	42人	51人	75人	20人	18人	24人
	100.0%	17.1%	10.1%	13.3%	16.1%	23.7%	6.3%	5.7%	7.6%
小学生から18歳未満の者の保護者	734人	71人	76人	94人	97人	180人	61人	41人	114人
	100.0%	9.7%	10.4%	12.8%	13.2%	24.5%	8.3%	5.6%	15.5%

### 2) 性別

	合計	男性	女性	その他・答えたくない
小学生（1～3年生）	183人	92人	89人	2人
	100.0%	50.3%	48.6%	1.1%
小学生（4～6年生）	155人	73人	80人	2人
	100.0%	47.1%	51.6%	1.3%
中学生	171人	73人	94人	4人
	100.0%	42.7%	55.0%	2.3%
15歳以上18歳未満の者	179人	81人	94人	4人
	100.0%	45.3%	52.5%	2.2%
18歳以上22歳未満の者	236人	97人	134人	5人
	100.0%	41.1%	56.8%	2.1%
22歳以上29歳以下の者	316人	107人	206人	3人
	100.0%	33.9%	65.2%	0.9%
小学生から18歳未満の者の保護者	734人	161人	561人	12人
	100.0%	21.9%	76.4%	1.6%

### 3) 職業

	合計	生徒・学生	社会人				
			会社員等	自営業	公務員	アルバイト・等	無職
15歳以上18歳未満の者	182人	180人	1人	0人	0人	1人	0人
	100.0%	98.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
18歳以上22歳未満の者	236人	195人	21人	0人	4人	10人	6人
	100.0%	82.6%	8.9%	0.0%	1.7%	4.2%	2.5%
22歳以上29歳以下の者	316人	18人	191人	4人	34人	46人	23人
	100.0%	5.7%	60.4%	1.3%	10.8%	14.6%	7.3%
小学生から18歳未満の者の保護者	734人	0人	279人	35人	76人	225人	119人
	100.0%	0.0%	38.0%	4.8%	10.4%	30.7%	16.2%

### 4) 同居家族の人数

	合計	1人 (自分だけ)	2人	3人	4人	5人	6人以上
18歳以上22歳未満の者	236人	25人	16人	55人	93人	36人	11人
	100.0%	10.6%	6.8%	23.3%	39.4%	15.3%	4.7%
22歳以上29歳以下の者	316人	70人	95人	90人	44人	15人	2人
	100.0%	22.2%	30.1%	28.5%	13.9%	4.7%	0.6%
小学生から18歳未満の者の保護者	734人	0人	22人	137人	332人	195人	48人
	100.0%	0.0%	3.0%	18.7%	45.2%	26.6%	6.5%

5) 同居家族の構成

	合計	一人暮らし	夫婦のみ	(親と同居) 二世帯	(子と同居) 二世帯	三世帯	その他
18歳以上22歳未満の者	236人	29人	3人	180人	3人	17人	4人
	100.0%	12.3%	1.3%	76.3%	1.3%	7.2%	1.7%
22歳以上29歳以下の者	316人	70人	68人	104人	50人	8人	16人
	100.0%	22.2%	21.5%	32.9%	15.8%	2.5%	5.1%
小学生から18歳未満の者の保護者	734人	0人	15人	35人	646人	27人	11人
	100.0%	0.0%	2.0%	4.8%	88.0%	3.7%	1.5%

6) 配偶関係

	合計	既婚	未婚	離婚・死別
18歳以上22歳未満の者	236人	1人	234人	1人
	100.0%	0.4%	99.2%	0.4%
22歳以上29歳以下の者	316人	118人	196人	2人
	100.0%	37.3%	62.0%	0.6%
小学生から18歳未満の者の保護者	734人	674人	10人	50人
	100.0%	91.8%	1.4%	6.8%

7) 経済的な面での生活状況

(経済的な意味で、現在の暮らしをどう感じているか。)

	合計	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	大変ゆとりがある
小学生から18歳未満の者の保護者	734人	88人	253人	293人	84人	16人
	100.0%	12.0%	34.5%	39.9%	11.4%	2.2%

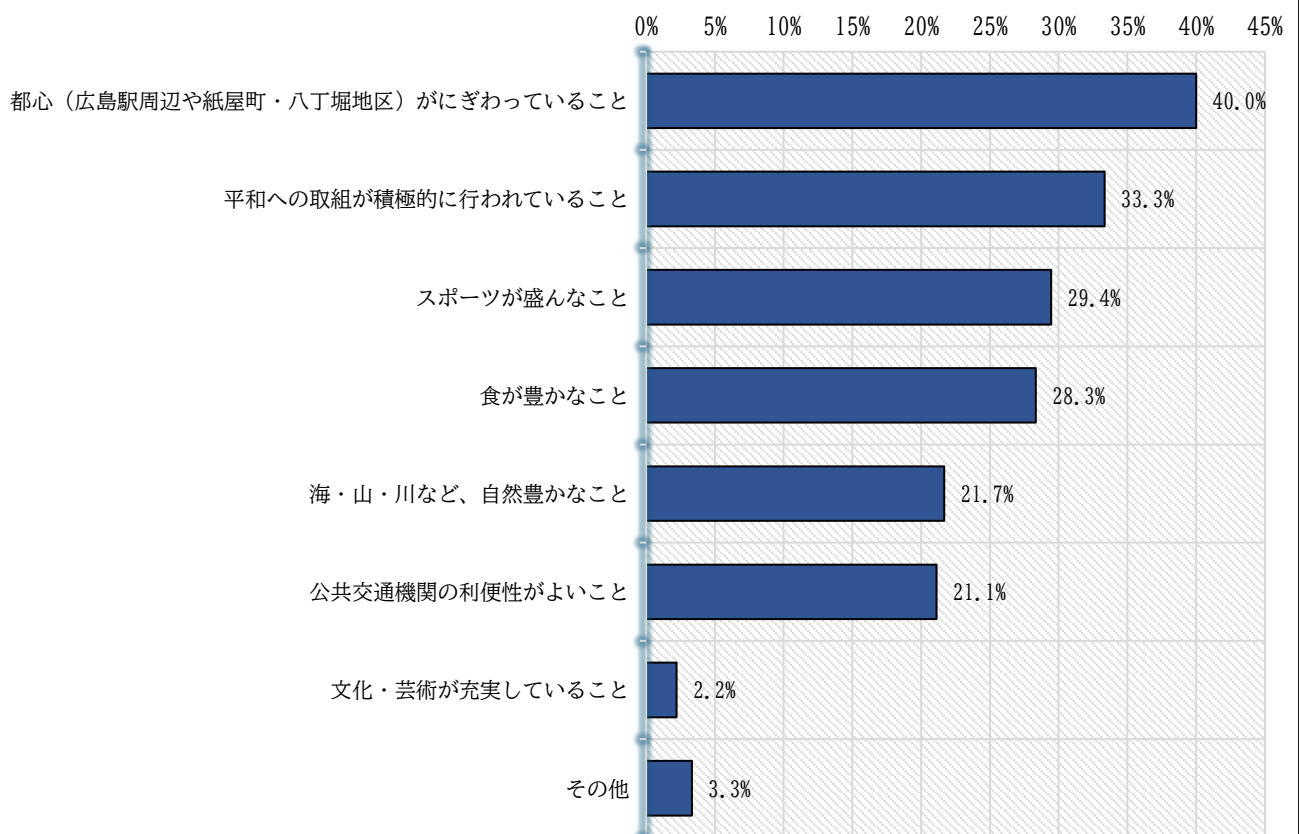
# I 調査の結果

## 1. 広島市居住者が感じる都市の魅力

### 1) 高校生

広島市居住者が感じる都市の魅力について、「都心（広島駅周辺や紙屋町・八丁堀地区）がにぎわっていること」が40.0%で最も高く、次いで「平和への取組が積極的に行われていること」が33.3%、「スポーツが盛んなこと」が29.4%となっている。

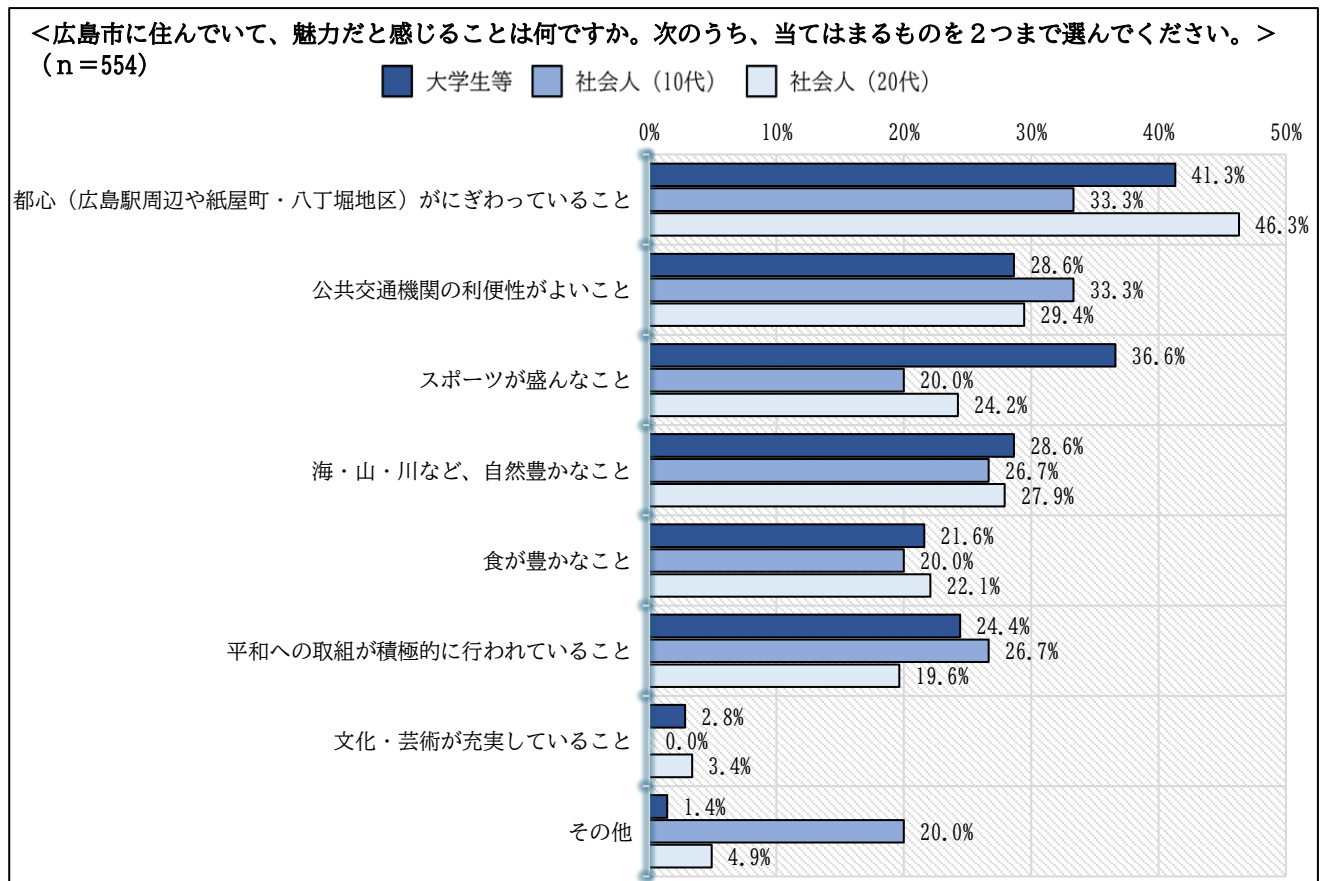
<広島市に住んでいて、魅力だと感じることは何ですか。次のうち、当てはまるものを2つまで選んでください。>  
(n=180)



## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

広島市居住者が感じる都市の魅力について、全ての年代で「都心（広島駅周辺や紙屋町・八丁堀地区）がにぎわっていること」が最も高く、大学生等が41.3%、社会人（10代）が33.3%、社会人（20代）が46.3%となっており、社会人（10代）では、「公共交通機関の利便性がよいこと」が同じく33.3%となっている。

次いで、大学生等では、「スポーツが盛んなこと」が36.6%、社会人（10代）では、「海・山・川など、自然豊かなこと」と「平和への取組が積極的に行われていること」がともに26.7%、社会人（20代）では、「公共交通機関の利便性がよいこと」が29.4%となっている。



	都心（広島駅周辺や紙屋町・八丁堀地区）がにぎわっていること	公共交通機関の利便性がよいこと	スポーツが盛んなこと	海・山・川など、自然豊かなこと	食が豊かなこと	平和への取組が積極的に行われていること	文化・芸術が充実していること	その他
大学生等	41.3%	28.6%	36.6%	28.6%	21.6%	24.4%	2.8%	1.4%
社会人（10代）	33.3%	33.3%	20.0%	26.7%	20.0%	26.7%	0.0%	20.0%
社会人（20代）	46.3%	29.4%	24.2%	27.9%	22.1%	19.6%	3.4%	4.9%
全体	44.0%	29.2%	28.9%	28.2%	21.8%	21.7%	3.1%	4.0%

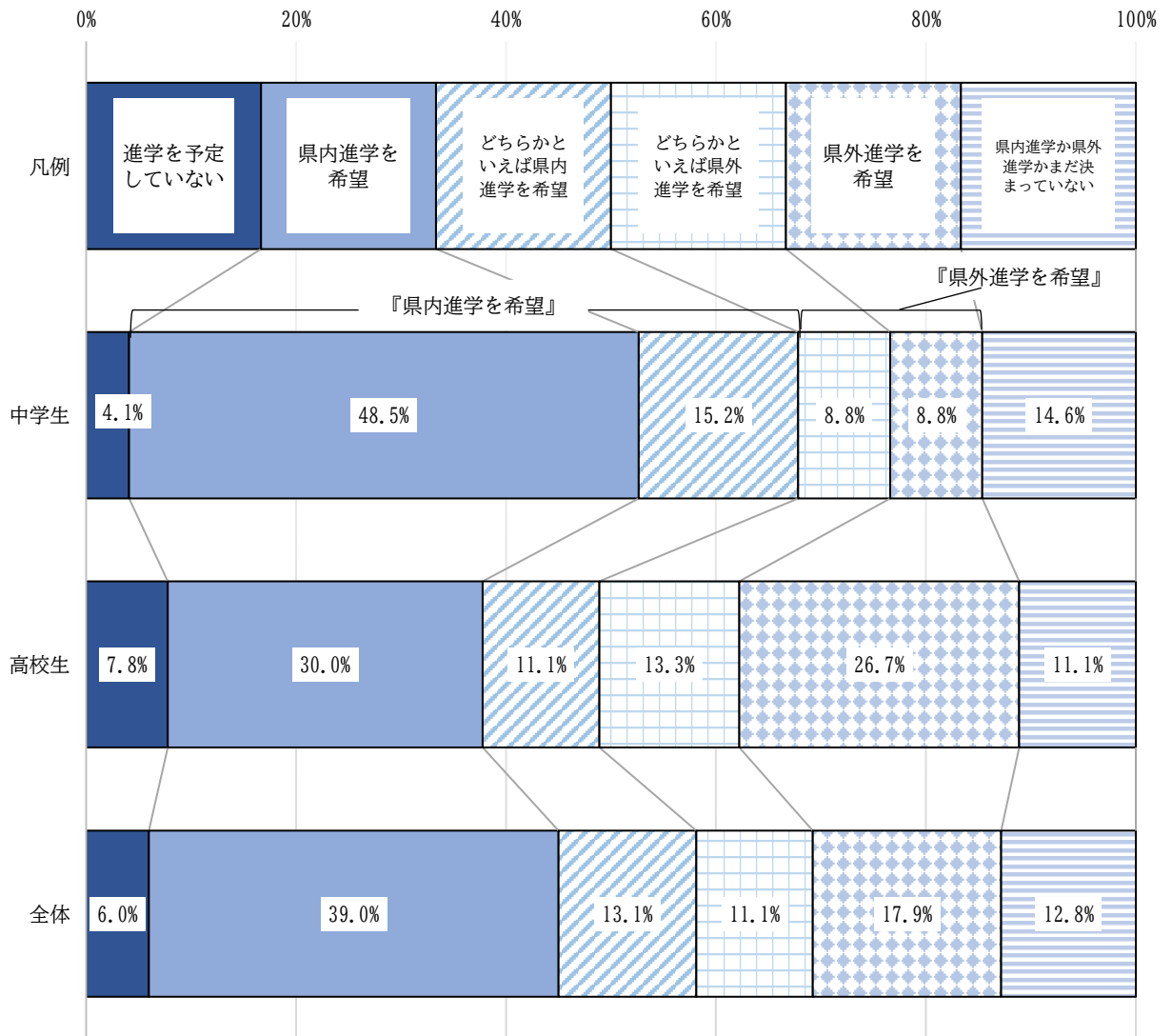
## 2. 卒業後の進路

### 1) 中学生、高校生

卒業後の進路について、全体では、『県内進学を希望（「県内進学を希望」と「どちらかといえば県内進学を希望」を合わせた割合）』が半数以上の52.1%となっている。

中学生では、『県内進学を希望』が63.7%となっており、高校生では、41.1%となっている。

<高校卒業後の進学について、進学先は県内と県外のどちらを希望していますか。> (n=351)

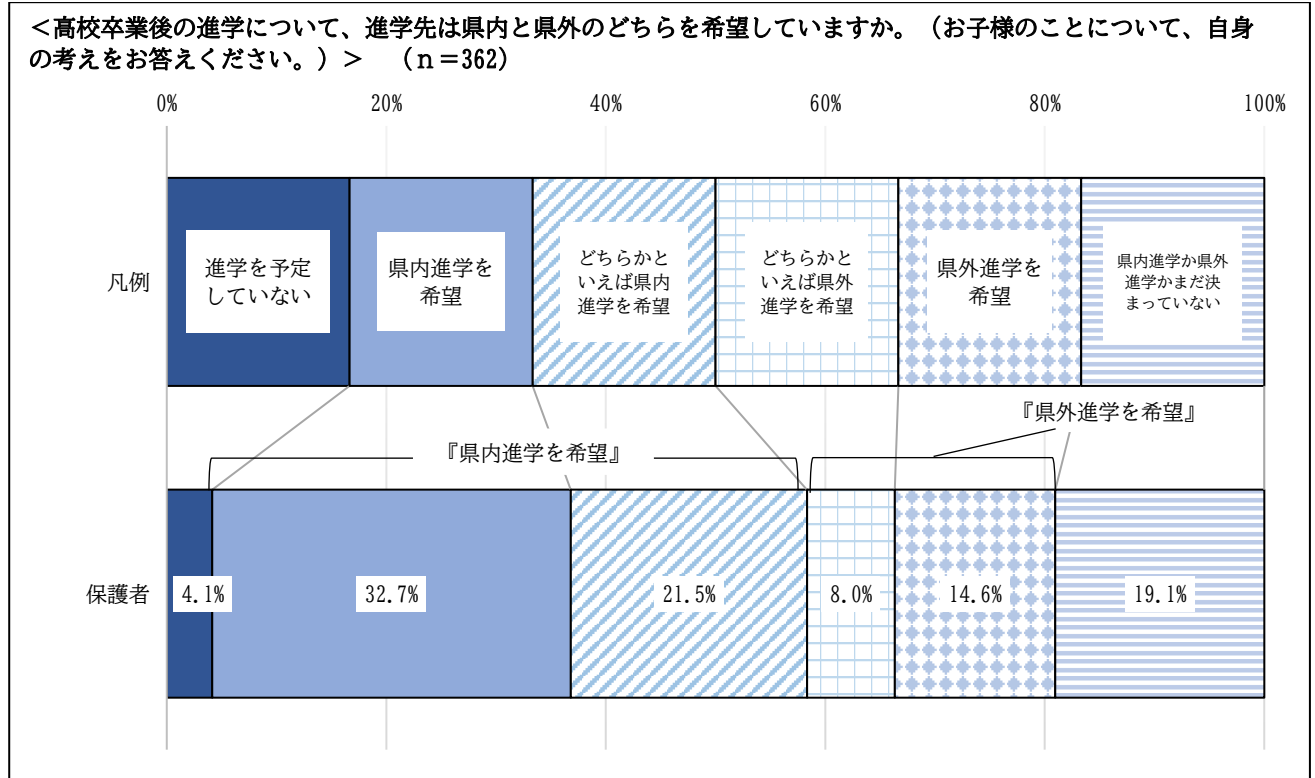


	進学を予定していない	県内進学を希望	どちらかといえば県内進学を希望	どちらかといえば県外進学を希望	県外進学を希望	県内進学か県外進学はまだ決めていない
中学生	4.1%	48.5%	15.2%	8.8%	8.8%	14.6%
高校生	7.8%	30.0%	11.1%	13.3%	26.7%	11.1%
全体	6.0%	39.0%	13.1%	11.1%	17.9%	12.8%

## 2) 保護者

卒業後の進路について、保護者では、『県内進学を希望（「県内進学を希望」と「どちらかといえば県内進学を希望」を合わせた割合）』が半数以上の54.2%となっている。

一方で、『県外進学を希望（「どちらかといえば県外進学を希望」と「県外進学を希望」を合わせた割合）』については、22.6%となっている。



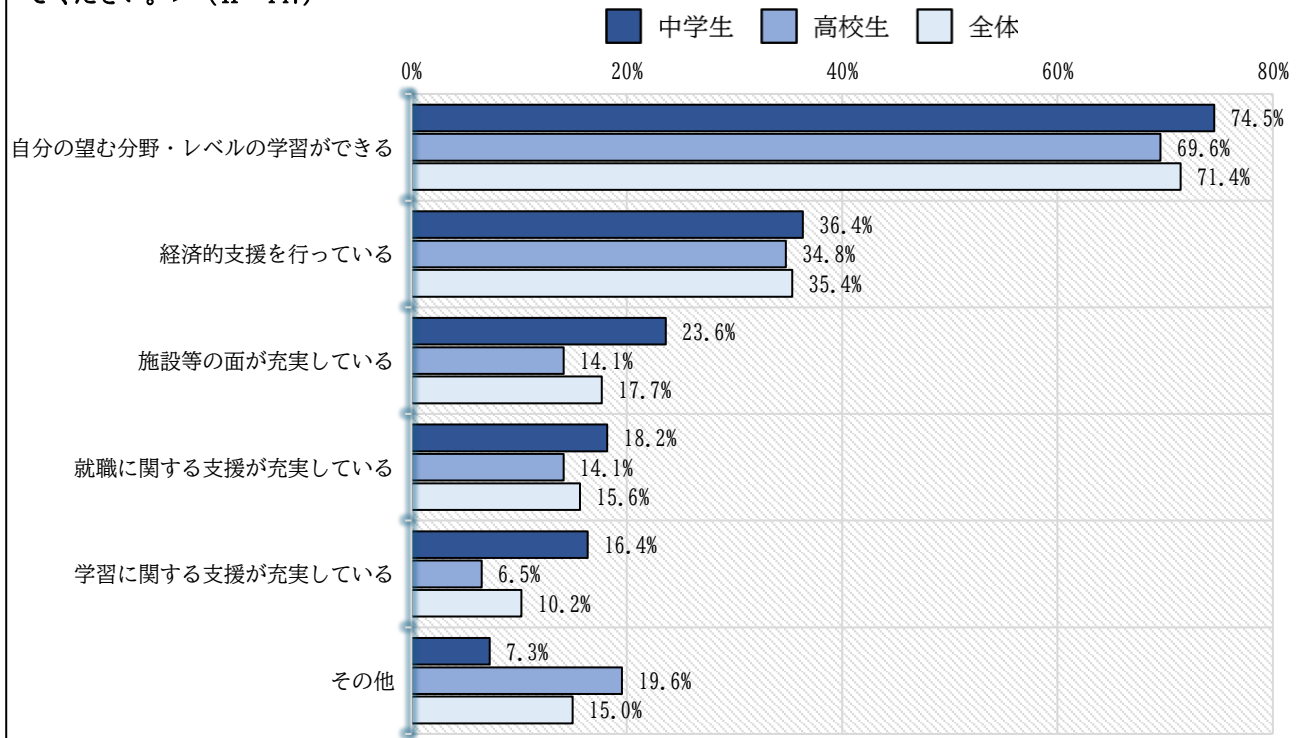
### 3. 県内の大学等が進学先候補となる条件

回答対象： 卒業後の進路について、「どちらかといえば県外進学を希望」、「県外進学を希望」又は「県内進学か県外進学かまだ決まっていない」のいずれかを選択した者

#### 1) 中学生、高校生

県内の大学等が進学先候補となる条件について、中学生、高校生ともに「自分の望む分野・レベルの学習ができる」が最も高く、中学生が74.5%、高校生が69.6%となっている。次いで、中学生、高校生ともに「経済的支援を行っている」が高く、中学生が36.4%、高校生が34.8%となっている。

<どのような条件があれば、県内の大学等が進学先候補となりますか。次のうち、当てはまるものを2つまで選んでください。> (n=147)

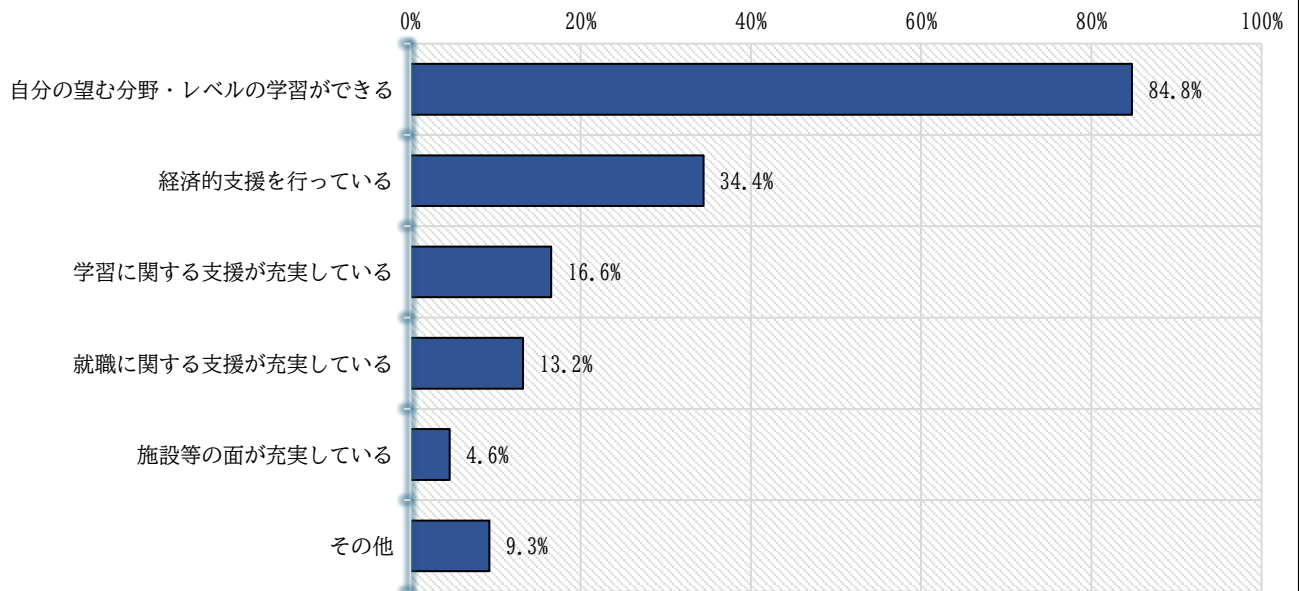


	自分の学習が望む分野・レベル	経済的支援を行っている	施設等の面が充実している	就職に関する支援が充実している	学習に関する支援が充実している	その他
中学生	74.5%	36.4%	23.6%	18.2%	16.4%	7.3%
高校生	69.6%	34.8%	14.1%	14.1%	6.5%	19.6%
全体	71.4%	35.4%	17.7%	15.6%	10.2%	15.0%

## 2) 保護者

県内の大学等が進学先候補となる条件について、保護者では、「自分の望む分野・レベルの学習ができる」が84.8%と最も高く、次いで「経済的支援を行っている」が34.4%、「学習に関する支援が充実している」が16.6%となっている。

＜どのような条件があれば、県内の大学等が進学先候補となりますか。次のうち、当てはまるものを2つまで選んでください。（お子様のことについて、自身の考えをお答えください。）＞（n=151）



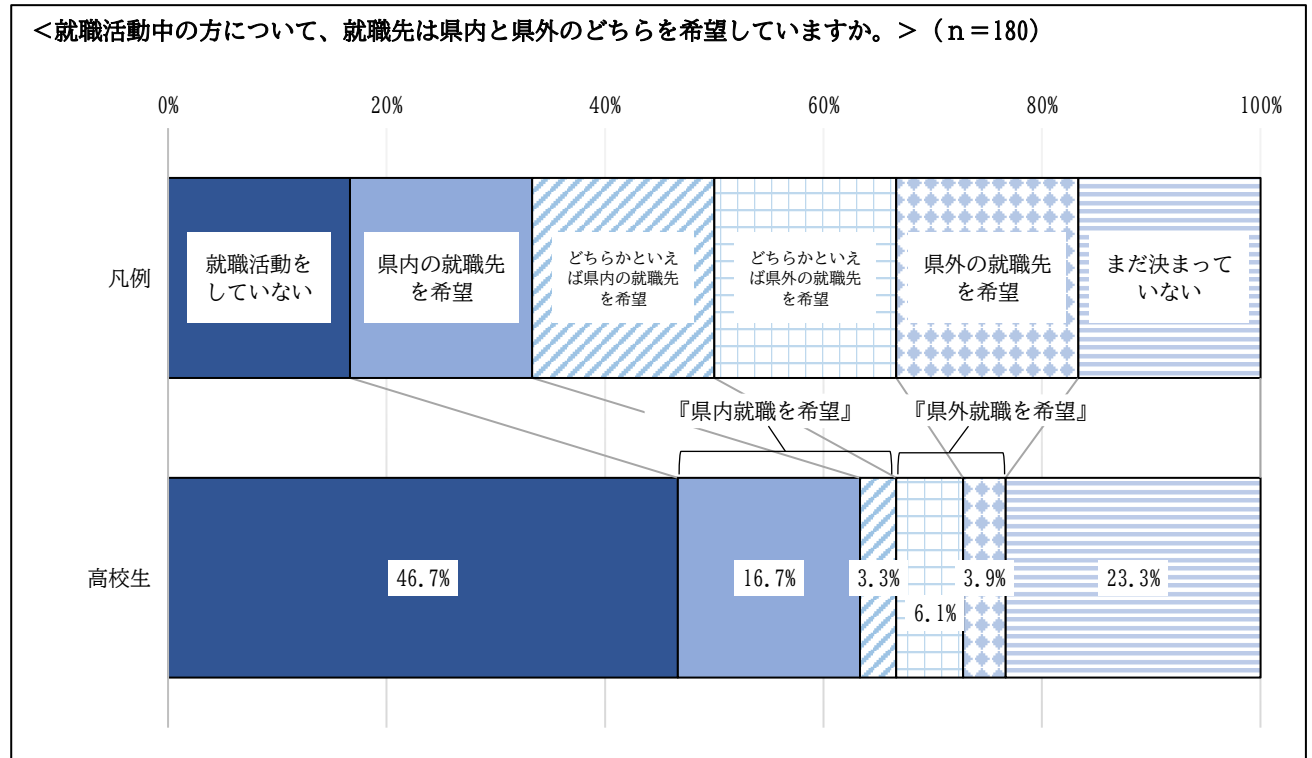
## 4. 就職先の希望

### 1) 高校生

就職先の希望について、「就職活動をしていない」が最も高く46.7%となっている。

『県内就職を希望（「県内の就職先を希望」と「どちらかといえば県内の就職先を希望」を合わせた割合）』が20.0%となっている。

一方で、『県外就職を希望（「どちらかといえば県外の就職先を希望」と「県外の就職先を希望」を合わせた割合）』が10.0%となっている。



	就職活動をしていない	県内の就職先を希望	どちらかといえば県内の就職先を希望	どちらかといえば県外の就職先を希望	県外の就職先を希望	まだ決まっていない
高校生	46.7%	16.7%	3.3%	6.1%	3.9%	23.3%

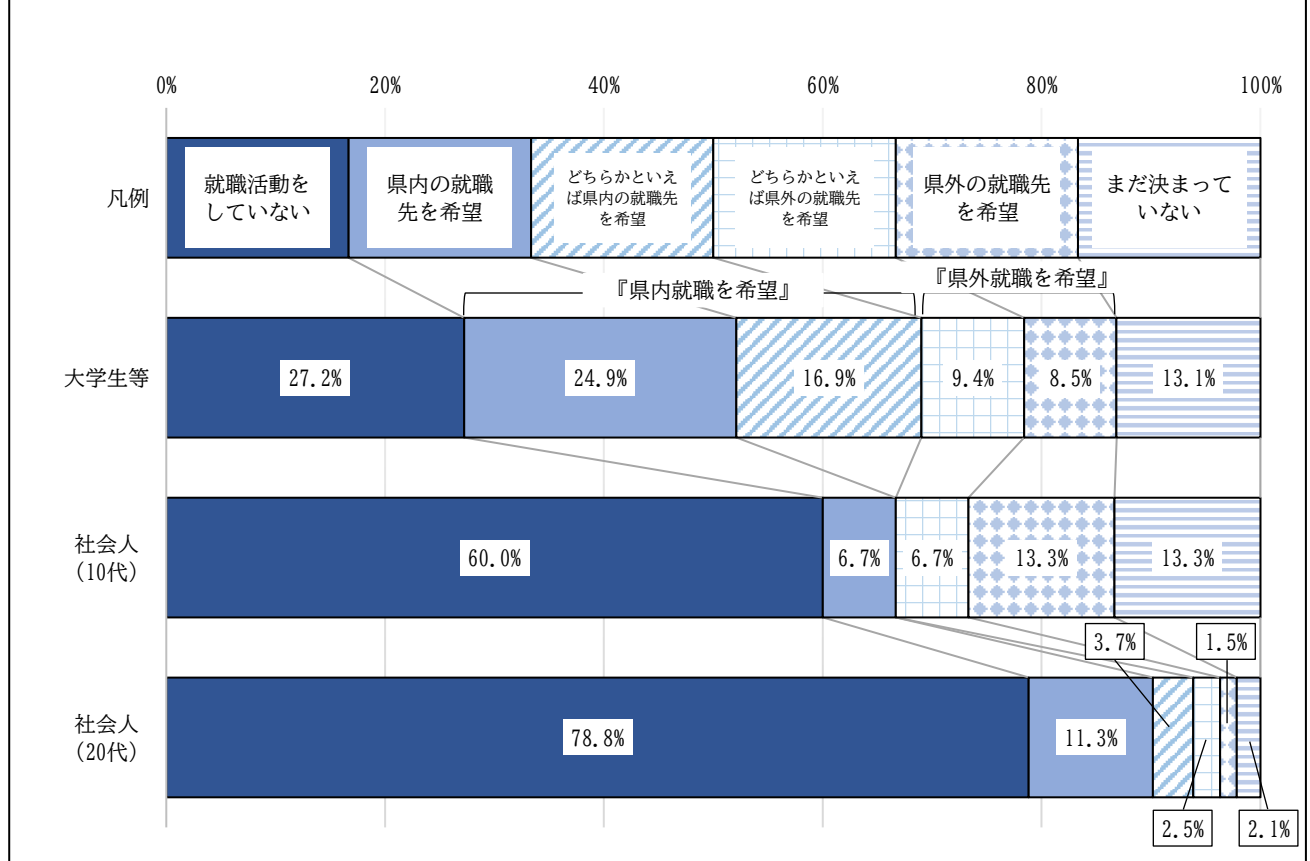
## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

就職先の希望について、大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）のいずれも「就職活動をしていない」が最も高くなっている。

『県内就職を希望（「県内の就職先を希望」と「どちらかといえば県内の就職先を希望」を合わせた割合）』について、大学生等では41.8%、社会人（10代）では6.7%、社会人（20代）では15.0%となっている。

一方で、『県外就職を希望（「どちらかといえば県外の就職先を希望」と「県外の就職先を希望」を合わせた割合）』について、大学生等では17.9%、社会人（10代）では20.0%、社会人（20代）では4.0%となっている。

<就職活動中の方について、就職先は県内と県外のどちらを希望していますか。> (n=554)



	就職活動をしていない	県内の就職先を希望	どちらかといえば県内の就職先を希望	どちらかといえば県外の就職先を希望	県外の就職先を希望	まだ決まっていない
大学生等	27.2%	24.9%	16.9%	9.4%	8.5%	13.1%
社会人 (10代)	60.0%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%
社会人 (20代)	78.8%	11.3%	3.7%	2.5%	1.5%	2.1%
全体	58.5%	16.4%	8.7%	5.2%	4.5%	6.7%

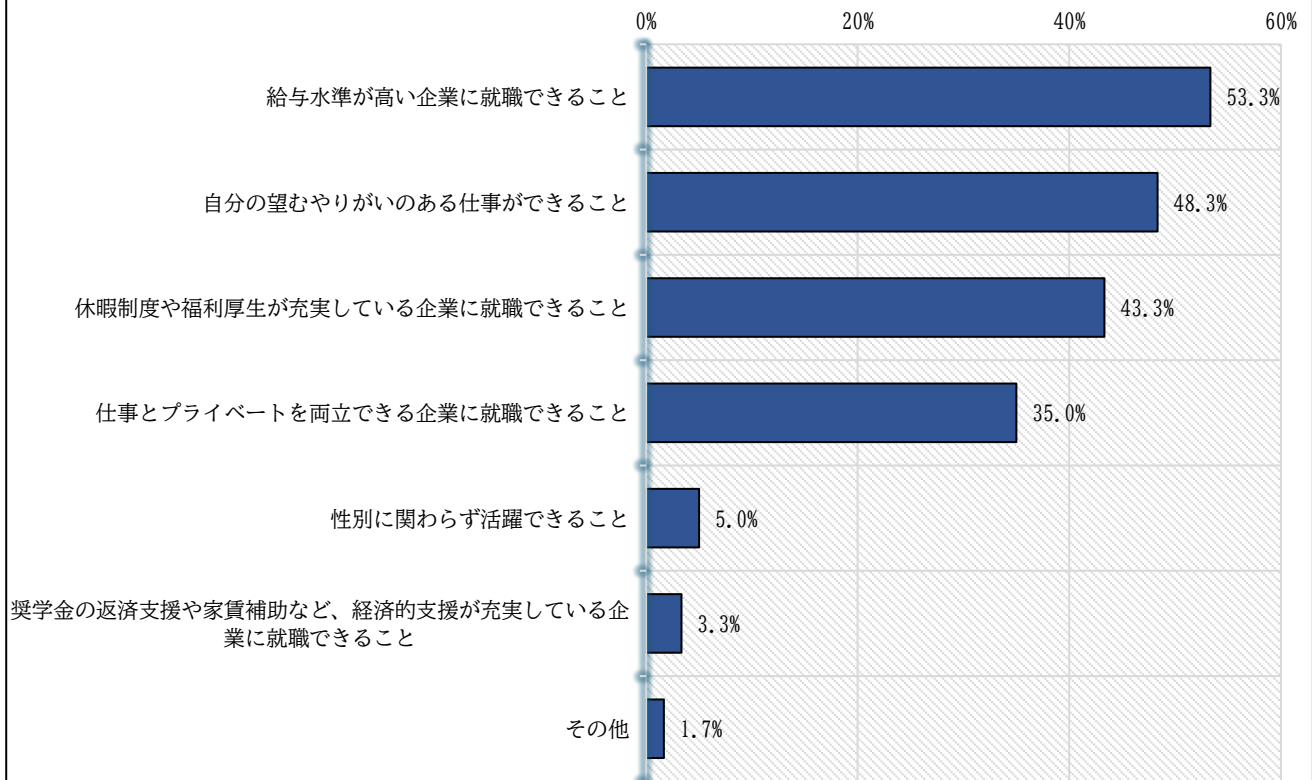
## 5. 県内の企業が就職先候補となる条件

回答対象： 就職先の希望について、「どちらかといえば県外の就職先を希望」、「県外の就職先を希望」又は「まだ決まっていない」のいずれかを選択した者

### 1) 高校生

県内の企業が就職先候補となる条件について、「給与水準が高い企業に就職できること」が53.3%と最も高く、次いで「自分の望むやりがいのある仕事ができること」が48.3%、「休暇制度や福利厚生が充実している企業に就職できること」が43.3%となっている。

<どのような条件があれば、県内の企業が就職先候補となりますか。次のうち、当てはまるものを2つまで選んでください。> (n=60)



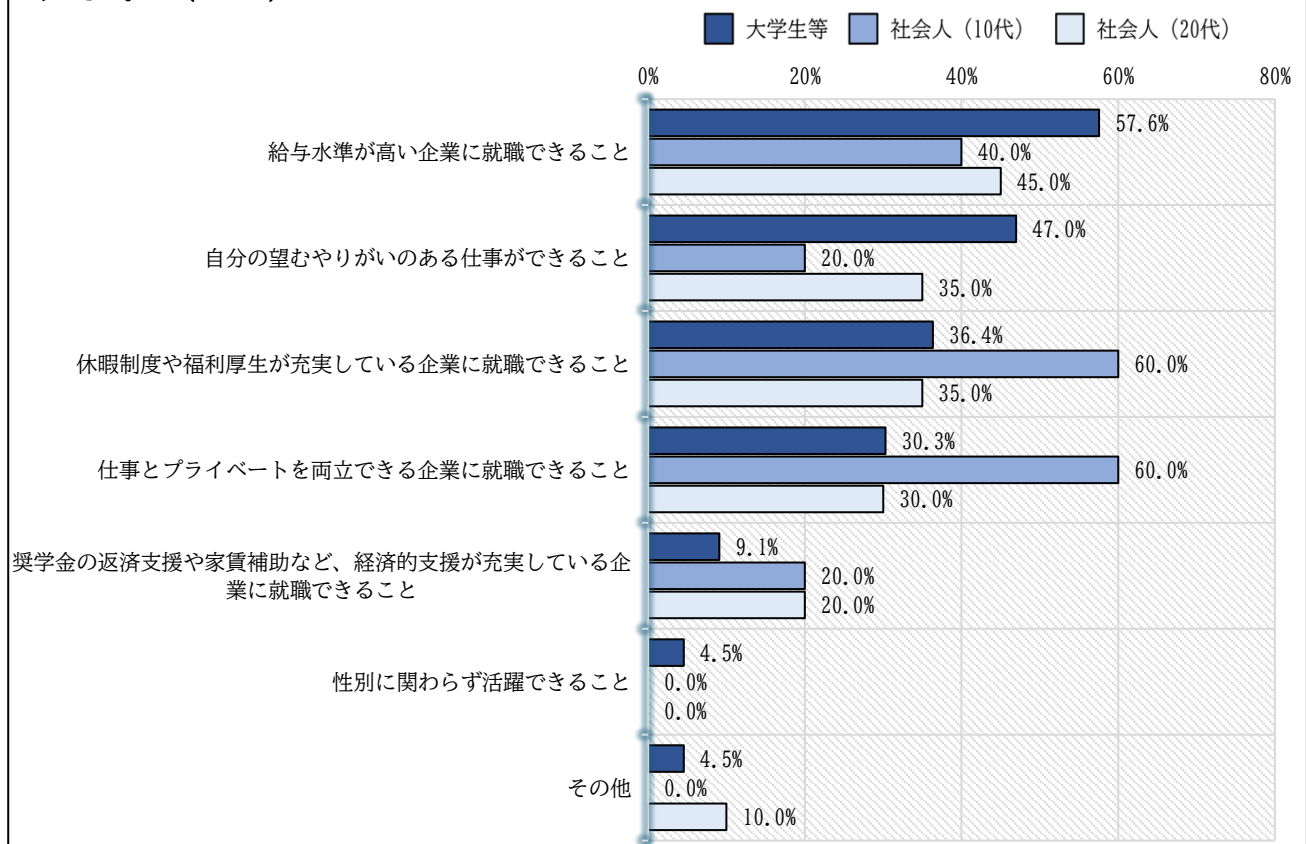
## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

県内の企業が就職先候補となる条件について、大学生等では、「給与水準が高い企業に就職できること」が57.6%と最も高く、次いで「自分の望むやりがいのある仕事ができること」が47.0%、「休暇制度や福利厚生が充実している企業に就職できること」が36.4%となっている。

社会人（10代）では、「休暇制度や福利厚生が充実している企業に就職できること」と「仕事とプライベートが両立できる企業に就職できること」がともに60.0%と最も高く、次いで「給与水準が高い企業に就職できること」が40.0%となっている。

社会人（20代）では、「給与水準が高い企業に就職できること」が45.0%と最も高く、次いで「自分の望むやりがいのある仕事ができること」と「休暇制度や福利厚生が充実している企業に就職できること」がともに35.0%となっている。

<どのような条件があれば、県内の企業が就職先候補となりますか。次のうち、当てはまるものを2つまで選んでください。> (n=91)

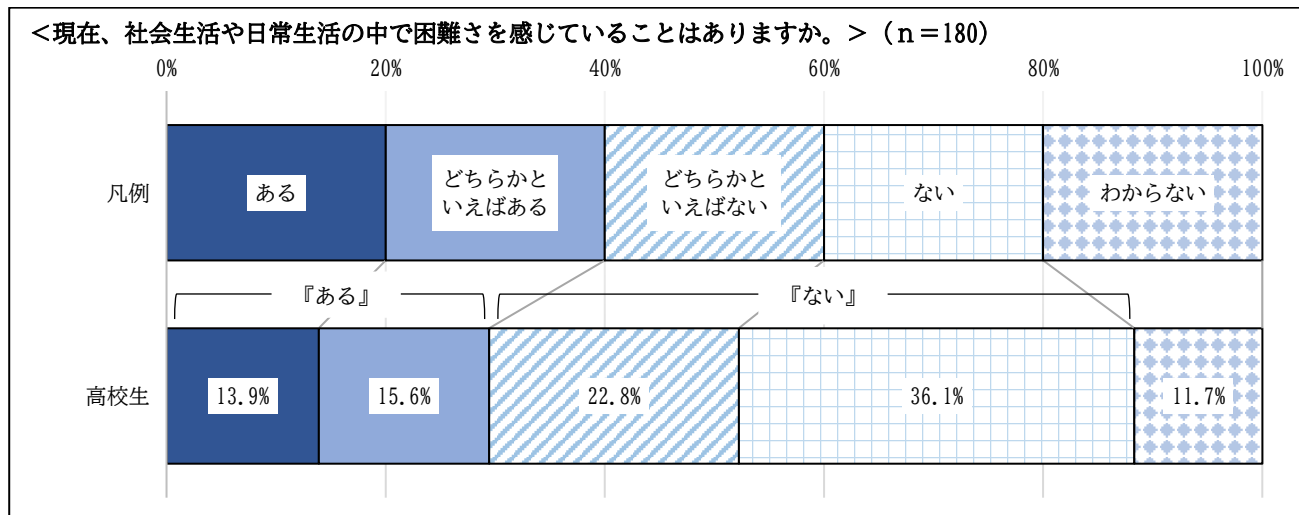


	給与水準が高い企業に就職できること	自分の望むやりがいのある仕事ができること	休暇制度や福利厚生が充実している企業に就職できること	仕事とプライベートを両立できる企業に就職できること	奨学金の返済など、経済的支援が充実している企業に就職できること	性別に関わらず活躍できること	その他
大学生等	57.6%	47.0%	36.4%	30.3%	9.1%	4.5%	4.5%
社会人（10代）	40.0%	20.0%	60.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
社会人（20代）	45.0%	35.0%	35.0%	30.0%	20.0%	0.0%	10.0%
全体	53.8%	42.9%	37.4%	31.9%	12.1%	3.3%	5.5%

## 6. 社会生活・日常生活での困難さの有無

### 1) 高校生

社会生活や日常生活での困難さの有無について、高校生では、『ない（「どちらかといえばない」と「ない」を合わせた割合）』が58.9%、『ある（「ある」と「どちらかといえばある」を合わせた割合）』が29.5%となっている。

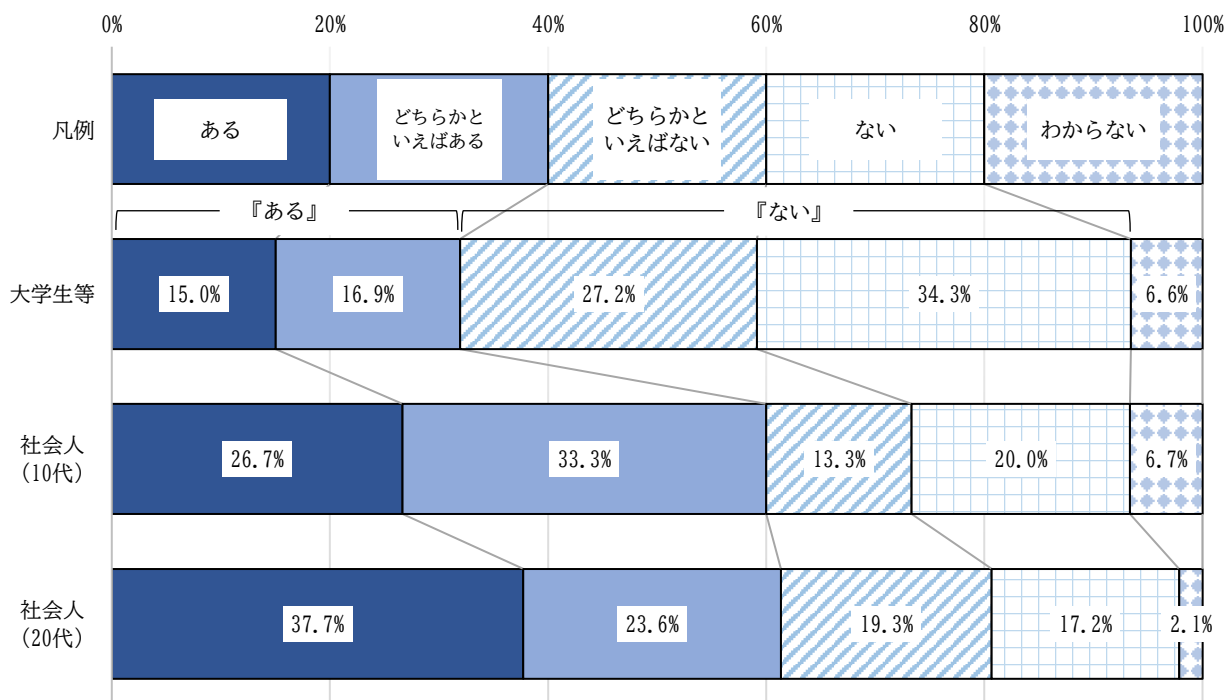


## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

社会生活や日常生活での困難さの有無について、大学生等では、『ある（「ある」と「どちらかといえはあある」を合わせた割合）』が31.9%となっている。

社会人（10代）では、『ある』が60.0%となっており、社会人（20代）では、61.3%となっている。

<現在、社会生活や日常生活の中で困難さを感じていることはありますか。> (n=554)



	ある	どちらかといえはあある	どちらかといえはない	ない	わからない
大学生等	15.0%	16.9%	27.2%	34.3%	6.6%
社会人 (10代)	26.7%	33.3%	13.3%	20.0%	6.7%
社会人 (20代)	37.7%	23.6%	19.3%	17.2%	2.1%
全体	28.7%	21.3%	22.2%	23.8%	4.0%

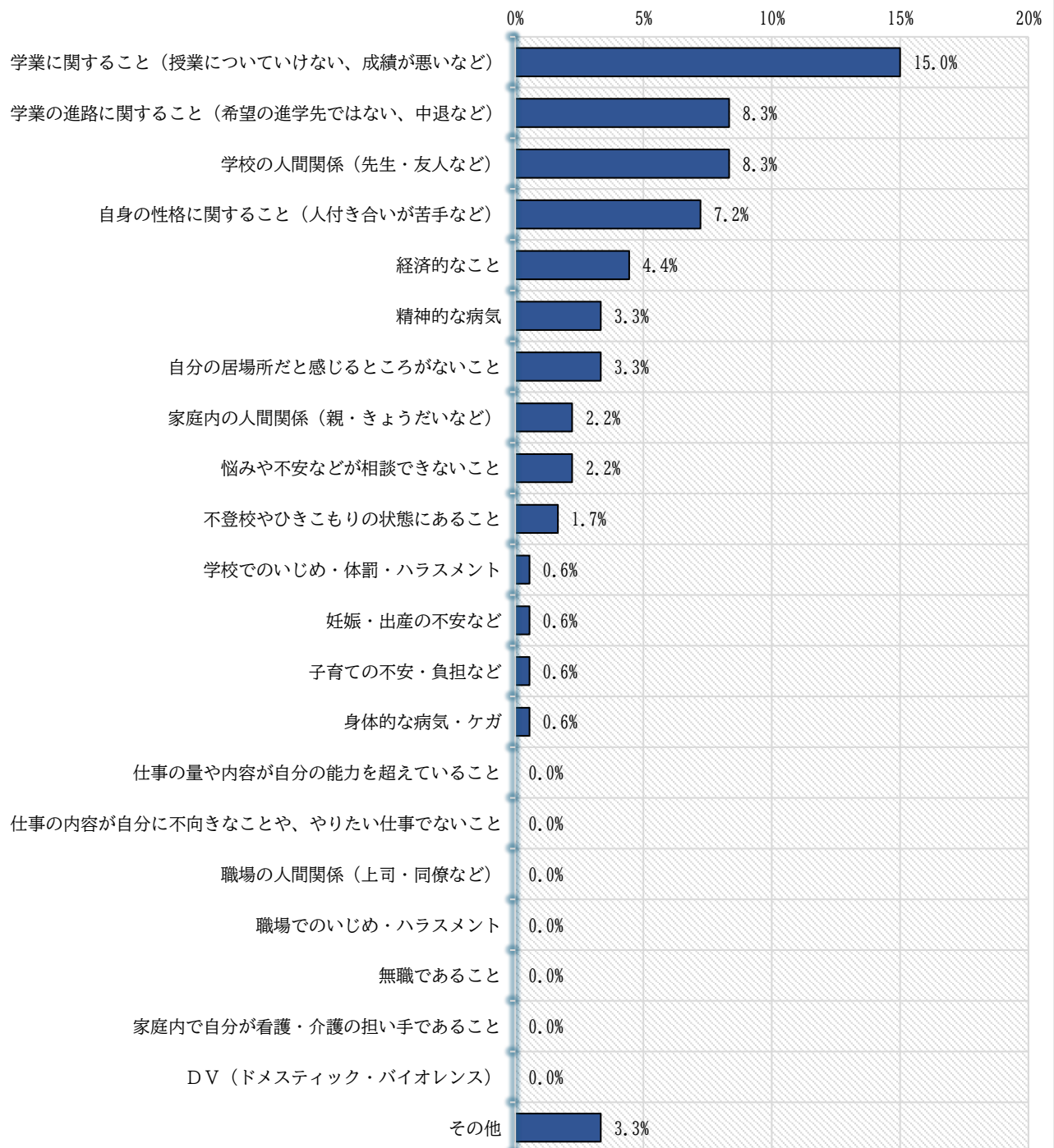
## 7. 困難さの主因

回答対象： 社会生活や日常生活での困難さの有無について、「ある」又は「どちらかといえばある」のいずれかを選択した者

### 1) 高校生

困難さを感じている主な原因について、「学業に関すること（授業についていけない、成績が悪いなど）」が15.0%と最も高く、次いで「学業の進路に関すること（希望の進学先ではない、中退など）」と「学校の間関係（先生・友人など）」がともに8.3%、「自身の性格に関すること（人付き合いが苦手など）」が7.2%となっている。

<困難さを感じている主な原因は何ですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=180)



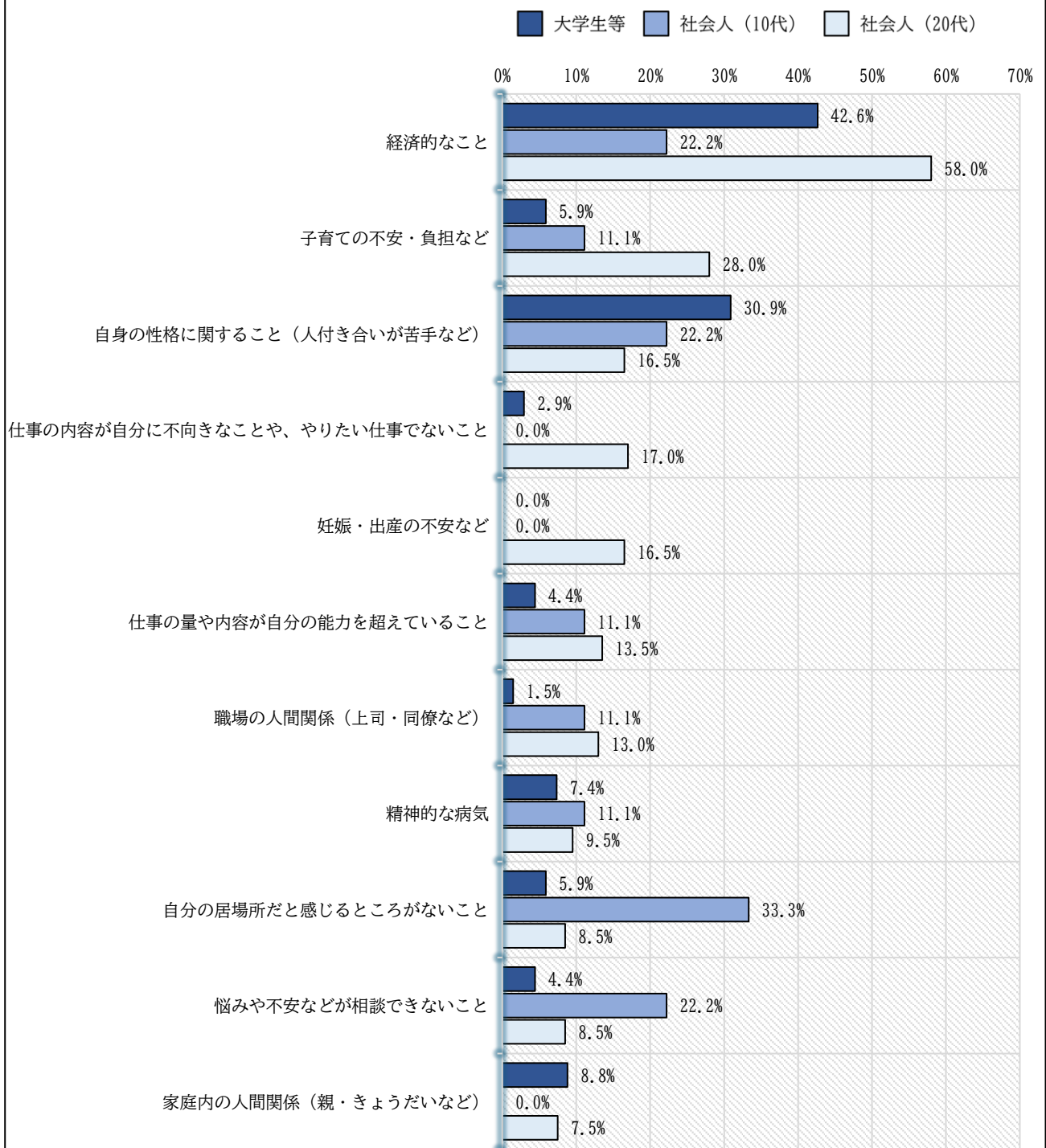
## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

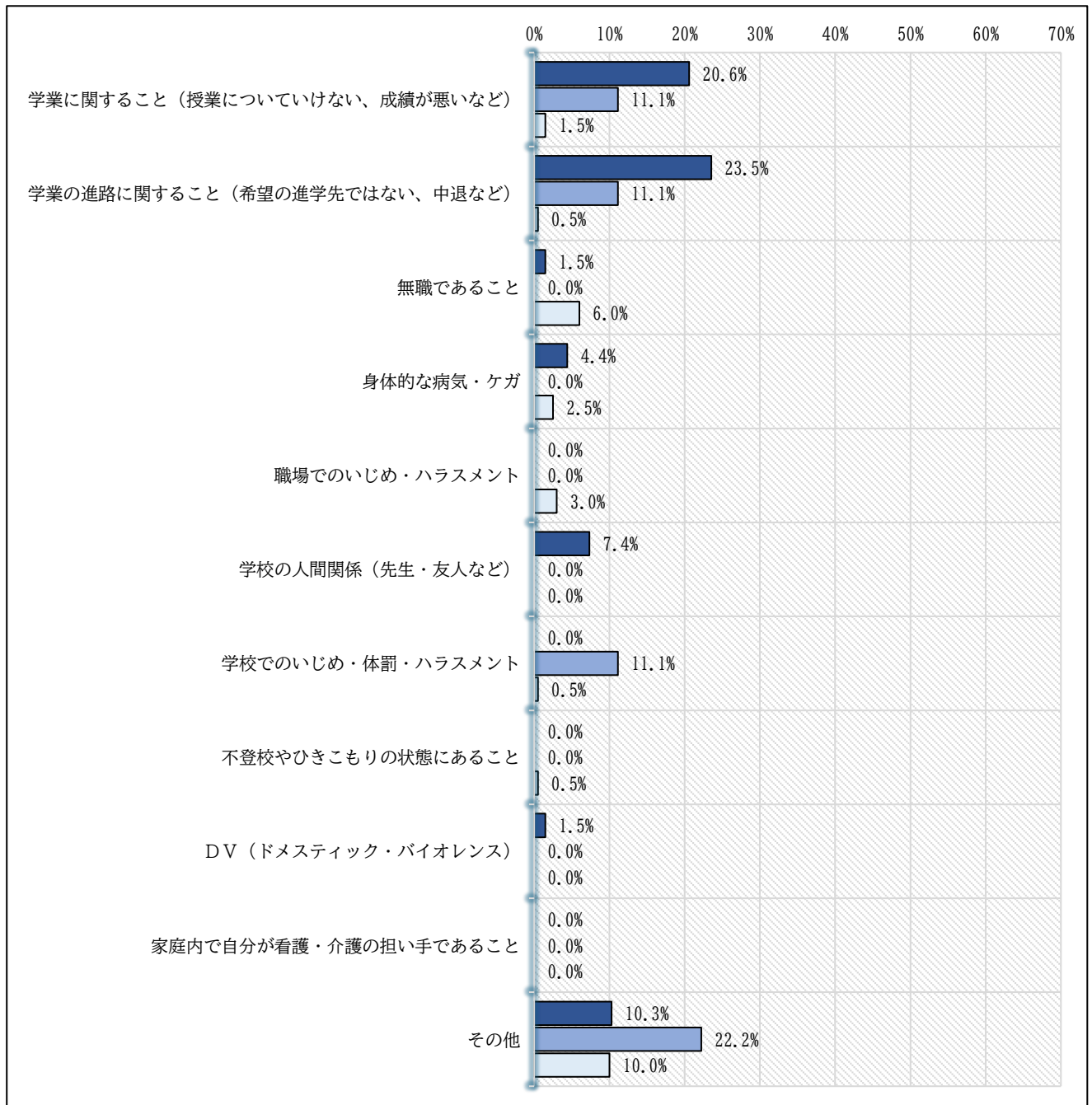
困難さを感じている主な原因について、大学生等では、「経済的なこと」が42.6%と最も高く、次いで「自身の性格に関すること（人付き合いが苦手など）」が30.9%となっている。

社会人（10代）では、「自分の居場所だと感じるところがないこと」が33.3%で最も高く、次いで「経済的なこと」、「自身の性格に関すること（人付き合いが苦手など）」、「悩みや不安などが相談できないこと」が22.2%となっている。

社会人（20代）では、「経済的なこと」が58.0%と最も高く、次いで「子育ての不安・負担など」が28.0%となっている。

<困難さを感じている主な原因は何ですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=277)





	経済的なこと	子育ての不安・負担	自身の性格に関すること (人付き合いなど)	仕事の内容が自分に合わないこと	妊娠・出産の不安	仕事の量や内容が超えていること	職場の人間関係 (上司・同僚など)	精神的な病気	自分の居場所がないこと	悩みや不安などが相対できないこと	家庭内の人間関係 (親・きょうだいなど)
大学生等	42.6%	5.9%	30.9%	2.9%	0.0%	4.4%	1.5%	7.4%	5.9%	4.4%	8.8%
社会人 (10代)	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	0.0%
社会人 (20代)	58.0%	28.0%	16.5%	17.0%	16.5%	13.5%	13.0%	9.5%	8.5%	8.5%	7.5%
全体	53.1%	22.0%	20.2%	13.0%	11.9%	11.2%	10.1%	9.0%	8.7%	7.9%	7.6%

	学業に関すること (授業についていけない、成績が悪いなど)	学業の進路に関すること (希望の進学先ではない、中退など)	無職であること	身体的な病気・ケガ	職場でのいじめ・ハラスメント	学校の人間関係 (先生・友人など)	学校でのいじめ・体罰・ハラスメント	不登校やひきこもりの状態にあること	DV (ドメスティック・バイオレンス)	家庭内で自分が看護・介護の担い手であること	その他
大学生等	20.6%	23.5%	1.5%	4.4%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	10.3%
社会人 (10代)	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
社会人 (20代)	1.5%	0.5%	6.0%	2.5%	3.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	10.0%
全体	6.5%	6.5%	4.7%	2.9%	2.2%	1.8%	0.7%	0.4%	0.4%	0.0%	10.5%

## 8. 困りごと・悩みごとの相談手段の希望

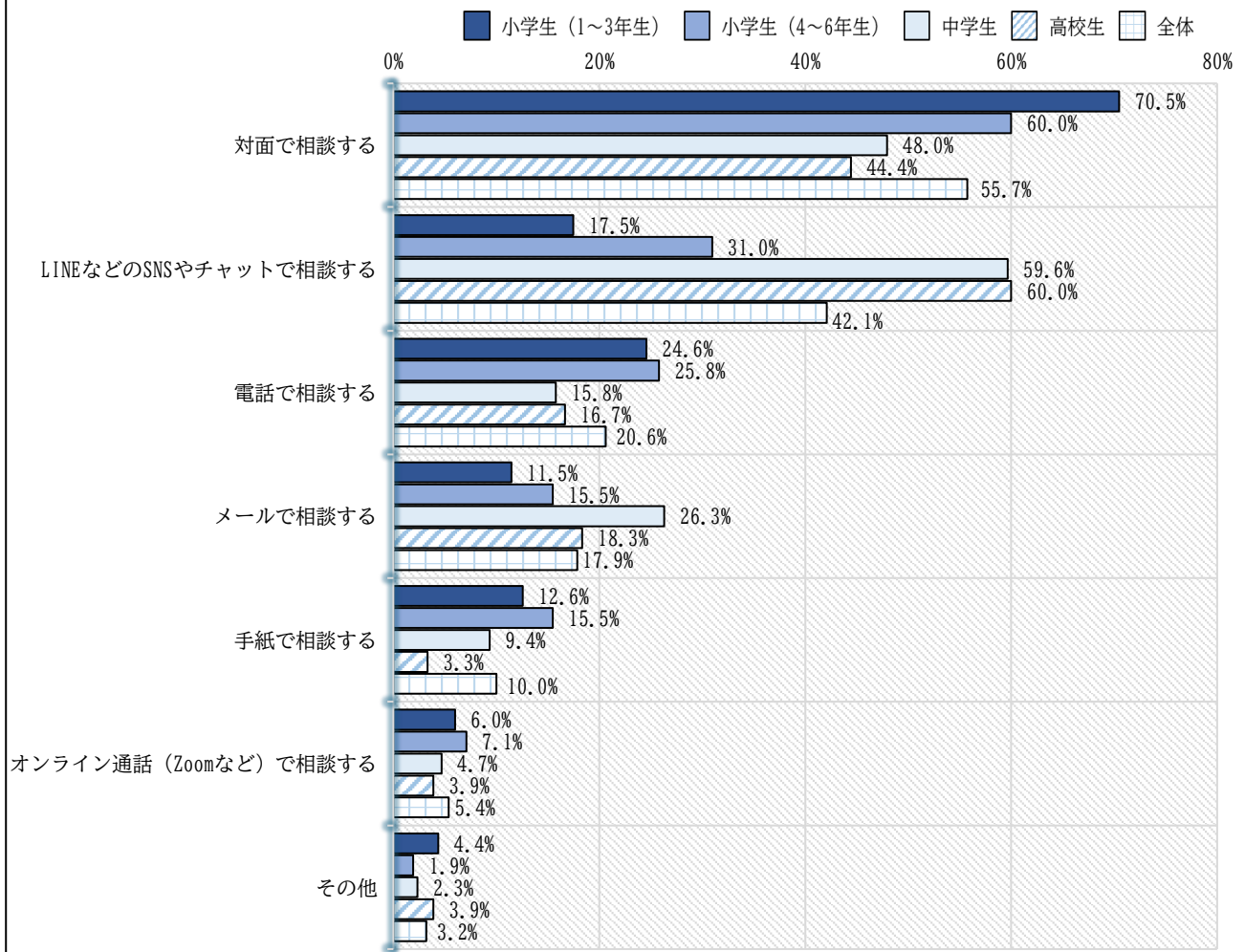
### 1) 小学生、中学生、高校生

困りごとや悩みごとの相談手段の希望について、全体では「対面で相談する」が55.7%と最も高く、次いで「LINEなどのSNSやチャットで相談する」が42.1%、「電話で相談する」が20.6%となっている。

小学生では、小学生（1～3年生）、小学生（4～6年生）ともに「対面で相談する」が最も高く、小学生（1～3年生）が70.5%、小学生（4～6年生）が60.0%となっている。

中学生と高校生では、「LINEなどのSNSやチャットで相談する」が最も高く、中学生が59.6%、高校生が60.0%となっている。

<困りごとや悩みごとがあったときに、どのような方法であれば相談しやすいですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=689)

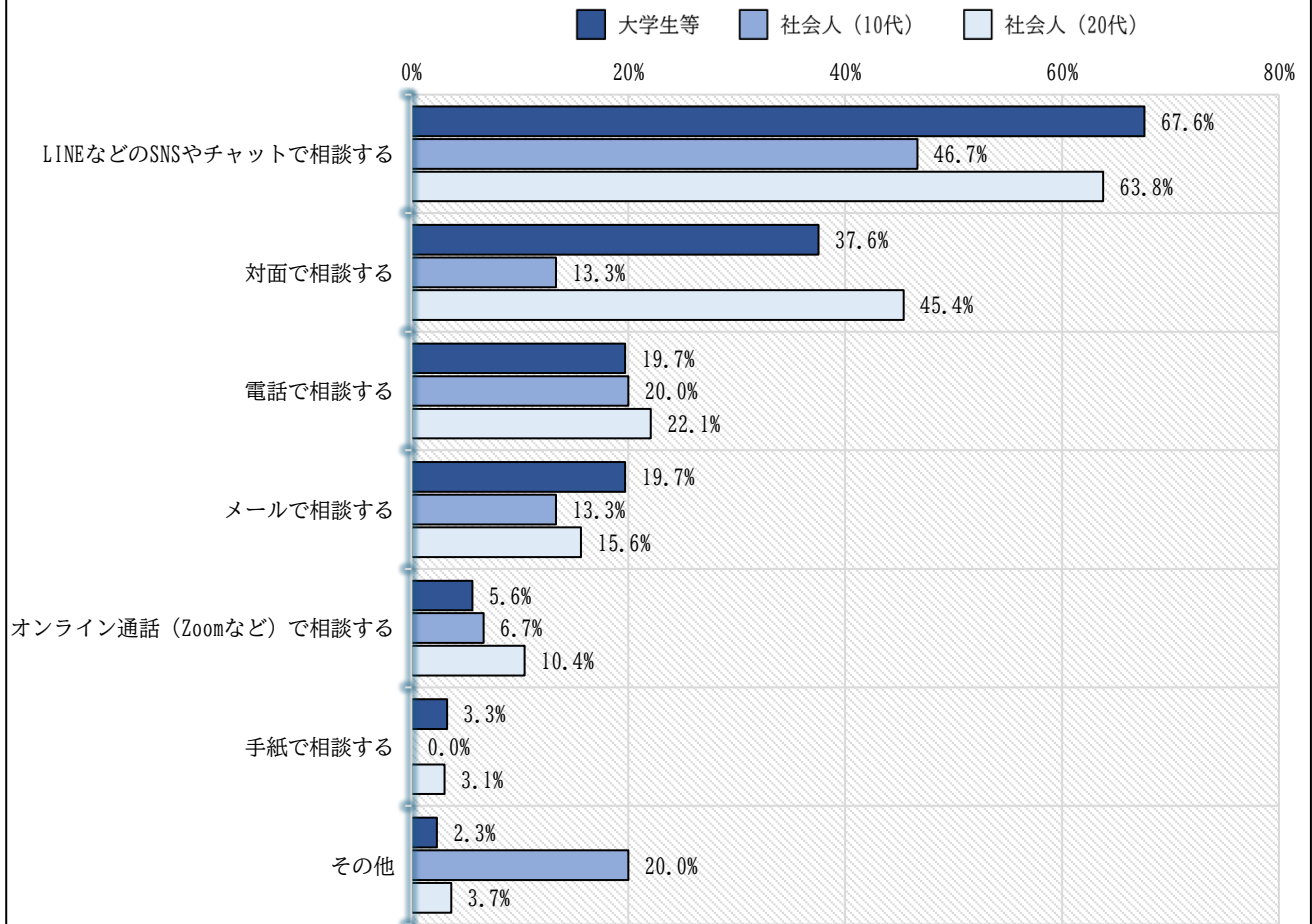


	対面で相談する	LINEなどのSNSやチャットで相談する	電話で相談する	メールで相談する	手紙で相談する	オンライン通話（Zoomなど）で相談する	その他
小学生（1～3年生）	70.5%	17.5%	24.6%	11.5%	12.6%	6.0%	4.4%
小学生（4～6年生）	60.0%	31.0%	25.8%	15.5%	15.5%	7.1%	1.9%
中学生	48.0%	59.6%	15.8%	26.3%	9.4%	4.7%	2.3%
高校生	44.4%	60.0%	16.7%	18.3%	3.3%	3.9%	3.9%
全体	55.7%	42.1%	20.6%	17.9%	10.0%	5.4%	3.2%

## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

困りごとや悩みごとの相談手段の希望について、大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）いずれも「LINEなどのSNSやチャットで相談する」が最も高く、大学生等が67.6%、社会人（10代）が46.7%、社会人（20代）が63.8%となっている。次いで、大学生等と社会人（20代）では、「対面で相談する」が高く、大学生等が37.6%、社会人（20代）が45.4%となっており、社会人（10代）では、「電話で相談する」が20.0%となっている。

<困りごとや悩みごとがあったときに、どのような方法であれば相談しやすいですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=554)

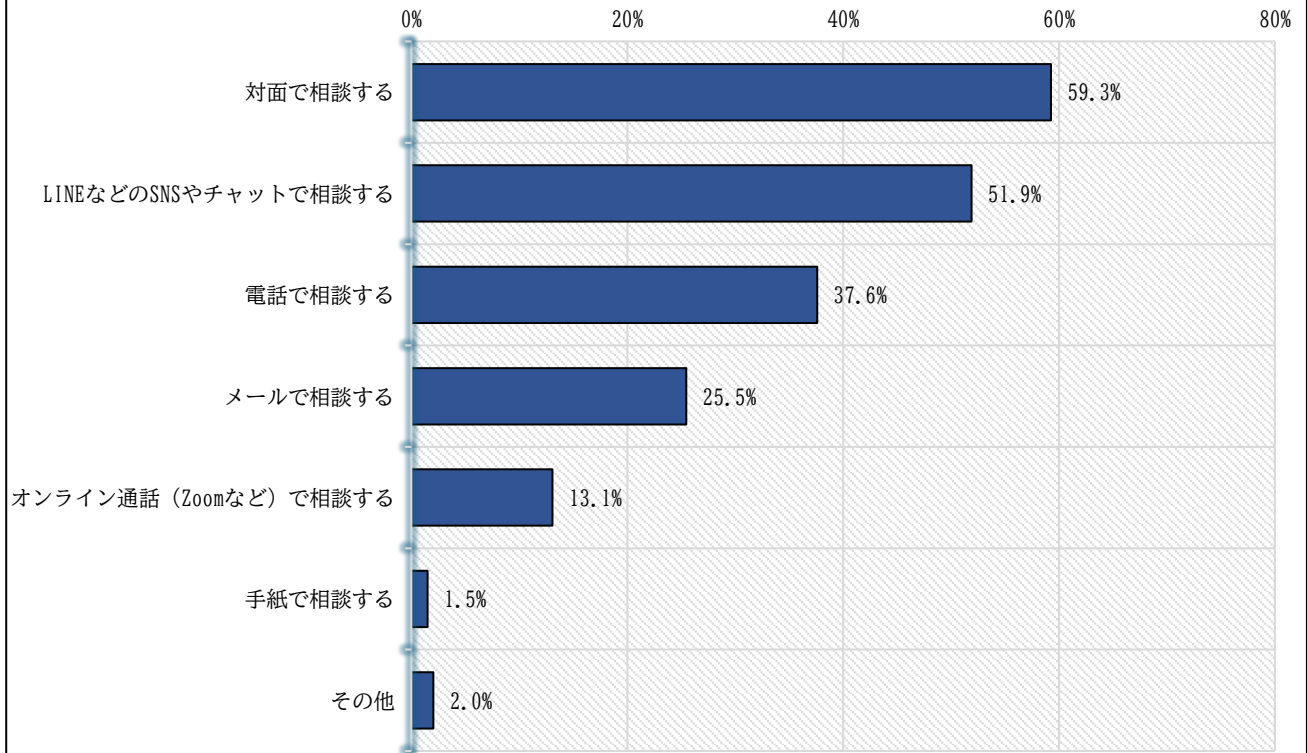


	LINEなどのSNSやチャットで相談する	対面で相談する	電話で相談する	メールで相談する	オンライン通話（Zoomなど）で相談する	手紙で相談する	その他
大学生等	67.6%	37.6%	19.7%	19.7%	5.6%	3.3%	2.3%
社会人（10代）	46.7%	13.3%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	20.0%
社会人（20代）	63.8%	45.4%	22.1%	15.6%	10.4%	3.1%	3.7%
全体	64.8%	41.5%	21.1%	17.1%	8.5%	3.1%	3.6%

### 3) 保護者

困りごとや悩みごとの相談手段の希望について、保護者では、「対面で相談する」が59.3%で最も高くなっており、次いで「LINEなどのSNSやチャットで相談する」が51.9%、「電話で相談する」が37.6%となっている。

<困りごとや悩みごとがあったときに、どのような方法であれば相談しやすいですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=734)



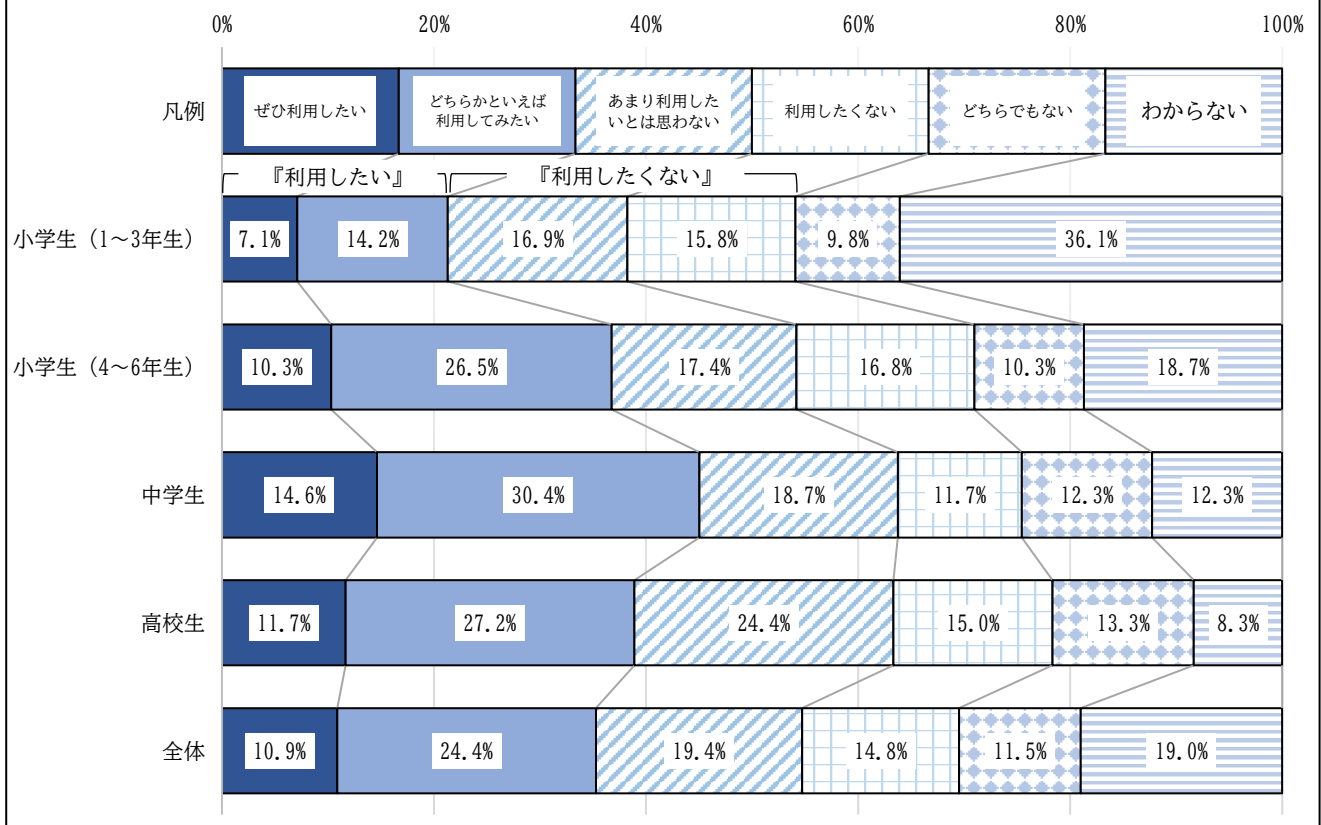
## 9. オンライン上の悩みを共有する場（オンラインサロン・メタバース）の利用意向

### 1) 小学生、中学生、高校生

オンライン上の“悩みを共有する場”（オンラインサロン・メタバース）の利用意向について、全体では、『利用したい（「ぜひ利用したい」と「どちらかといえば利用してみたい」を合わせた割合）』が35.3%となっている一方で、『利用したくない（「あまり利用したいと思わない」と「利用したくない」を合わせた割合）』は、34.2%となっている。

小学生（4～6年生）、中学生、高校生では、「どちらかといえば利用してみたい」が最も高くなっている一方で、小学生（1～3年生）では、「わからない」が最も高くなっている。

<困りごとや悩みごとについて、同じ悩みを持つ人たちと、インターネット上で悩みを話せる場（オンラインサロンやメタバース（仮想空間））があれば、利用してみたいですか。> (n=689)

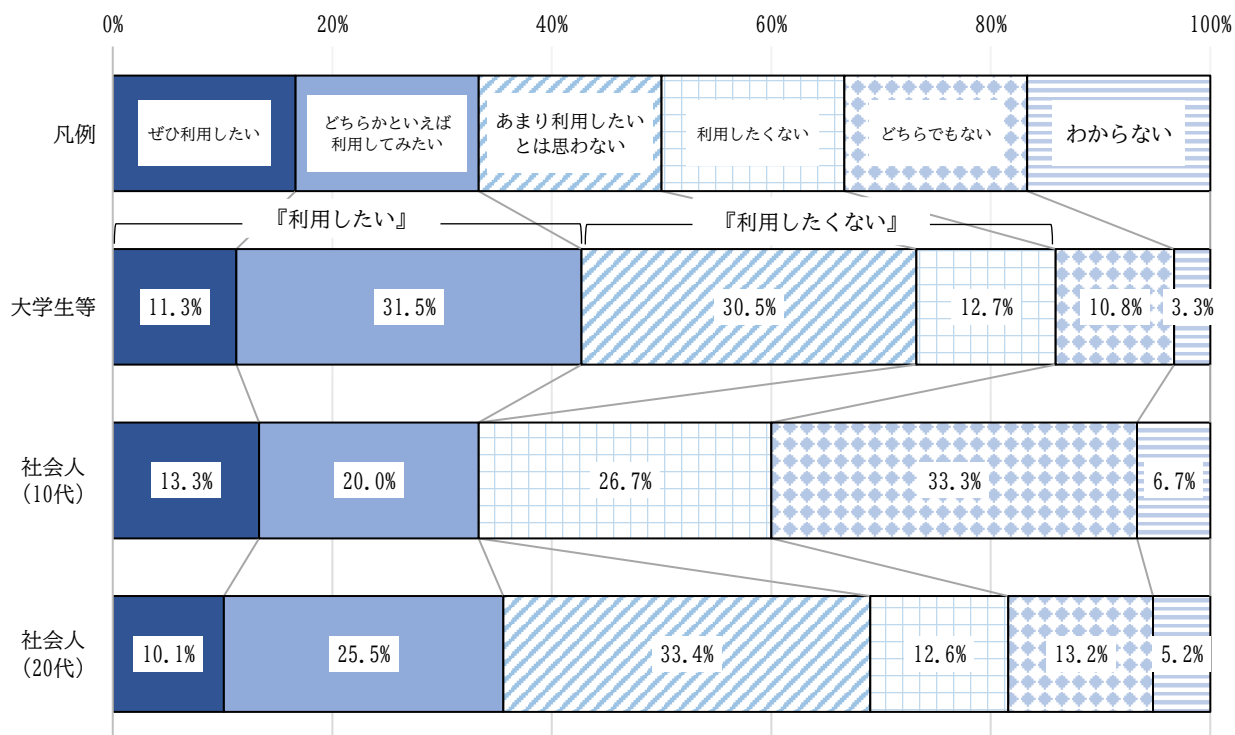


	ぜひ利用したい	どちらかといえば利用してみたい	あまり利用したいと思わない	利用したくない	どちらでもない	わからない
小学生（1～3年生）	7.1%	14.2%	16.9%	15.8%	9.8%	36.1%
小学生（4～6年生）	10.3%	26.5%	17.4%	16.8%	10.3%	18.7%
中学生	14.6%	30.4%	18.7%	11.7%	12.3%	12.3%
高校生	11.7%	27.2%	24.4%	15.0%	13.3%	8.3%
全体	10.9%	24.4%	19.4%	14.8%	11.5%	19.0%

## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

オンライン上の“悩みを共有する場”（オンラインサロン・メタバース）の利用意向について、『利用したい（「ぜひ利用したい」と「どちらかといえば利用してみたい」を合わせた割合）』が大学生等では42.8%、社会人（10代）では33.3%、社会人（20代）では35.6%となっている。

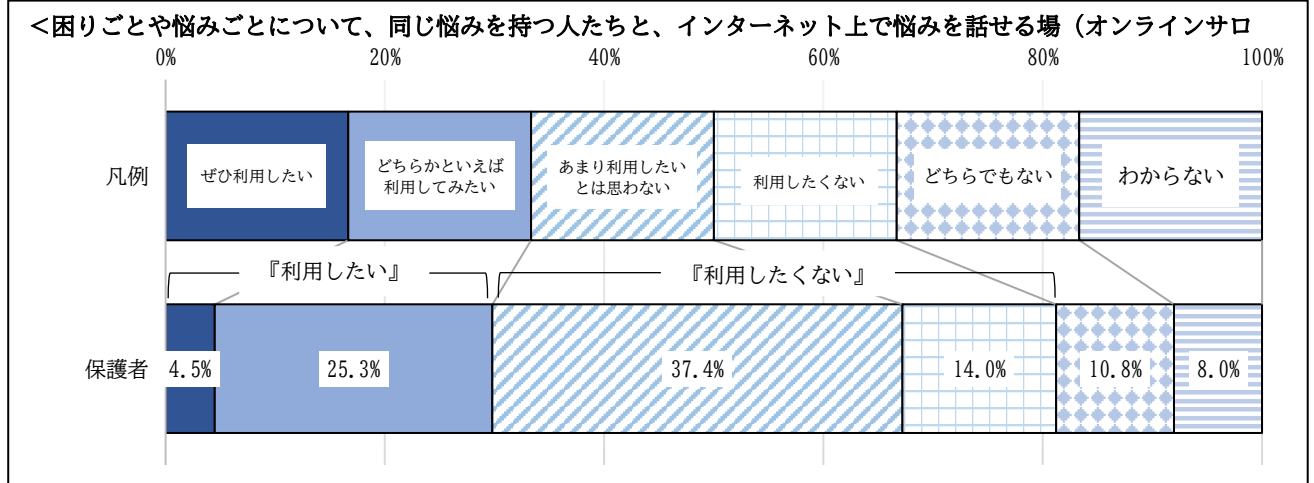
<困りごとや悩みごとについて、同じ悩みを持つ人たちと、インターネット上で悩みを話せる場（オンラインサロンやメタバース（仮想空間））があれば、利用してみたいですか。> (n=554)



	ぜひ利用したい	どちらかといえば利用してみたい	あまり利用したいとは思わない	利用したくない	どちらでもない	わからない
大学生等	11.3%	31.5%	30.5%	12.7%	10.8%	3.3%
社会人（10代）	13.3%	20.0%	0.0%	26.7%	33.3%	6.7%
社会人（20代）	10.1%	25.5%	33.4%	12.6%	13.2%	5.2%
全体	10.6%	27.6%	31.4%	13.0%	12.8%	4.5%

### 3) 保護者

オンライン上の“悩みを共有する場”（オンラインサロン・メタバース）の利用意向について、保護者では、『利用したい（「ぜひ利用したい」と「どちらかといえば利用してみたい」を合わせた割合）』が29.8%となっている一方で、『利用したくない（「あまり利用したいと思わない」と「利用したくない」を合わせた割合）』が半数以上の51.4%となっている。



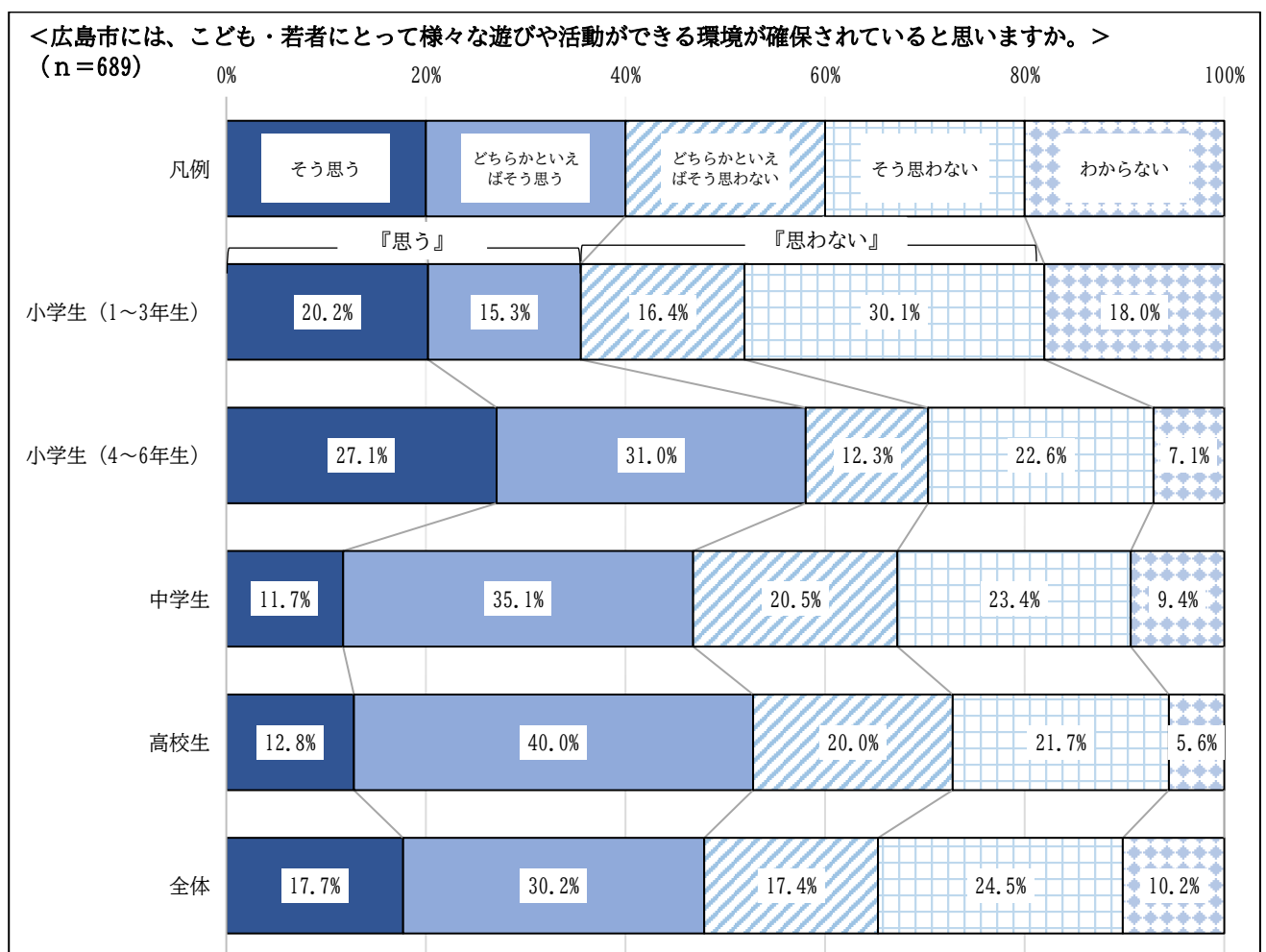
# 10. 広島市における「子ども・若者の遊び・活動環境」

## 1) 小学生、中学生、高校生

広島市における「子ども・若者の遊び・活動環境」の確保について、全体では、『確保されていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合）』が47.9%となっており、『確保されていると思わない（「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」を合わせた割合）』は、41.9%となっている。

小学生（1～3年生）では、『確保されていると思う』が35.5%、『確保されていると思わない』が46.5%となっており、小学生（4～6年生）では、『確保されていると思う』が58.1%、『確保されていると思わない』が34.9%となっている。

中学生では、『確保されていると思う』が46.8%、『確保されていると思わない』が43.9%となっており、高校生では、『確保されていると思う』が52.8%、『確保されていると思わない』が41.7%となっている。



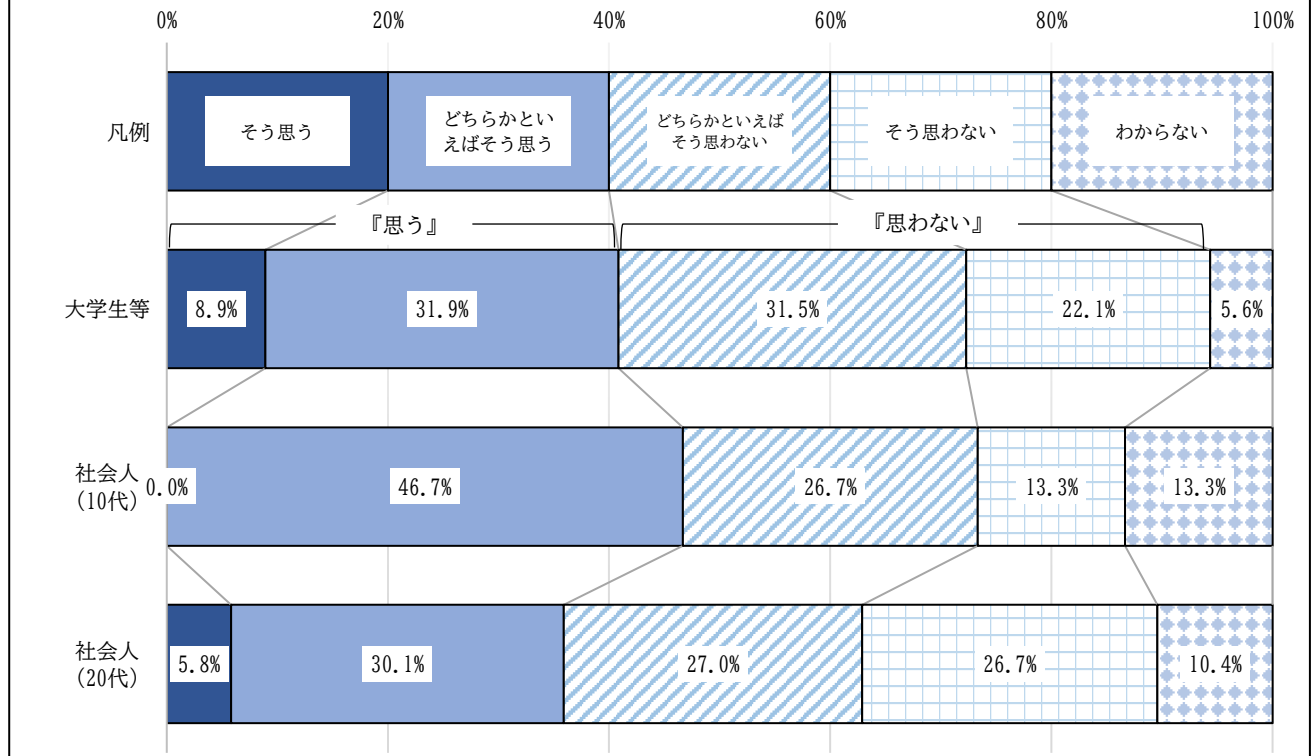
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
小学生（1～3年生）	20.2%	15.3%	16.4%	30.1%	18.0%
小学生（4～6年生）	27.1%	31.0%	12.3%	22.6%	7.1%
中学生	11.7%	35.1%	20.5%	23.4%	9.4%
高校生	12.8%	40.0%	20.0%	21.7%	5.6%
全体	17.7%	30.2%	17.4%	24.5%	10.2%

## 2) 大学生等、社会人(10代)、社会人(20代)

広島市における「子ども・若者の遊び・活動環境」の確保について、『確保されていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合）』は、大学生等が40.8%、社会人(10代)が46.7%、社会人(20代)が35.9%となっている。

一方で、『確保されていると思わない（「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」を合わせた割合）』は、大学生等が53.6%、社会人(10代)が40.0%、社会人(20代)が53.7%となっている。

<広島市には、子ども・若者にとって様々な遊びや活動ができる環境が確保されていると思いますか。>  
(n=554)

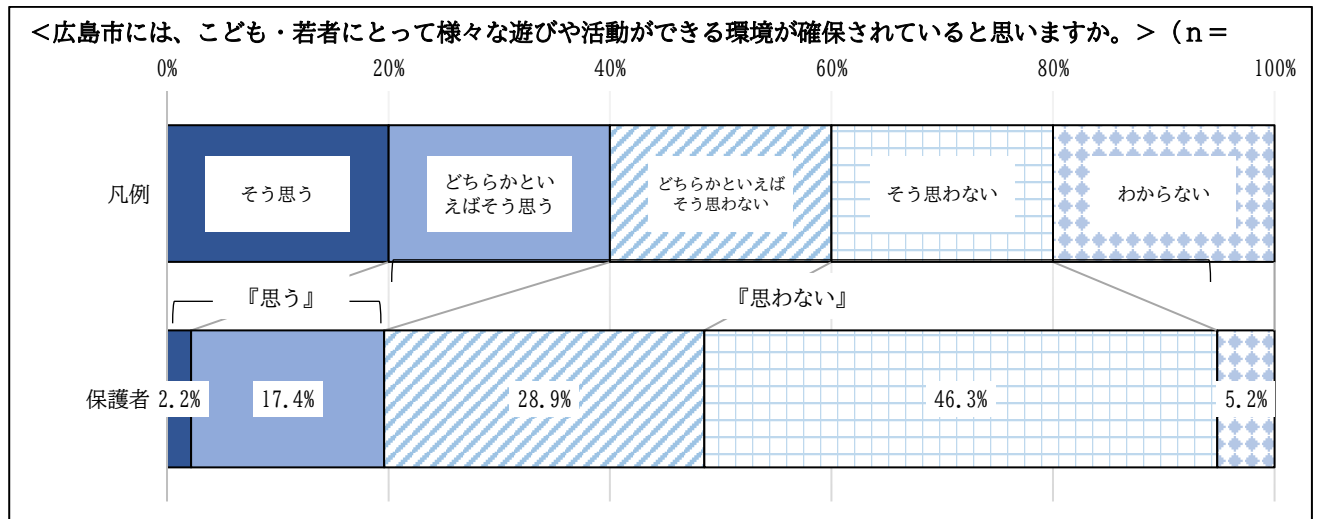


	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
大学生等	8.9%	31.9%	31.5%	22.1%	5.6%
社会人(10代)	0.0%	46.7%	26.7%	13.3%	13.3%
社会人(20代)	5.8%	30.1%	27.0%	26.7%	10.4%
全体	6.9%	31.2%	28.7%	24.5%	8.7%

### 3) 保護者

広島市における「子ども・若者の遊び・活動環境」の確保について、保護者では、『確保されていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合）』は、19.6%となっている。

一方で、『確保されていると思わない（「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」を合わせた割合）』は、75.2%となっている。



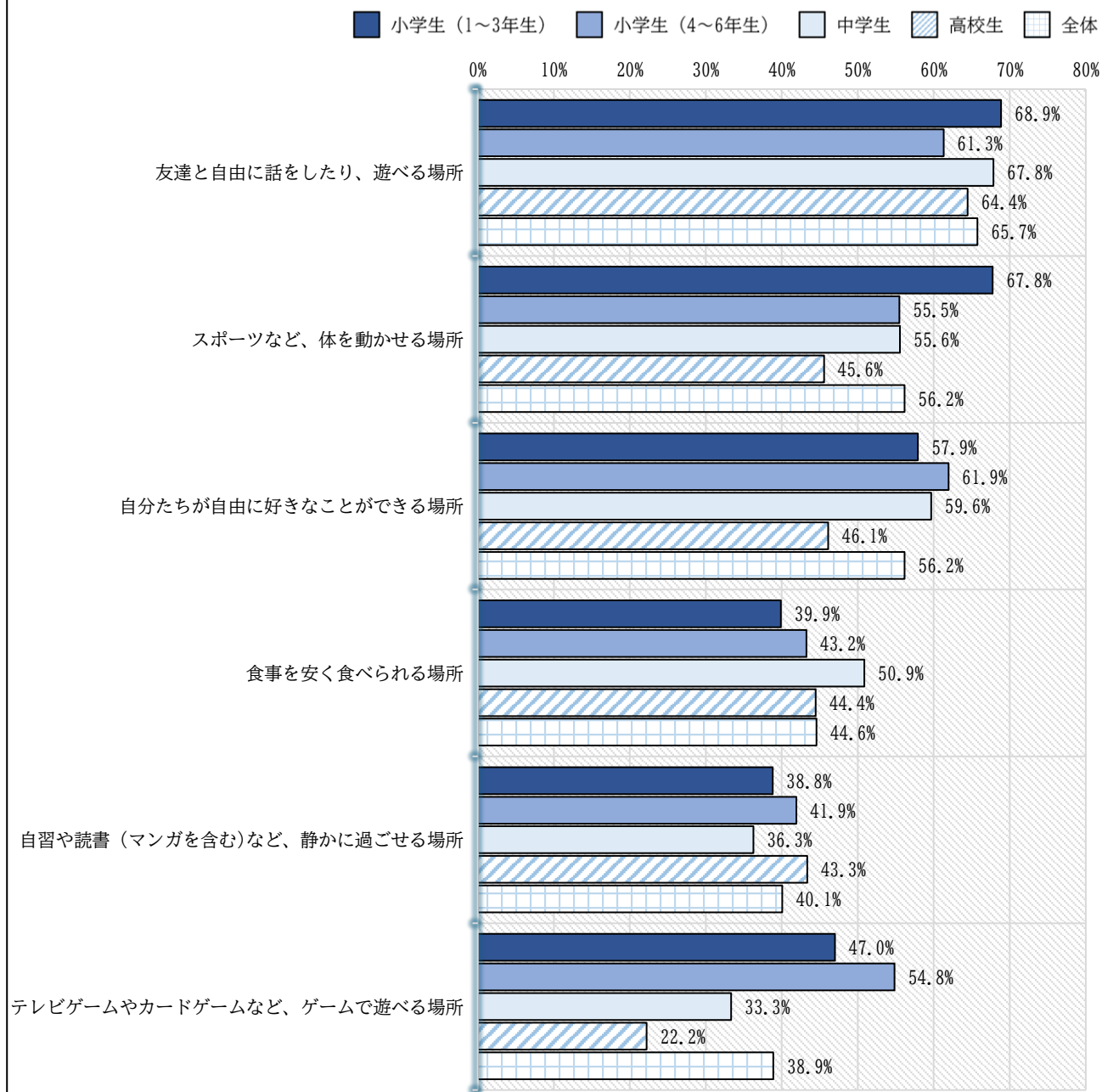
## 1.1. 家や学校以外で「行ってみたい・あったらいい」と思う居場所

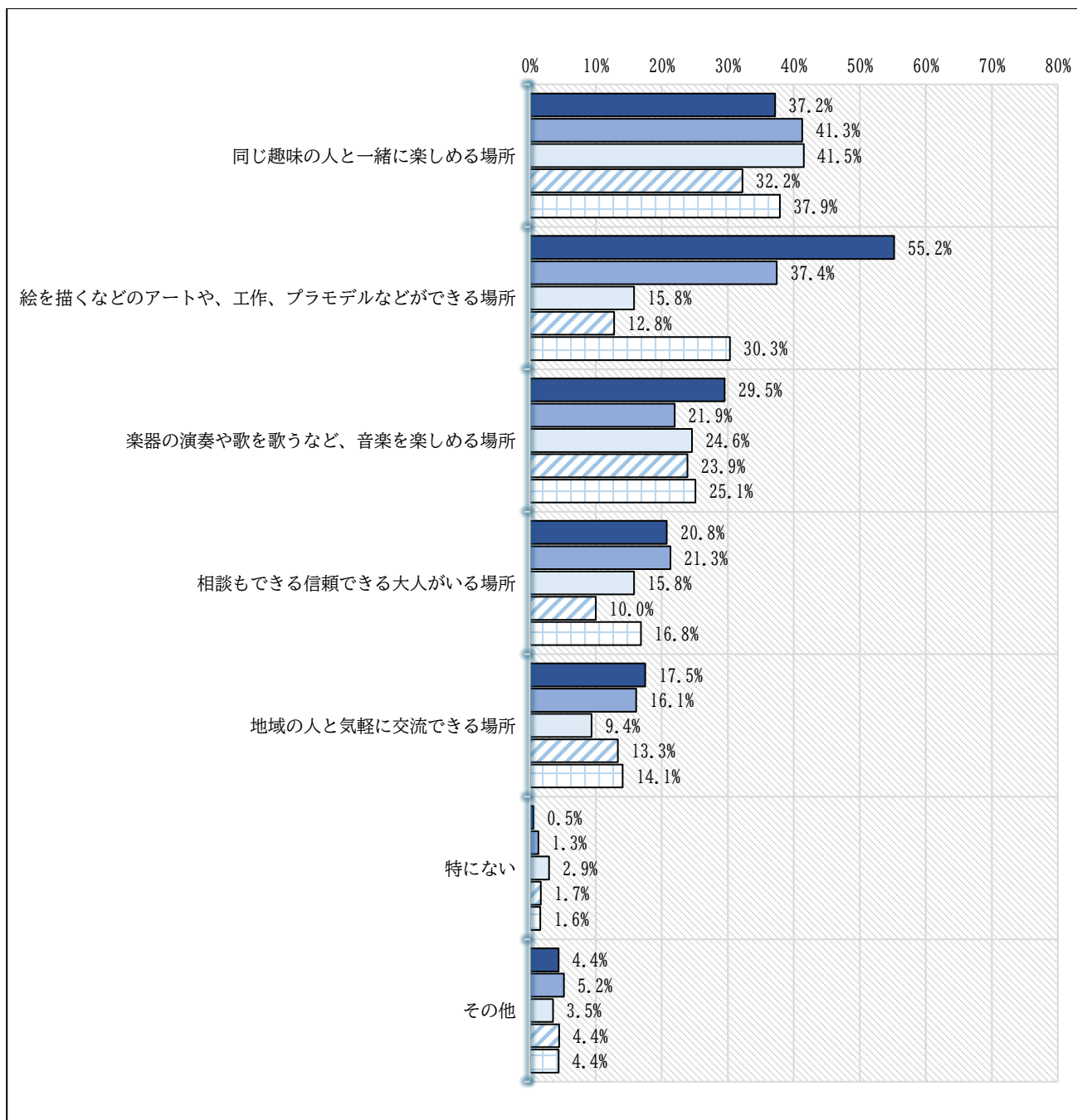
### 1) 小学生、中学生、高校生

家や学校以外で「行ってみたい・あったらいい」と思う居場所について、全体では「友達と自由に話をしたり、遊べる場所」が65.7%で最も高く、次いで「スポーツなど、体を動かせる場所」と「自分たちが自由に好きなことができる場所」がともに56.2%となっている。

小学生（1～3年生）や中学生、高校生では、「友達と自由に話をしたり、遊べる場所」が最も高く、小学生（1～3年生）が68.9%、中学生が67.8%、高校生が64.4%となっており、小学生（4～6年生）では、「自分たちが自由に好きなことができる場所」が最も高く61.9%となっている。

<家や学校以外で、あなたが「行ってみたい」「あったらいい」と思う居場所はどのようなところですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=689)





	場り友に、話達遊をとべし自由	かどス、ボせる体1場所動な	きな自由分たにちが	場食食事べられ安く	所過ど含(自習やガ読を書	所でどゲームテレ	所楽人同じ趣味の
小学生 (1~3年生)	68.9%	67.8%	57.9%	39.9%	38.8%	47.0%	37.2%
小学生 (4~6年生)	61.3%	55.5%	61.9%	43.2%	41.9%	54.8%	41.3%
中学生	67.8%	55.6%	59.6%	50.9%	36.3%	33.3%	41.5%
高校生	64.4%	45.6%	46.1%	44.4%	43.3%	22.2%	32.2%
全体	65.7%	56.2%	56.2%	44.6%	40.1%	38.9%	37.9%

	るなプやど絵をなや楽	るるる相	で気地	特	そ	
小学生 (1~3年生)	55.2%	29.5%	20.8%	17.5%	0.5%	4.4%
小学生 (4~6年生)	37.4%	21.9%	21.3%	16.1%	1.3%	5.2%
中学生	15.8%	24.6%	15.8%	9.4%	2.9%	3.5%
高校生	12.8%	23.9%	10.0%	13.3%	1.7%	4.4%
全体	30.3%	25.1%	16.8%	14.1%	1.6%	4.4%

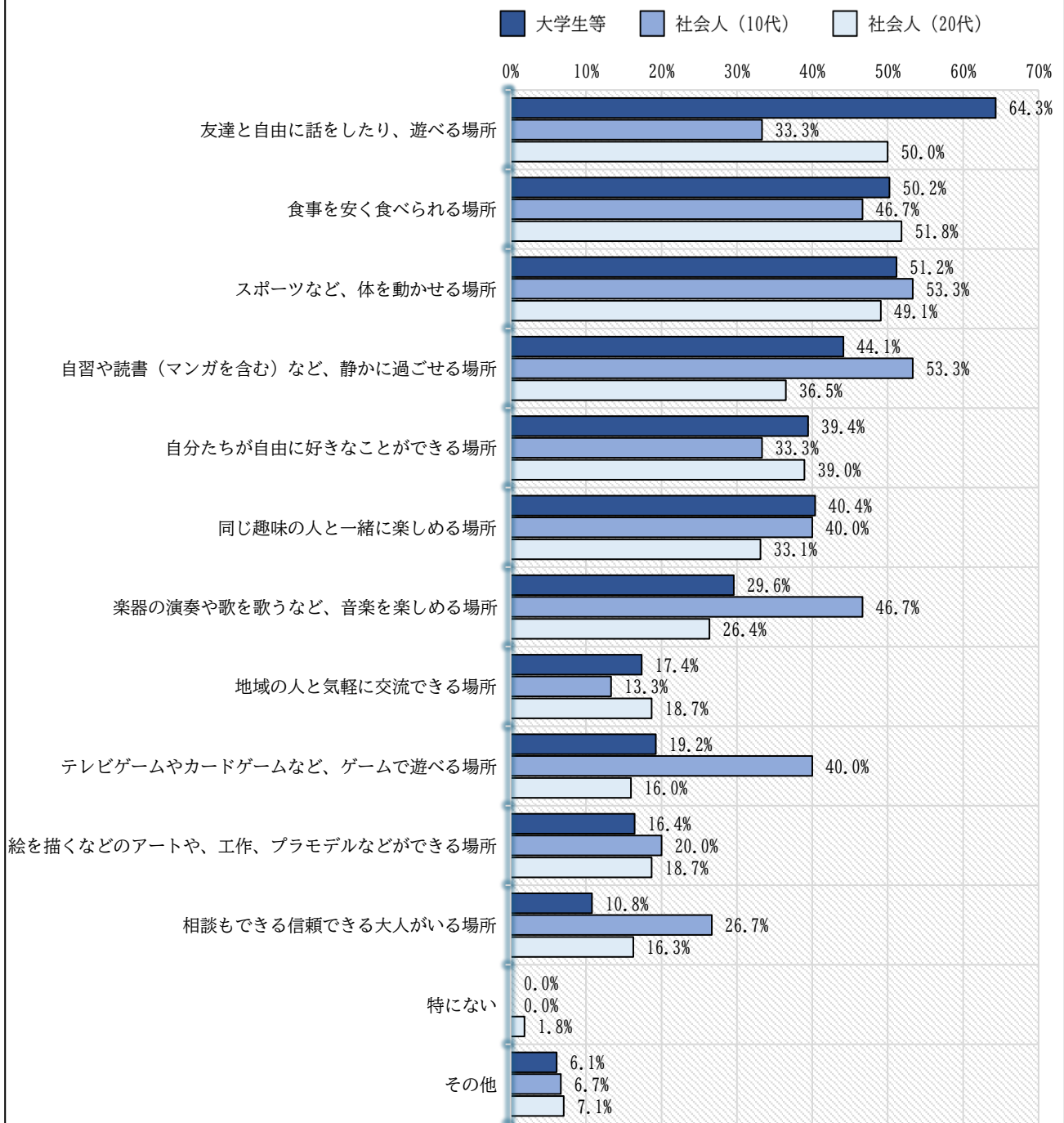
## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

家や学校以外で「行ってみたい・あったらいい」と思う居場所について、大学生等では、「友達と自由に話をしたり、遊べる場所」が64.3%で最も高く、次いで「スポーツなど、体を動かせる場所」が51.2%となっている。

社会人（10代）では、「スポーツなど、体を動かせる場所」と「自習や読書（マンガを含む）など、静かに過ごせる場所」がともに53.3%で最も高く、次いで「食事を安く食べられる場所」と「楽器の演奏や歌を歌うなど、音楽を楽しめる場所」がともに46.7%となっている。

社会人（20代）では、「食事を安く食べられる場所」が51.8%で最も高く、次いで「友達と自由に話をしたり、遊べる場所」が50.0%となっている。

<家や学校以外で、あなたが「行ってみたい」「あったらいい」と思う居場所はどのようなところですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=554)



	友達と自由に話をして遊べる場所	食事を安く食べられる場所	スポーツなど、体を動かせる場所	自習や読書（マンガを含む）など、静かに過ごせる場所	自分たちが自由に好きなことができる場所	同じ趣味の人と一緒に楽しめる場所	楽器の演奏や歌を歌うなど、音楽を楽しむ場所
大学生等	64.3%	50.2%	51.2%	44.1%	39.4%	40.4%	29.6%
社会人（10代）	33.3%	46.7%	53.3%	53.3%	33.3%	40.0%	46.7%
社会人（20代）	50.0%	51.8%	49.1%	36.5%	39.0%	33.1%	26.4%
全体	55.1%	51.1%	50.0%	39.9%	39.0%	36.1%	28.2%

	地域の人と気軽に交流できる場所	テレビゲームやカード遊べる場所	絵を描くなどのアートな活動ができる場所	相談もできる信頼できる大人がいる場所	特になし	その他
大学生等	17.4%	19.2%	16.4%	10.8%	0.0%	6.1%
社会人（10代）	13.3%	40.0%	20.0%	26.7%	0.0%	6.7%
社会人（20代）	18.7%	16.0%	18.7%	16.3%	1.8%	7.1%
全体	18.1%	17.9%	17.9%	14.4%	1.1%	6.7%

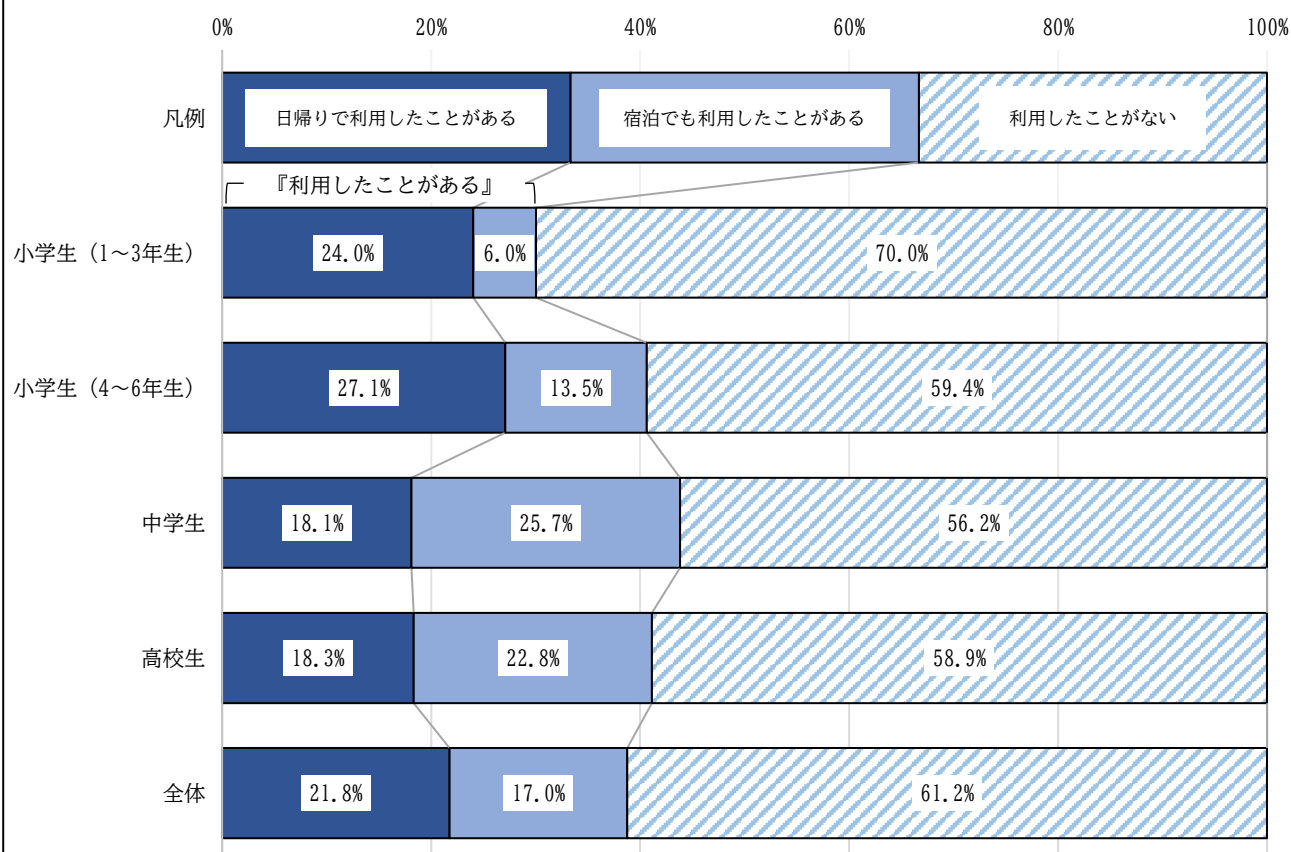
## 1 2. 三滝少年自然の家の利用経験

### 1) 小学生、中学生、高校生

三滝少年自然の家の利用経験について、全体では、「利用したことがない」が61.2%となっており、『利用したことがある（「日帰りで利用したことがある」と「宿泊でも利用したことがある」を合わせた割合）』は、38.8%となっている。

『利用したことがある』の結果を見ると、小学生（1～3年生）が30.0%、小学生（4～6年生）が40.6%、中学生が43.8%、高校生が41.1%となっている。

<三滝少年自然の家（グリーンスポーツセンターを含む）を利用したことがありますか。> (n=689)



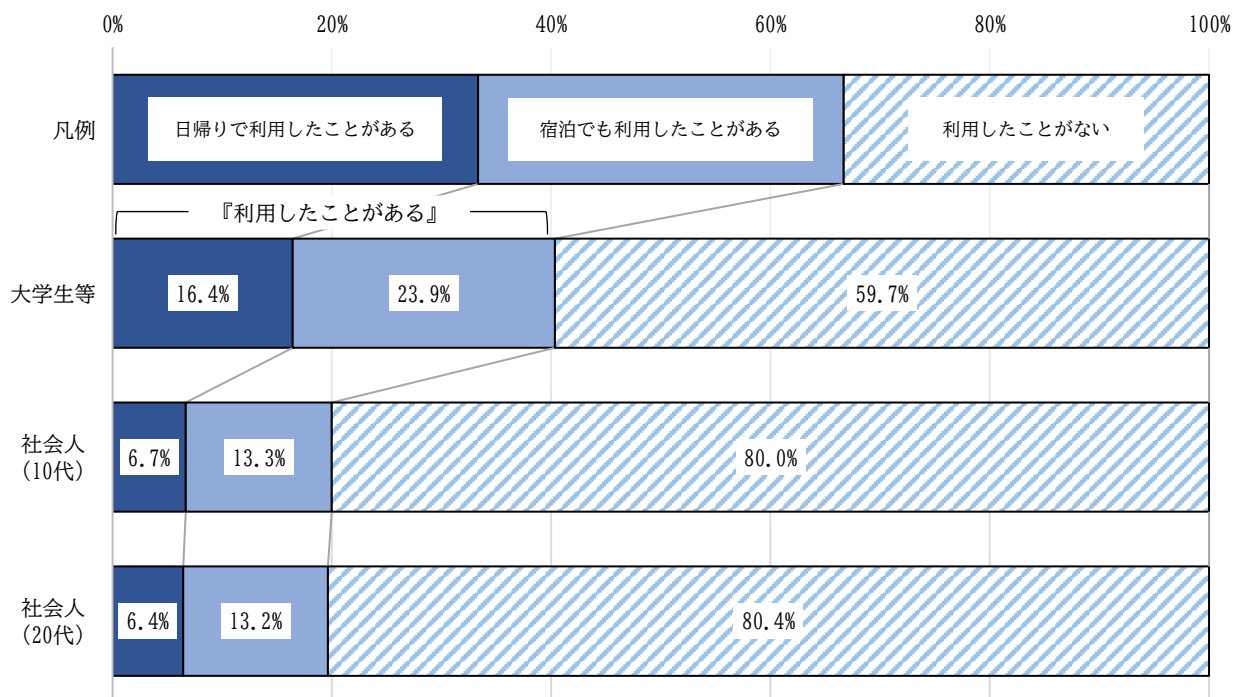
	た日 こ帰 りが あ り 利 用 し	た宿 こ泊 と が も あ り 利 用 し	な利 い 用 し た こ と が
小学生（1～3年生）	24.0%	6.0%	70.0%
小学生（4～6年生）	27.1%	13.5%	59.4%
中学生	18.1%	25.7%	56.2%
高校生	18.3%	22.8%	58.9%
全体	21.8%	17.0%	61.2%

## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

三滝少年自然の家の利用経験について、「利用したことがない」の結果を見ると、大学生等が59.7%、社会人（10代）が80.0%、社会人（20代）が80.4%となっている。

一方で、『利用したことがある（「日帰りで利用したことがある」と「宿泊でも利用したことがある」を合わせた割合）』の結果を見ると、大学生等が40.3%、社会人（10代）が20.0%、社会人（20代）が19.6%となっている。

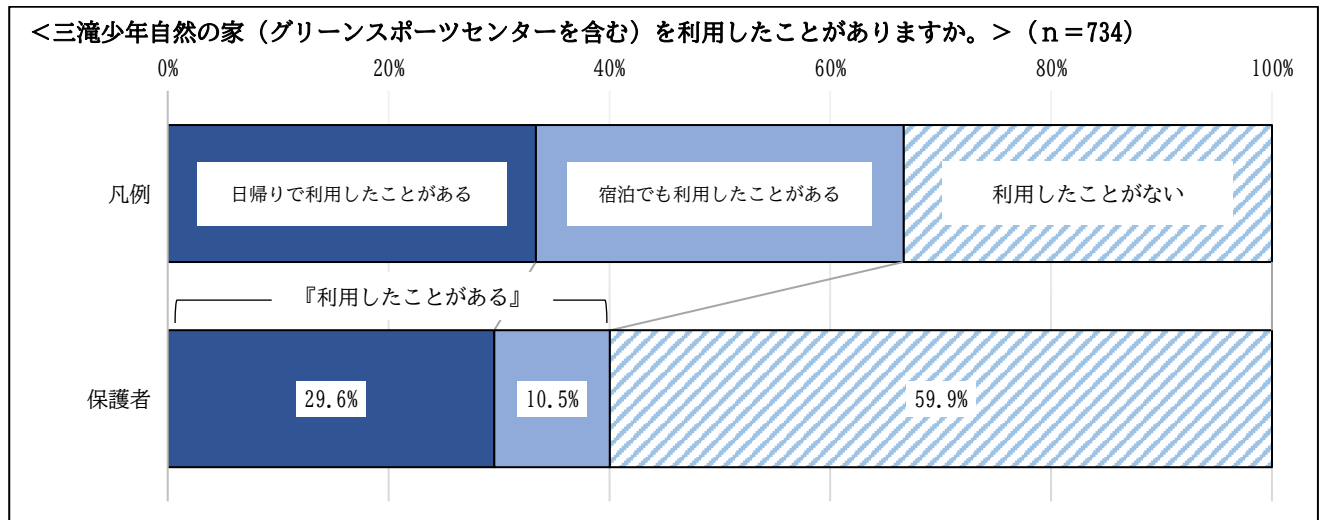
<三滝少年自然の家（グリーンスポーツセンターを含む）を利用したことがありますか。> (n=554)



	日帰りで利用したことがある	宿泊でも利用したことがある	利用したことがない
大学生等	16.4%	23.9%	59.7%
社会人（10代）	6.7%	13.3%	80.0%
社会人（20代）	6.4%	13.2%	80.4%
全体	10.3%	17.3%	72.4%

### 3) 保護者

三滝少年自然の家の利用経験について、保護者では、「利用したことがない」が59.9%、『利用したことがある（「日帰りで利用したことがある」と「宿泊でも利用したことがある」を合わせた割合）』が40.1%となっている。



### 1.3. 三滝少年自然の家に望む機能・設備

#### 1) 小学生、中学生、高校生

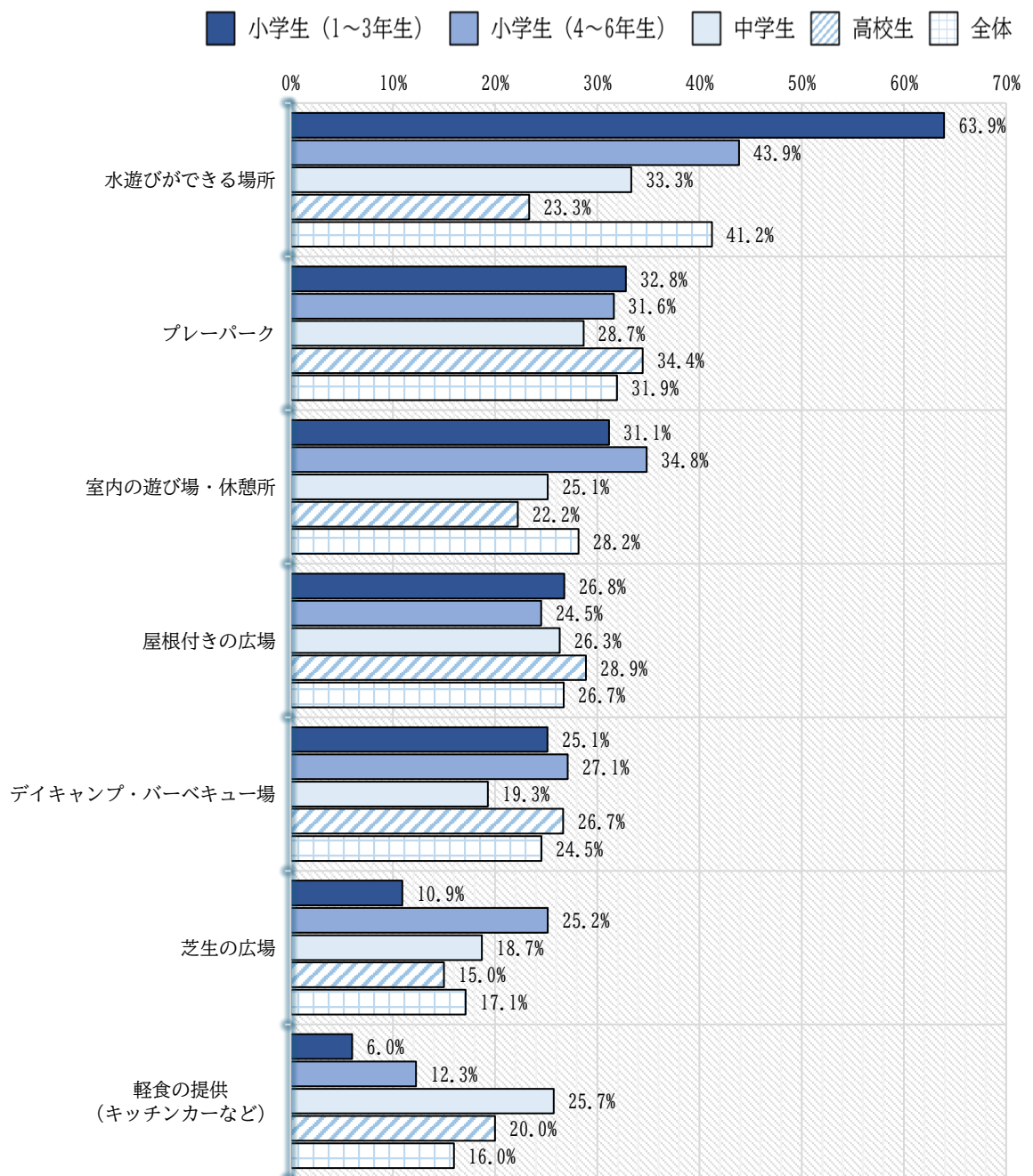
三滝少年自然の家に望む機能や設備について、全体では、「水遊びができる場所」が41.2%で最も高く、次いで「プレーパーク」が31.9%、「室内の遊び場・休憩所」が28.2%となっている。

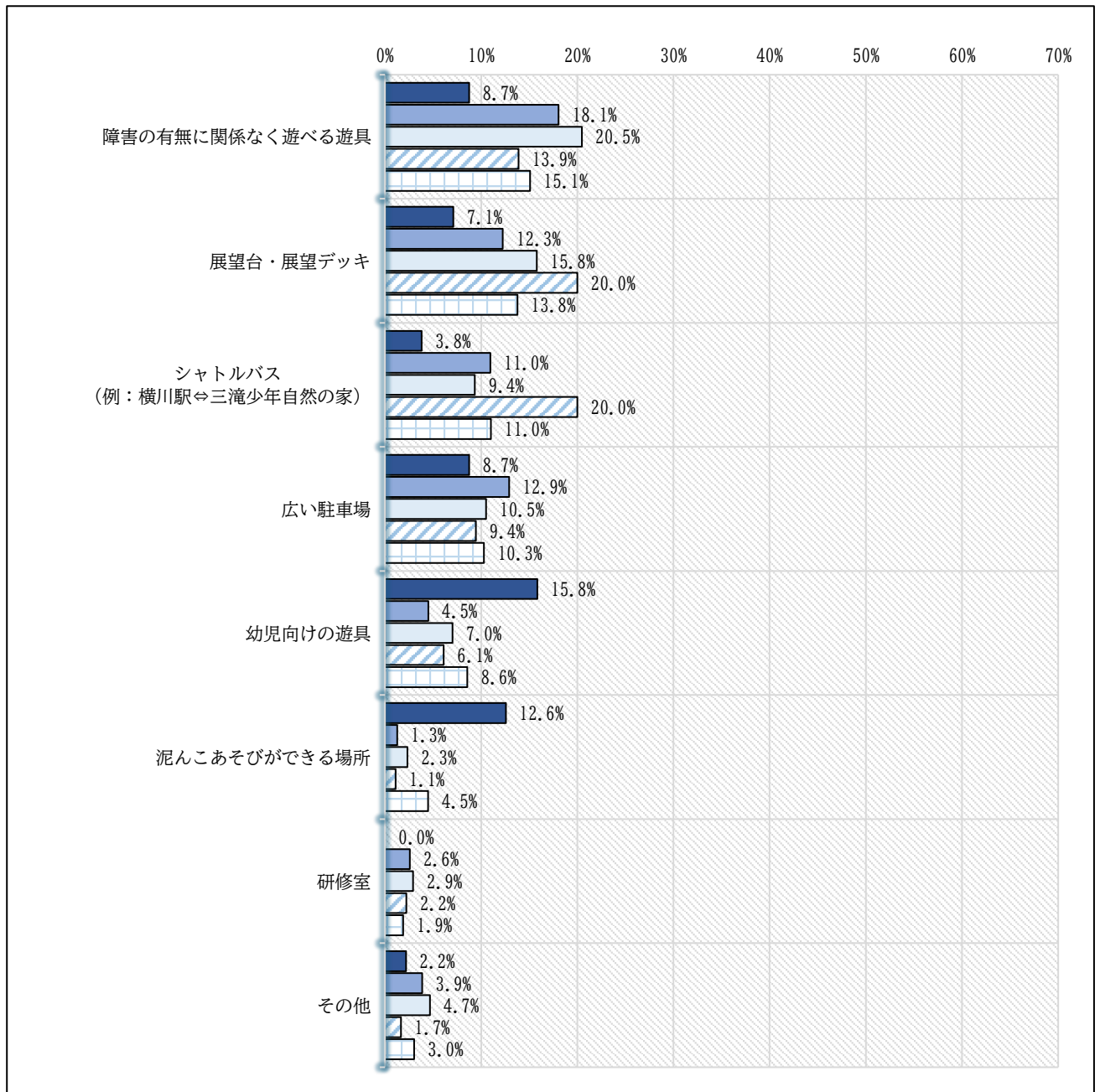
高校生以外の年代では、「水遊びができる場所」が最も高く、小学生（1～3年生）が63.9%、小学生（4～6年生）が43.9%、中学生が33.3%となっている。次いで、小学生（1～3年生）では「プレーパーク」が32.8%、小学生（4～6年生）では「室内の遊び場・休憩所」が34.8%、中学生では「プレーパーク」が28.7%となっている。

高校生では「プレーパーク」が34.4%で最も高く、次いで「屋根付きの広場」が28.9%となっている。

※プレーパークとは、火や水、木などの自然素材を使い、自身で工夫しながら自由に遊ぶ場所

<「三滝少年自然の家」を魅力的な施設とするため、どのようなものがあれば良いと思いますか。次のうち、当てはまるものを3つまで選んでください。> (n=689)



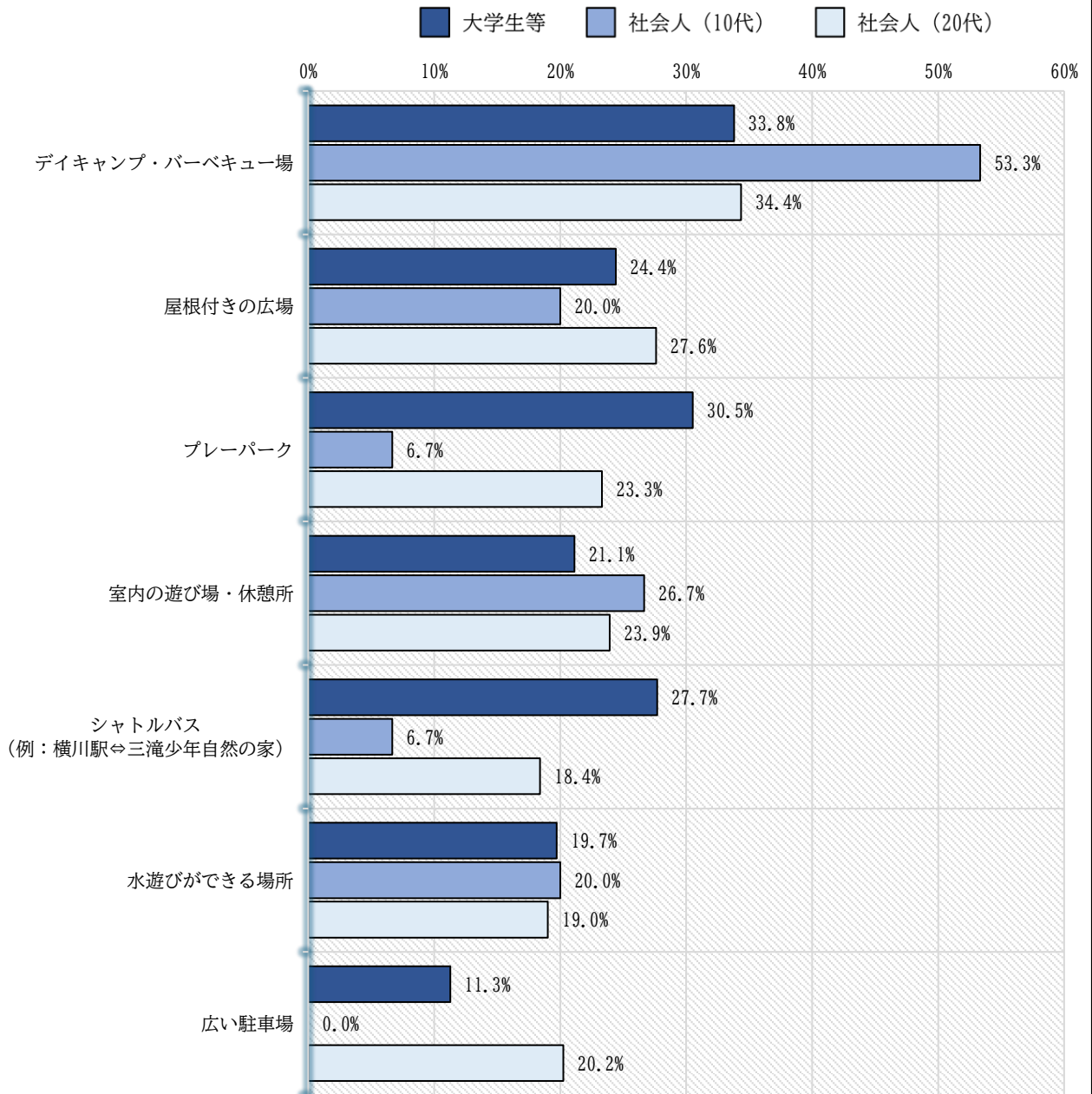


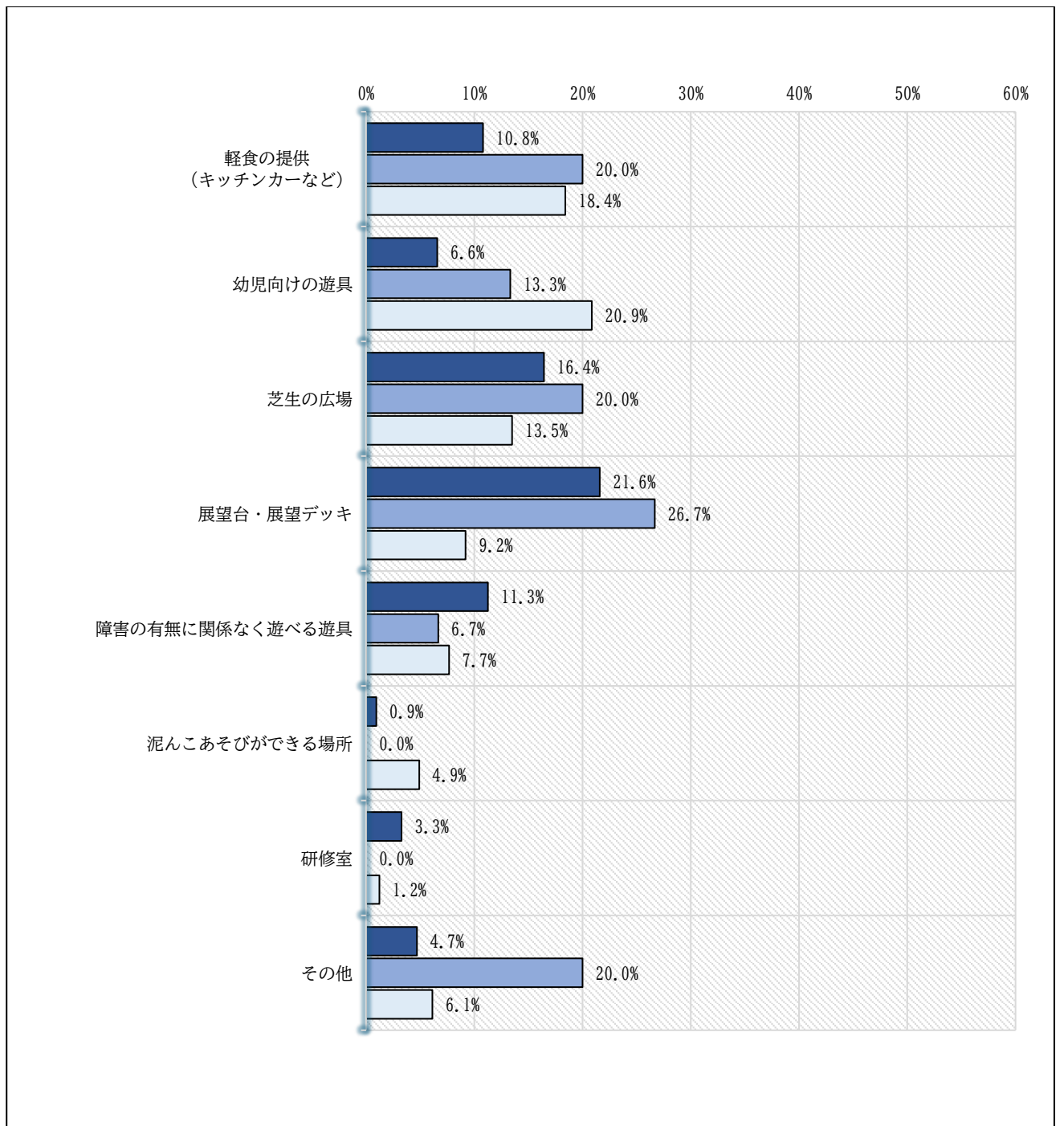
	水遊びができる場所	プレーパーク	室内の遊び場・休憩所	屋根付きの広場	デイキャンプ・バーベキュー	芝生の広場	軽食の提供 (キッチンカーなど)	障害の有無に関係なく遊べる遊具	展望台・展望デッキ	シャトルバス	広い駐車場	幼児向けの遊具	泥んこあそびができる場所	研修室	その他
小学生 (1~3年生)	63.9%	32.8%	31.1%	26.8%	25.1%	10.9%	6.0%	8.7%	7.1%	3.8%	8.7%	15.8%	12.6%	0.0%	2.2%
小学生 (4~6年生)	43.9%	31.6%	34.8%	24.5%	27.1%	25.2%	12.3%	18.1%	12.3%	11.0%	12.9%	4.5%	1.3%	2.6%	3.9%
中学生	33.3%	28.7%	25.1%	26.3%	19.3%	18.7%	25.7%	20.5%	15.8%	9.4%	10.5%	7.0%	2.3%	2.9%	4.7%
高校生	23.3%	34.4%	22.2%	28.9%	26.7%	15.0%	20.0%	13.9%	20.0%	20.0%	9.4%	6.1%	1.1%	2.2%	1.7%
全体	41.2%	31.9%	28.2%	26.7%	24.5%	17.1%	16.0%	15.1%	13.8%	11.0%	10.3%	8.6%	4.5%	1.9%	3.0%

## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

三滝少年自然の家に望む機能や設備について、大学生等や社会人（10代）、社会人（20代）のいずれも「デイキャンプ・バーベキュー場」が最も高く、大学生等が33.8%、社会人（10代）が53.3%、社会人（20代）が34.4%となっている。次いで、大学生等では「プレーパーク」が30.5%、社会人（10代）では「室内の遊び場・休憩所」と「展望台・展望デッキ」がともに26.7%、社会人（20代）では「屋根付きの広場」が27.6%となっている。

<「三滝少年自然の家」を魅力的な施設とするため、どのようなものがあれば良いと思いますか。次のうち、当てはまるものを3つまで選んでください。> (n=554)



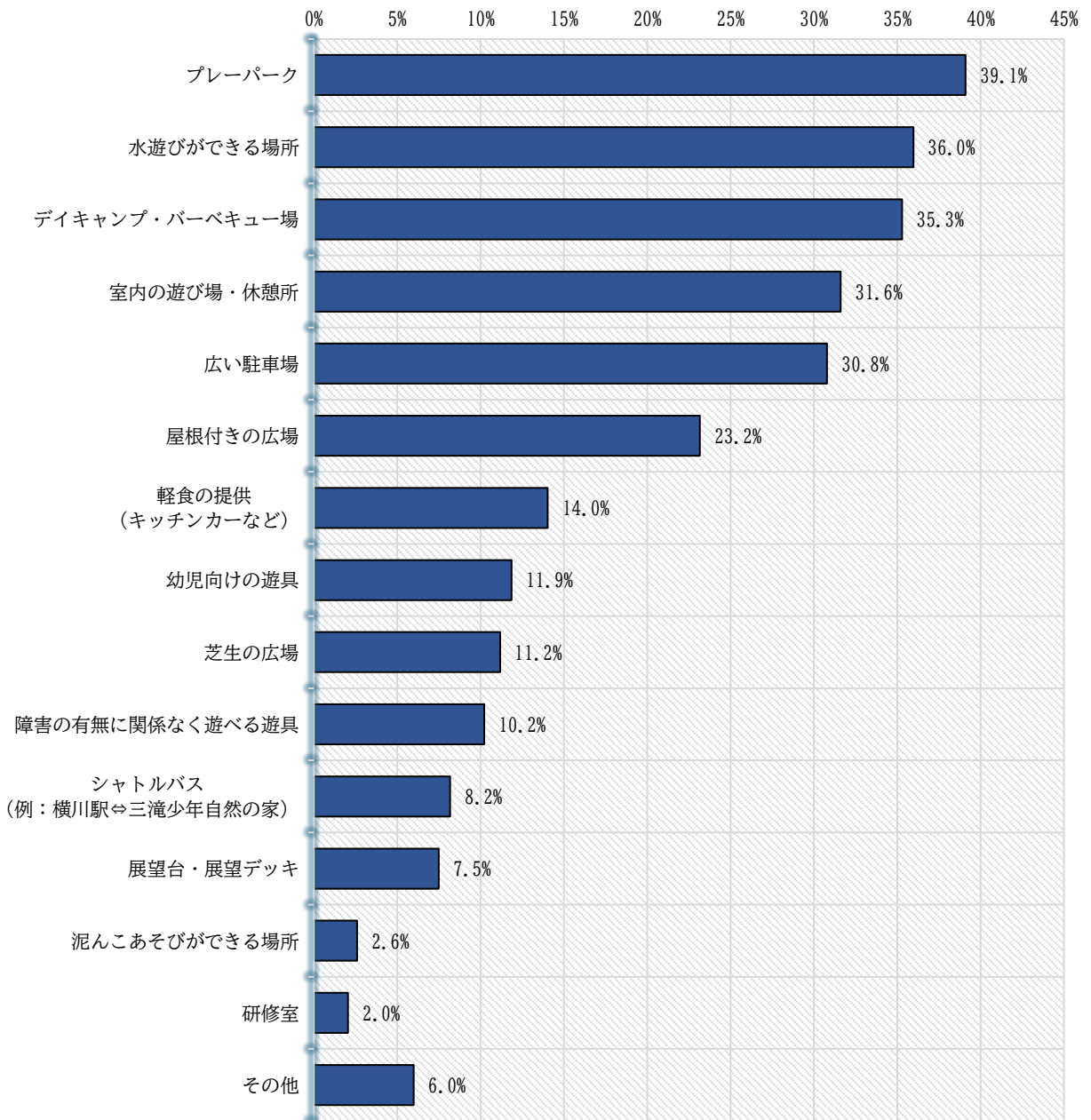


	デイキャンプ・バーベキュー	屋根付きの広場	プレーパーク	室内の遊び場・休憩所	シャトルバス	水遊びができる場所	広い駐車場	軽食の提供 (キッチンカーなど)	幼児向けの遊具	芝生の広場	展望台・展望デッキ	障害の有無に関係なく遊べる遊具	泥んこあそびができる場所	研修室	その他
大学生等	33.8%	24.4%	30.5%	21.1%	27.7%	19.7%	11.3%	10.8%	6.6%	16.4%	21.6%	11.3%	0.9%	3.3%	4.7%
社会人(10代)	53.3%	20.0%	6.7%	26.7%	6.7%	20.0%	0.0%	20.0%	13.3%	20.0%	26.7%	6.7%	0.0%	0.0%	20.0%
社会人(20代)	34.4%	27.6%	23.3%	23.9%	18.4%	19.0%	20.2%	18.4%	20.9%	13.5%	9.2%	7.7%	4.9%	1.2%	6.1%
全体	34.7%	26.2%	25.6%	22.9%	21.7%	19.3%	16.2%	15.5%	15.2%	14.8%	14.4%	9.0%	3.2%	2.0%	6.0%

### 3) 保護者

三滝少年自然の家に望む機能・設備について、保護者では、「プレーパーク」が39.1%で最も高く、次いで「水遊びができる場所」が36.0%、「デイキャンプ・バーベキュー場」が35.3%となっている。

<「三滝少年自然の家」を魅力的な施設とするため、どのようなものがあれば良いと思いますか。次のうち、当てはまるものを3つまで選んでください。> (n=734)



## 1.4. 三滝少年自然の家で体験したいプログラム

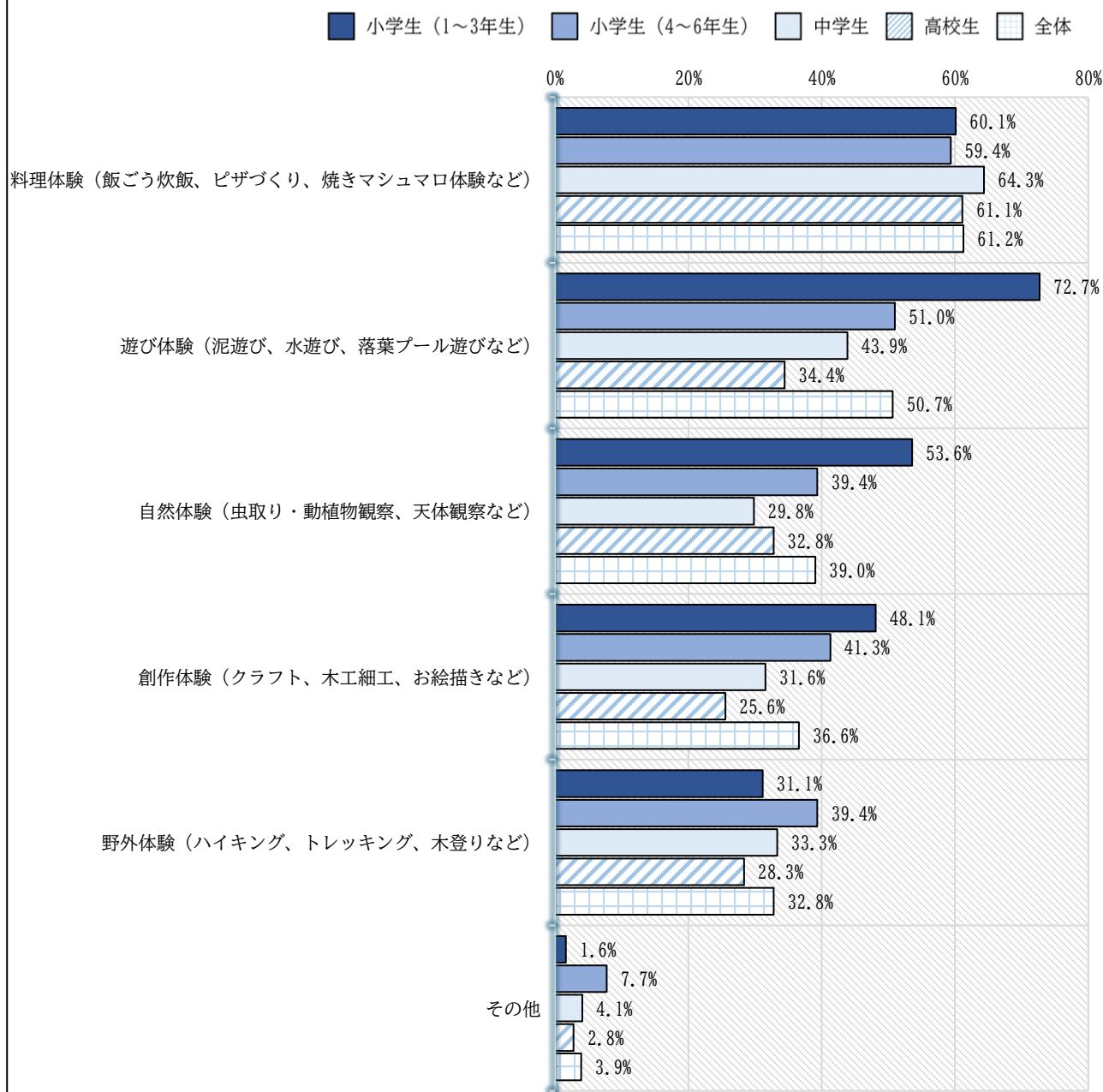
### 1) 小学生、中学生、高校生

三滝少年自然の家で体験したいプログラムについて、全体では「料理体験」が61.2%で最も高く、次いで「遊び体験」が50.7%、「自然体験」が39.0%となっている。

小学生（1～3年生）では、「遊び体験」が72.7%で最も高く、次いで「料理体験」が60.1%となっている。

小学生（4～6年生）や中学生、高校生のいずれも「料理体験」が最も高く、小学生（4～6年生）が59.4%、中学生が64.3%、高校生が61.1%となっており、次いでいずれも「遊び体験」が高く、小学生（4～6年生）が51.0%、中学生が43.9%、高校生が34.4%となっている。

<三滝少年自然の家において、どのような体験ができれば行きたいと思いますか。次のうち、当てはまるものすべてを選んでください。> (n=689)

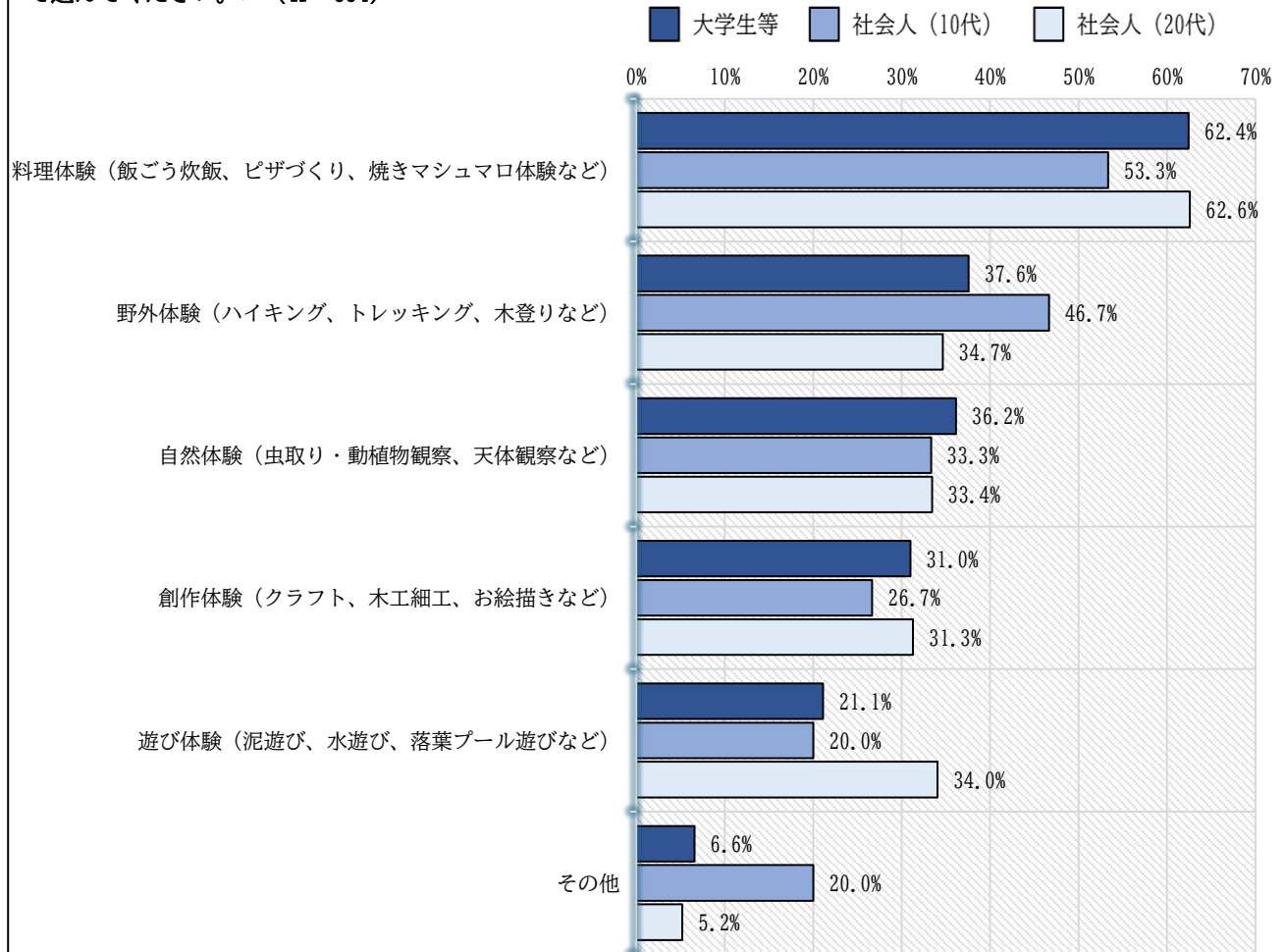


	料理体験（飯ごう炊飯、ピザづくり、焼きマシユマロ体験など）	遊び体験（泥遊び、水遊び、落葉プール遊びなど）	自然体験（虫取り・動植物観察、天体観察など）	創作体験（クラフト、木工細工、お絵描きなど）	野外体験（ハイキング、トレッキング、木登りなど）	その他
小学生（1～3年生）	60.1%	72.7%	53.6%	48.1%	31.1%	1.6%
小学生（4～6年生）	59.4%	51.0%	39.4%	41.3%	39.4%	7.7%
中学生	64.3%	43.9%	29.8%	31.6%	33.3%	4.1%
高校生	61.1%	34.4%	32.8%	25.6%	28.3%	2.8%
全体	61.2%	50.7%	39.0%	36.6%	32.8%	3.9%

## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

三滝少年自然の家で体験したいプログラムについて、大学生等や社会人（10代）、社会人（20代）のいずれも「料理体験」が最も高く、大学生等が62.4%、社会人（10代）が53.3%、社会人（20代）が62.6%となっている。次いでいずれも「野外体験」が高く、大学生等が37.6%、社会人（10代）が46.7%、社会人（20代）が34.7%となっている。

<三滝少年自然の家において、どのような体験ができれば行きたいと思いますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=554)

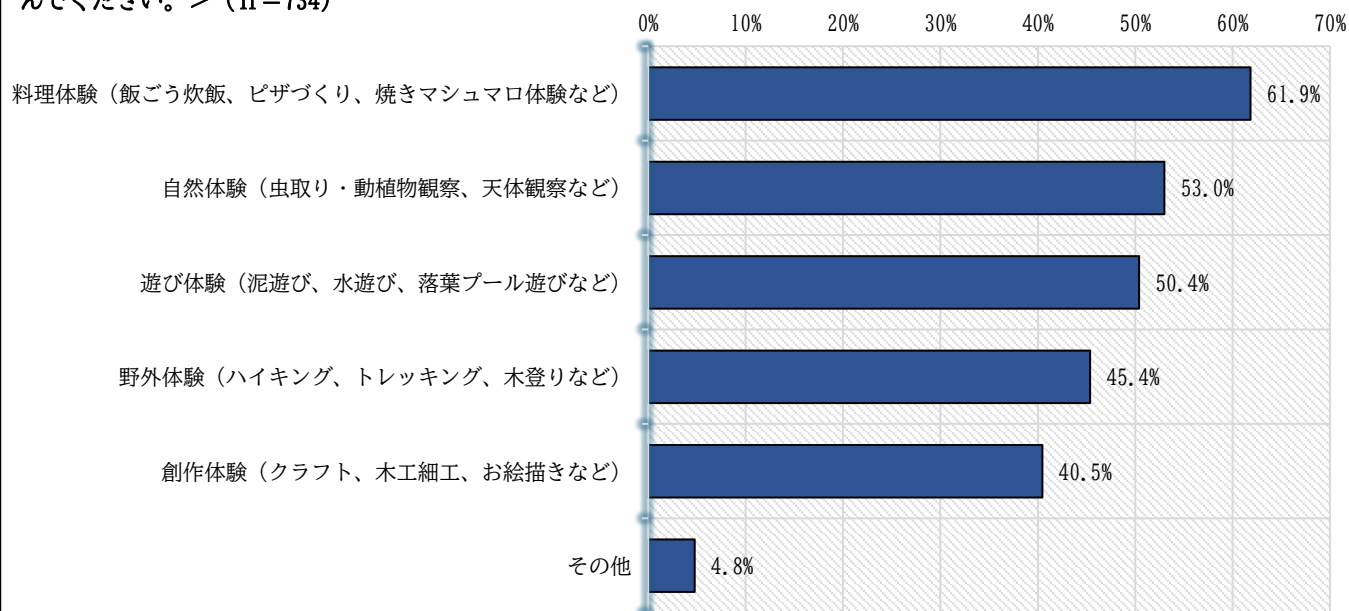


	料理体験（飯ごう炊飯、ピザづくり、焼きマシュマロ体験など）	野外体験（ハイキング、トレッキング、木登りなど）	自然体験（虫取り・動植物観察、天体観察など）	創作体験（クラフト、木工細工、お絵描きなど）	遊び体験（泥遊び、水遊び、落葉プール遊びなど）	その他
大学生等	62.4%	37.6%	36.2%	31.0%	21.1%	6.6%
社会人（10代）	53.3%	46.7%	33.3%	26.7%	20.0%	20.0%
社会人（20代）	62.6%	34.7%	33.4%	31.3%	34.0%	5.2%
全体	62.3%	36.1%	34.5%	31.0%	28.7%	6.1%

### 3) 保護者

三滝少年自然の家で体験したいプログラムについて、保護者では、「料理体験」が61.9%で最も高く、次いで「自然体験」が53.0%、「遊び体験」が50.4%となっている。

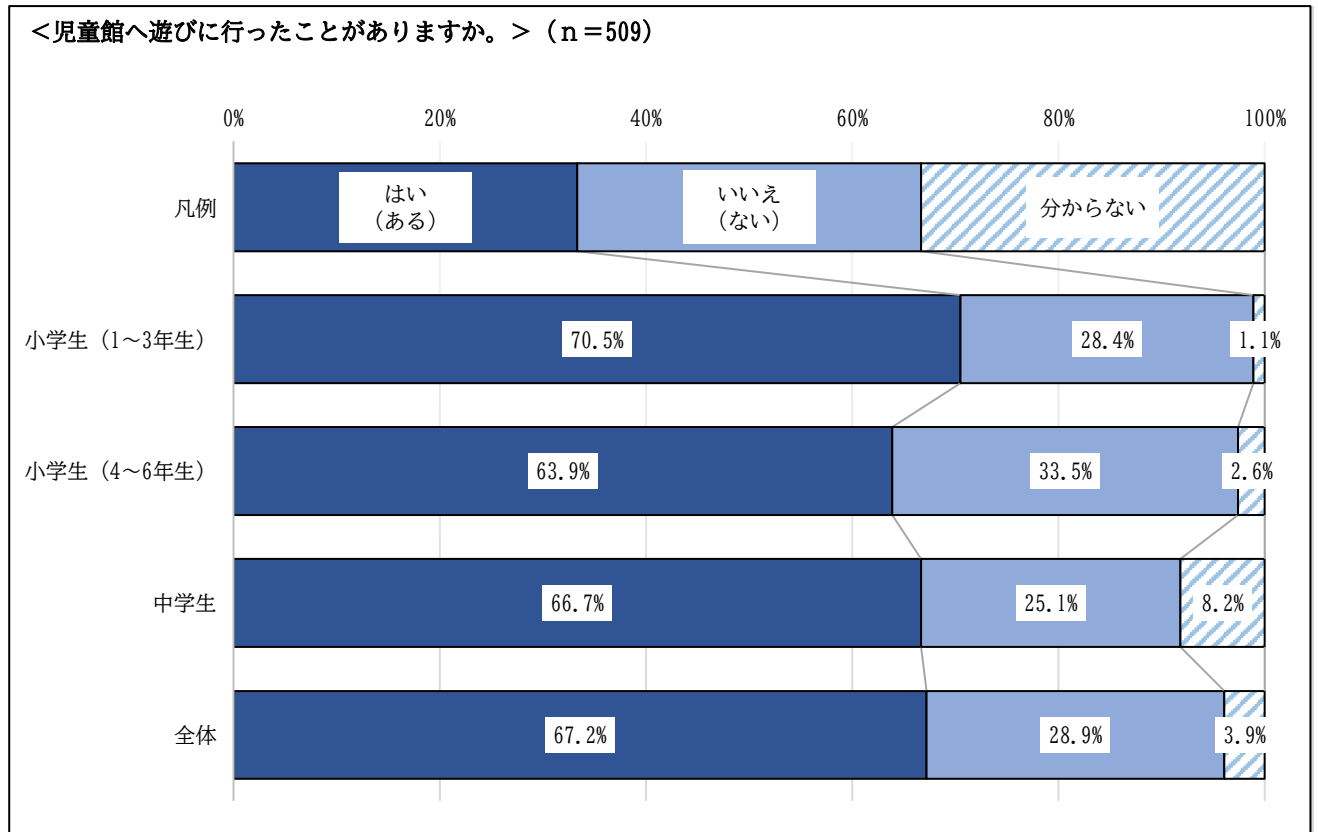
<三滝少年自然の家において、どのような体験ができれば行きたいと思いますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=734)



## 15. 児童館で遊んだ経験

### 小学生、中学生

児童館で遊んだ経験について、全体では「ある」が67.2%、「ない」が28.9%となっている。  
 経験がある割合は、小学生（1～3年生）が最も高く70.5%、次いで中学生が66.7%、小学生（4～6年生）が63.9%となっている。



	はい	いいえ	分からない
小学生 (1～3年生)	70.5%	28.4%	1.1%
小学生 (4～6年生)	63.9%	33.5%	2.6%
中学生	66.7%	25.1%	8.2%
全体	67.2%	28.9%	3.9%

## 16. 児童館で楽しかったことや魅力的に感じたこと

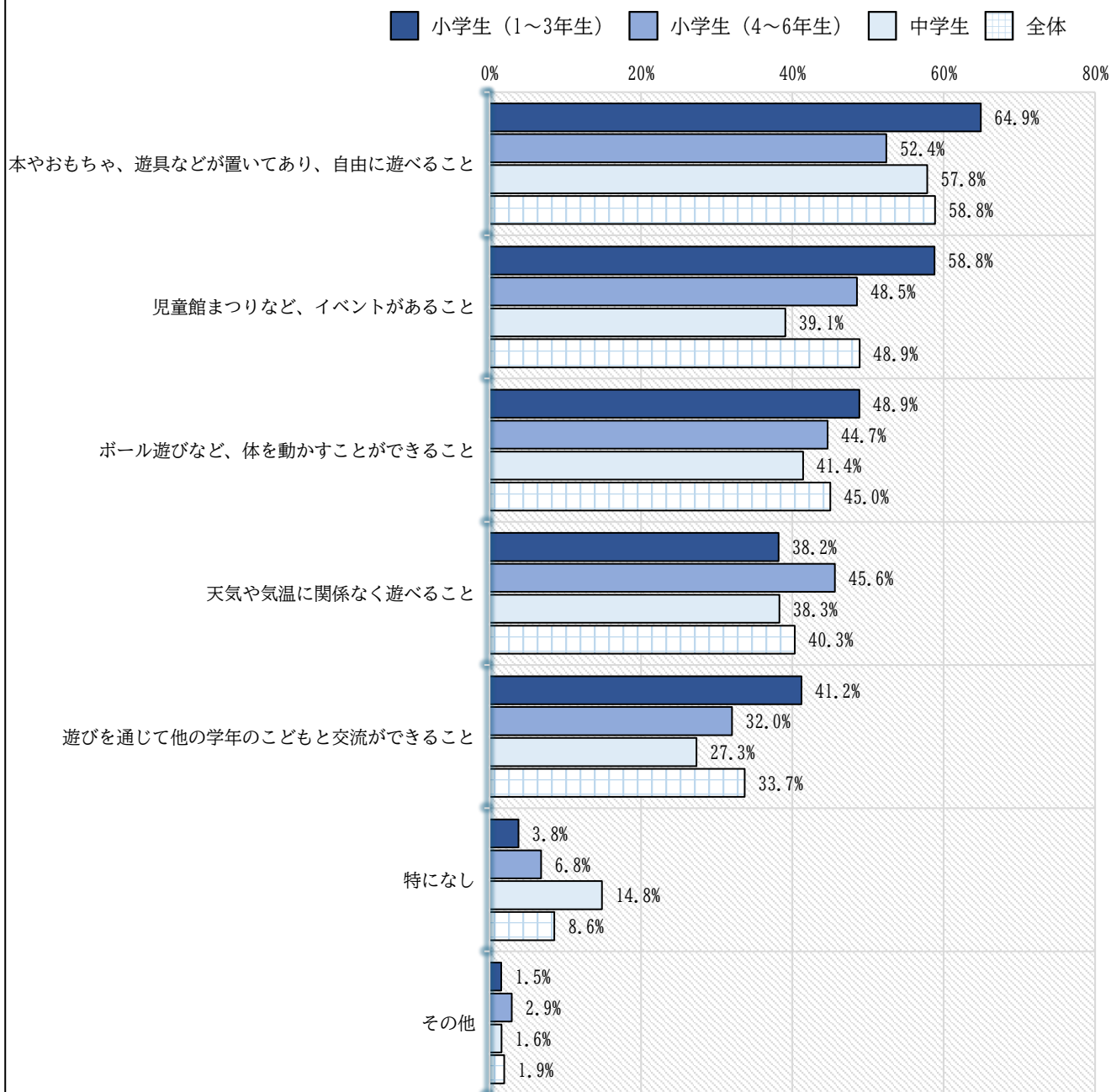
回答対象：児童館で遊んだ経験について、「はい」又は「分からない」のいずれかを選択した者

### 小学生、中学生

児童館で楽しかったことや魅力的に感じたことについて、全体では「本やおもちゃ、遊具などが置いてあり、自由に遊べること」が58.8%で最も高く、次いで「児童館まつりなど、イベントがあること」が48.9%、「ボール遊びなど、体を動かすことができること」が45.0%となっている。

全ての年代で、「本やおもちゃ、遊具などが置いてあり、自由に遊べること」が最も高く、小学生（1～3年生）が64.9%、小学生（4～6年生）が52.4%、中学生が57.8%となっている。次いで小学生（1～3年生）と小学生（4～6年生）では、「児童館まつりなど、イベントがあること」が高く、小学生（1～3年生）が58.8%、小学生（4～6年生）が48.5%となっており、中学生では、「ボール遊びなど、体を動かすことができること」が41.4%となっている。

<児童館で楽しかったことや魅力的に感じたことは何ですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。>  
(n=362)



	本やおもちゃ、遊具などが置いてあり、自由に遊べること	児童館まつりなど、イベントがあること	ボール遊びなど、体を動かすことができること	天気や気温に関係なく遊べること	遊びを通じて他の学年の子どもと交流ができること	特になし	その他
小学生（1～3年生）	64.9%	58.8%	48.9%	38.2%	41.2%	3.8%	1.5%
小学生（4～6年生）	52.4%	48.5%	44.7%	45.6%	32.0%	6.8%	2.9%
中学生	57.8%	39.1%	41.4%	38.3%	27.3%	14.8%	1.6%
全体	58.8%	48.9%	45.0%	40.3%	33.7%	8.6%	1.9%

## 17. 児童館への要望

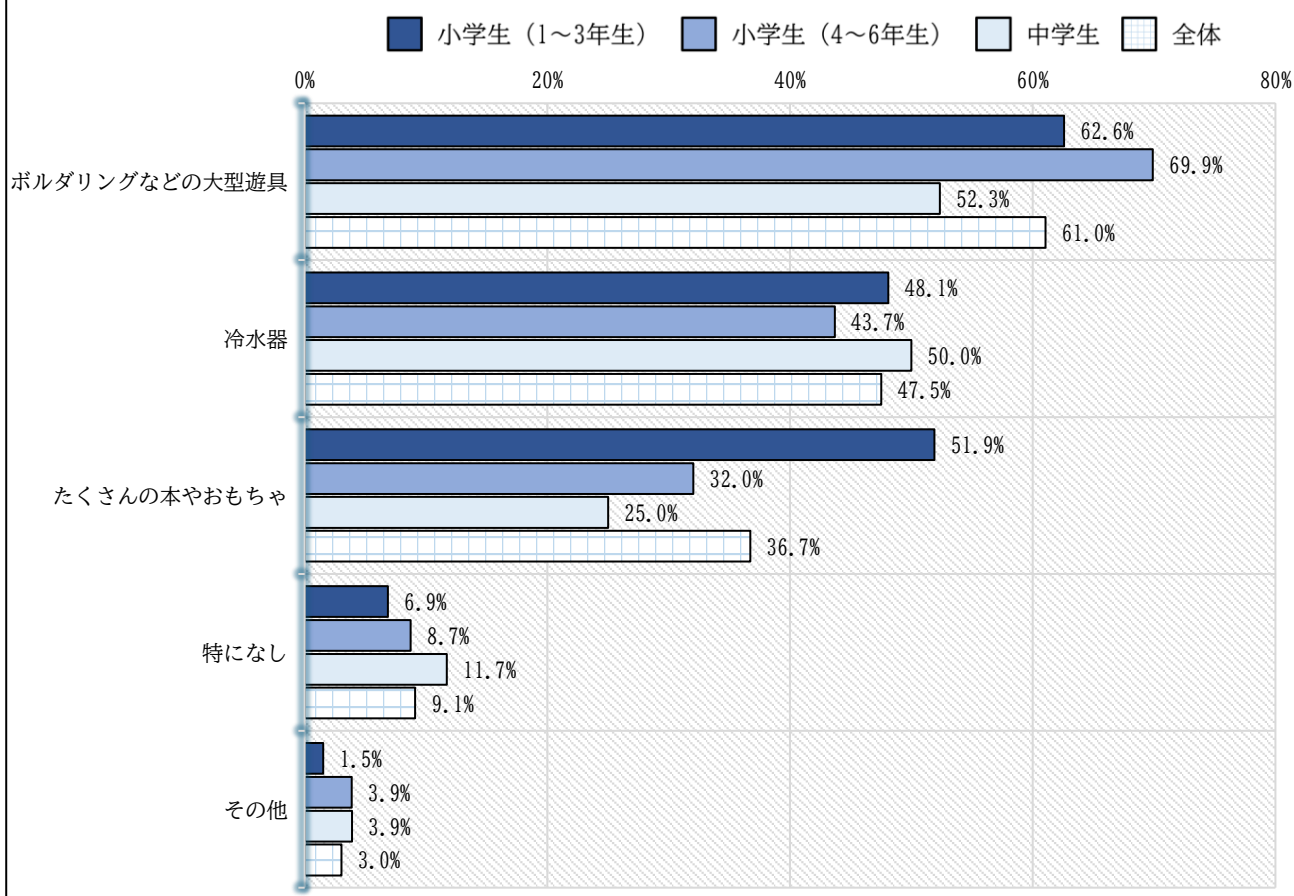
回答対象：児童館で遊んだ経験について、「はい」又は「分からない」のいずれかを選択した者

### 小学生、中学生

児童館に置いてほしいものや設備などについて、全体では「ボルダリングなどの大型遊具」が61.0%で最も高く、次いで「冷水器」が47.5%、「たくさんの本やおもちゃ」が36.7%となっている。

全ての年代で、「ボルダリングなどの大型遊具」が最も高く、小学生（1～3年生）が62.6%、小学生（4～6年生）が69.9%、中学生が52.3%となっており、次いで、小学生（1～3年生）では「たくさんの本やおもちゃ」が51.9%、小学生（4～6年生）と中学生では「冷水器」が高くなっている。

<児童館に置いてほしいものや設備など、具体的な要望がありますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください> (n=362)



	遊具 ボルダリング などの大型	冷水器	たくさん の本やおも ちゃ	特になし	その他
小学生（1～3年生）	62.6%	48.1%	51.9%	6.9%	1.5%
小学生（4～6年生）	69.9%	43.7%	32.0%	8.7%	3.9%
中学生	52.3%	50.0%	25.0%	11.7%	3.9%
全体	61.0%	47.5%	36.7%	9.1%	3.0%

## 18. 児童館へ遊びに行ったことがない理由

回答対象：児童館で遊んだ経験について、「いいえ」を選択した者

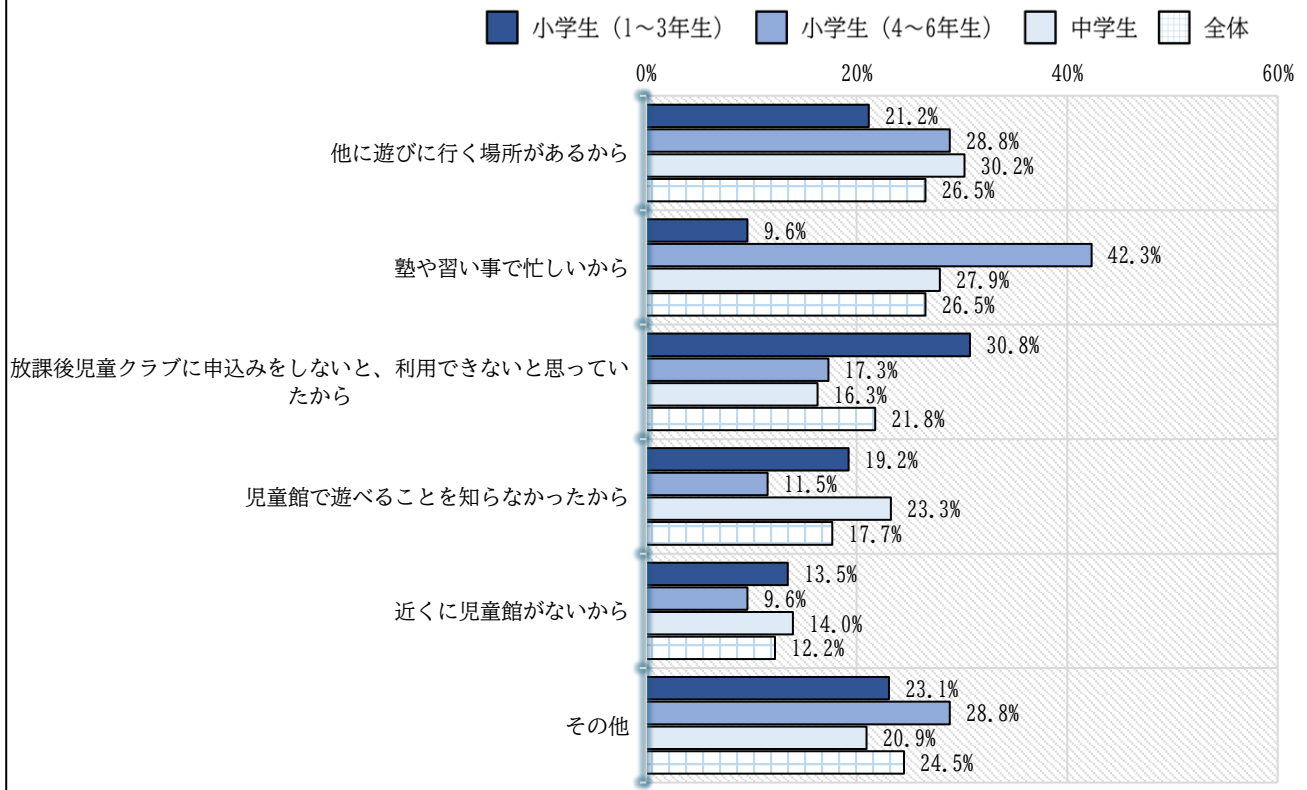
### 小学生、中学生

児童館へ遊びに行ったことがない理由について、全体では「他に遊びに行く場所があるから」と「塾や習い事で忙しいから」がともに26.5%で最も高く、次いで「放課後児童クラブに申込みをしないと、利用できないと思っていたから」が21.8%となっている。

小学生（1～3年生）では「放課後児童クラブに申込みをしないと、利用できないと思っていたから」が30.8%で最も高く、小学生（4～6年生）では「塾や習い事で忙しいから」が42.3%で最も高くなっている。次いで、小学生（1～3年生）と小学生（4～6年生）ともに、「他に遊びに行く場所があるから」が高くなっている。

中学生では、「他に遊びに行く場所があるから」が30.2%で最も高く、次いで「塾や習い事で忙しいから」が27.9%となっている。

<児童館へ遊びに行ったことがない理由は何ですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。>  
(n=147)



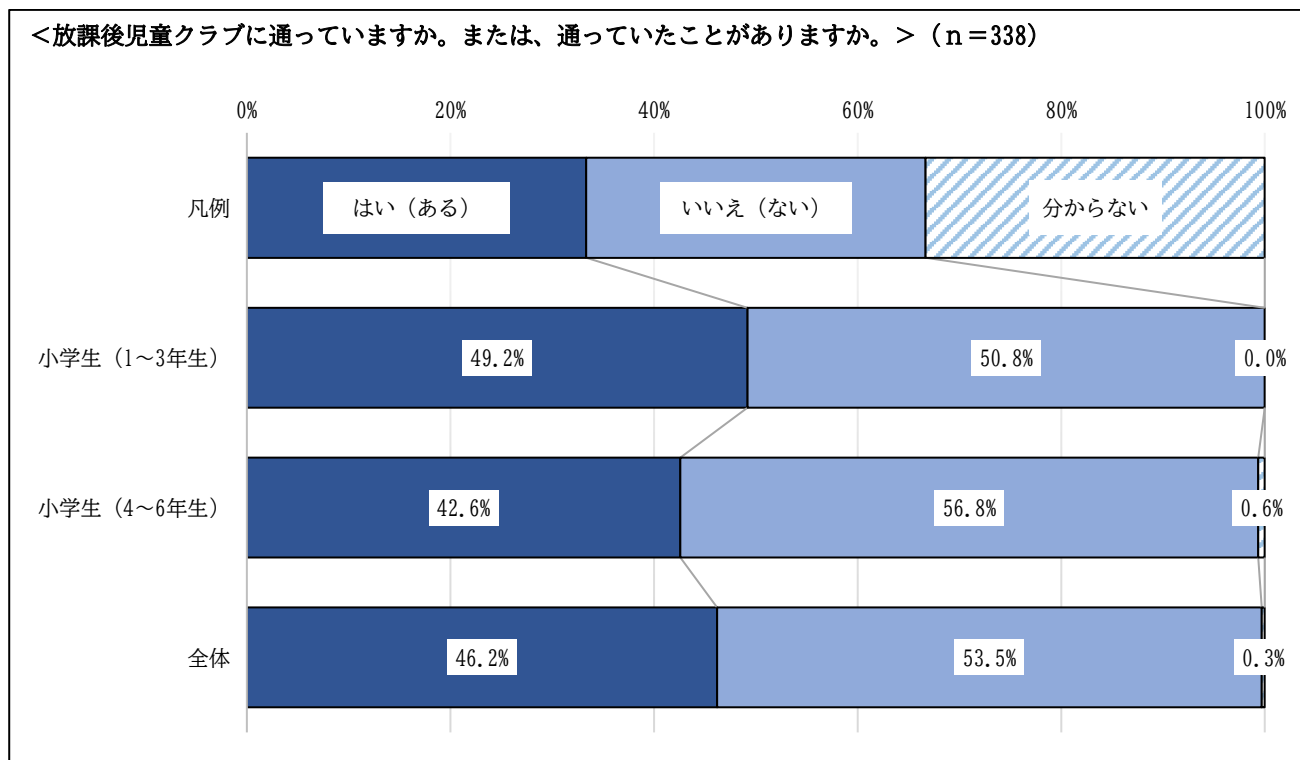
	他に遊びに行く場所があるから	塾や習い事で忙しいから	放課後児童クラブに申込みをしないと、利用できないと思っていたから	児童館で遊べることを知らなかったから	近くに児童館がないから	その他
小学生（1～3年生）	21.2%	9.6%	30.8%	19.2%	13.5%	23.1%
小学生（4～6年生）	28.8%	42.3%	17.3%	11.5%	9.6%	28.8%
中学生	30.2%	27.9%	16.3%	23.3%	14.0%	20.9%
全体	26.5%	26.5%	21.8%	17.7%	12.2%	24.5%

## 19. 放課後児童クラブの利用

### 1) 小学生

放課後児童クラブの利用について、全体では、「ある」が46.2%、「ない」が53.5%となっている。

小学生（1～3年生）では、「ある」が49.2%で、小学生（4～6年生）の42.6%よりも高くなっている。

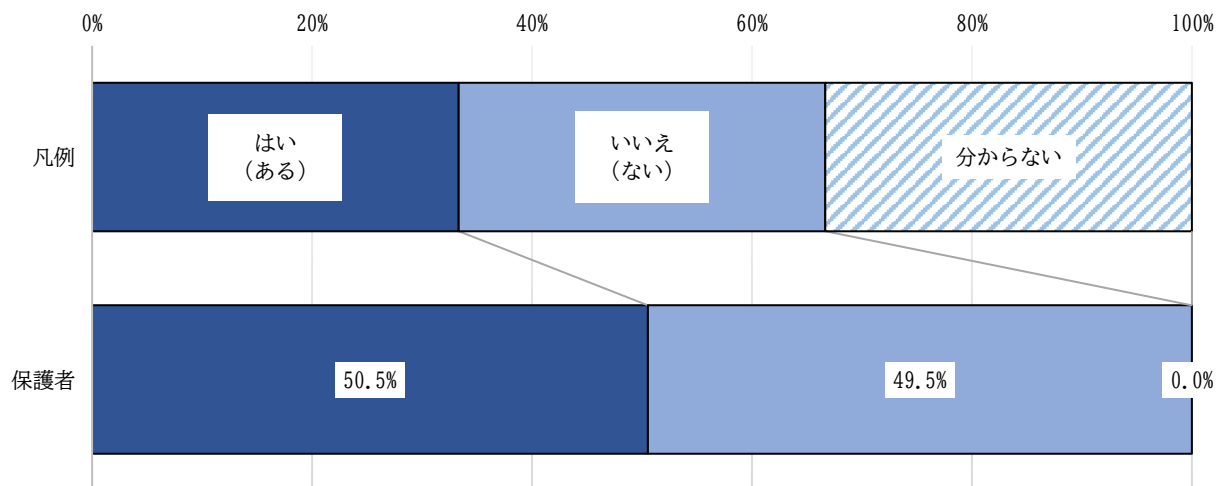


	はい (ある)	いいえ (ない)	分からない
小学生 (1～3年生)	49.2%	50.8%	0.0%
小学生 (4～6年生)	42.6%	56.8%	0.6%
全体	46.2%	53.5%	0.3%

## 2) 保護者

放課後児童クラブの利用について、保護者では、「ある」が50.5%で、「ない」が49.5%となっている。

<放課後児童クラブに通っていますか。または、通っていたことがありますか（お子様のことについてお答えください）。> (n=370)



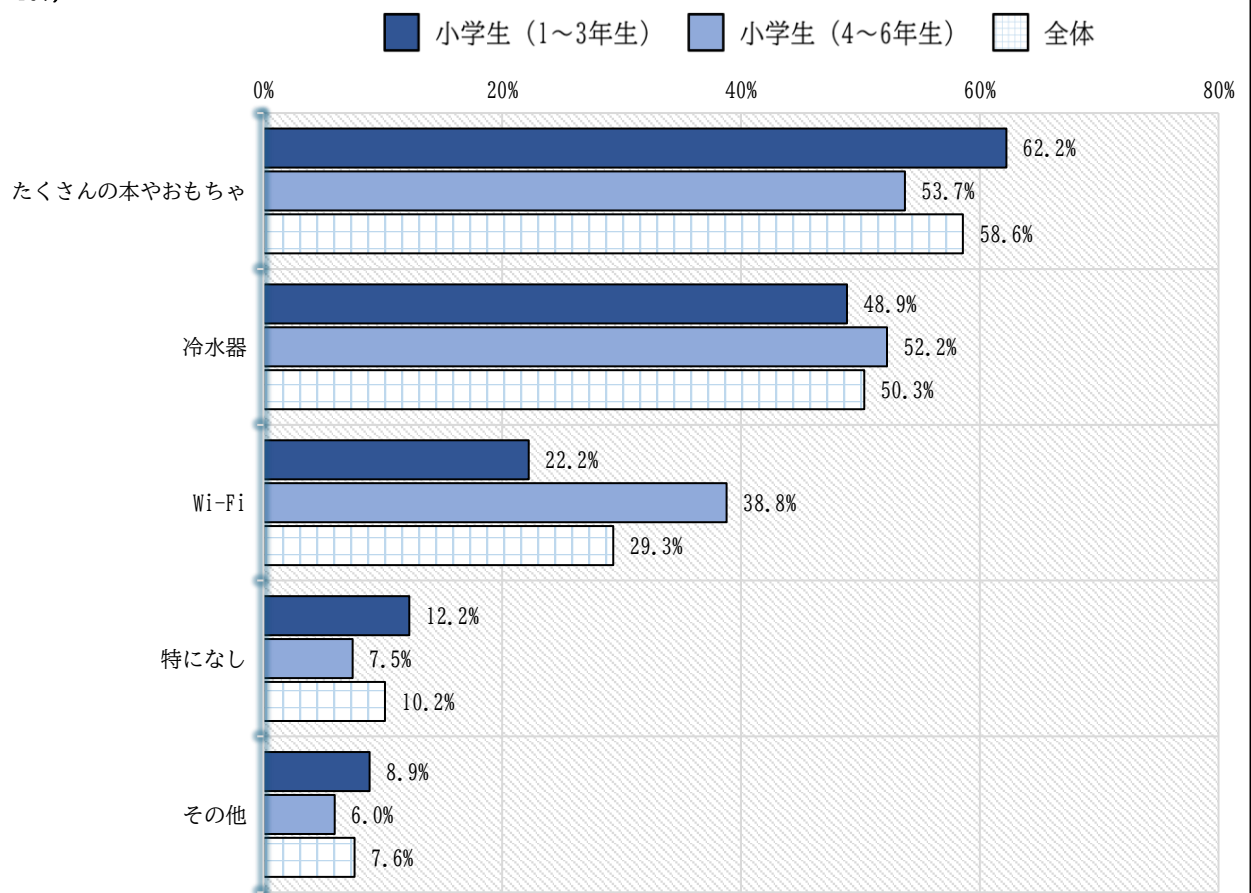
## 20. 放課後児童クラブに置いてほしいものや設備

回答対象：放課後児童クラブの利用について、「ある」又は「わからない」のいずれかを選択した者

### 1) 小学生

放課後児童クラブに置いてほしいものや設備について、小学生（1～3年生）と小学生（4～6年生）ともに「たくさんのおもちゃ」が最も高く、小学生（1～3年生）が62.2%、小学生（4～6年生）が53.7%となっている。次いで、小学生（1～3年生）と小学生（4～6年生）ともに「冷水器」が高く、小学生（1～3年生）が48.9%、小学生（4～6年生）が52.2%となっている。

<放課後児童クラブに置いてほしいものや設備はありますか、次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。>  
(n=157)

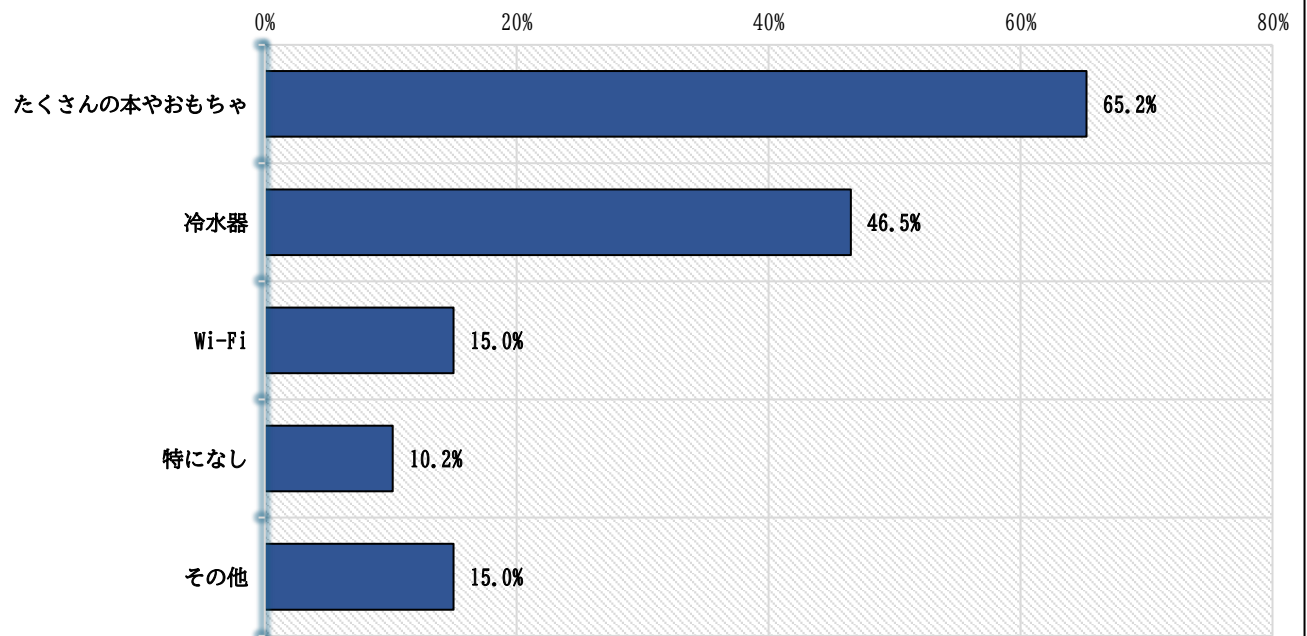


	たくさんのおもちゃ	冷水器	Wi-Fi	特になし	その他
小学生（1～3年生）	62.2%	48.9%	22.2%	12.2%	8.9%
小学生（4～6年生）	53.7%	52.2%	38.8%	7.5%	6.0%
全体	58.6%	50.3%	29.3%	10.2%	7.6%

## 2) 保護者

放課後児童クラブに置いてほしいものや設備について、保護者では、「たくさんのおもちゃ」が65.2%で最も高く、次いで「冷水器」が46.5%、「Wi-Fi」が15.0%となっている。

<放課後児童クラブに置いてほしいものや設備はありますか、次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。  
(保護者自身の考えをお答えください。) > (n=187)



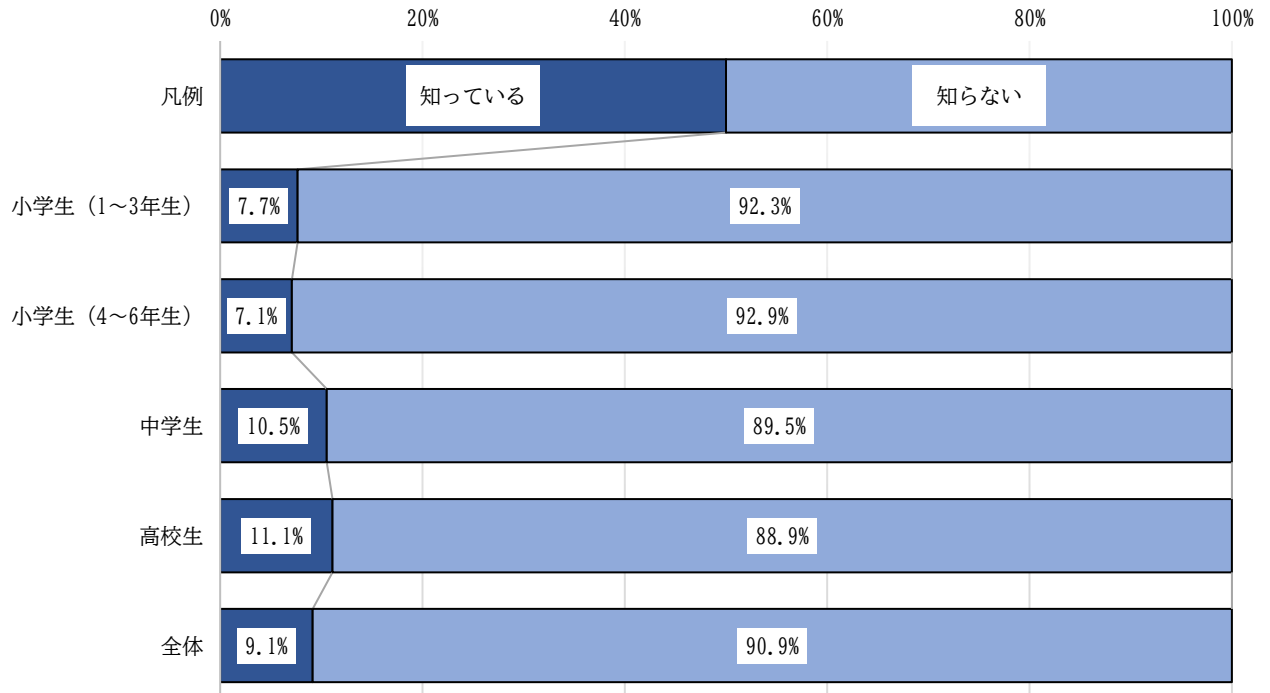
## 2.1. 「インクルーシブ公園」の認知状況

### 1) 小学生、中学生、高校生

「インクルーシブな公園」という言葉の認知状況について、全体では、「知っている」が9.1%、「知らない」が90.9%となっており、全ての年代で「知っている」が10%前後となっている。

< 「インクルーシブな公園」という言葉を聞いたことがありますか。 > (n=689)

※ 「インクルーシブな公園」とは、障害の有無などに関わらず遊ぶことのできる遊具などが置かれている公園です。

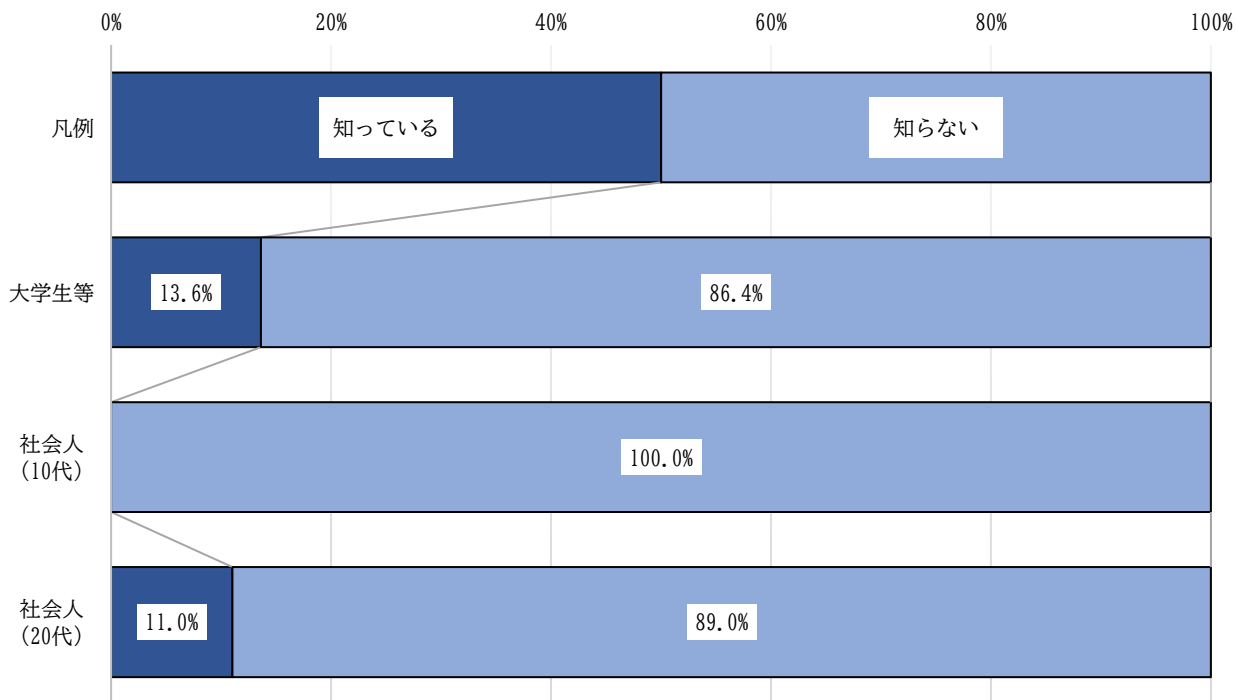


## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

「インクルーシブな公園」という言葉の認知状況について、「知っている」と回答したのが、大学生等で13.6%、社会人（20代）で11.0%となっている一方、社会人（10代）では、0.0%となっている。

<「インクルーシブな公園」という言葉を聞いたことがありますか。> (n=554)

※「インクルーシブな公園」とは、障害の有無などに関わらず遊ぶことのできる遊具などが置かれている公園です。



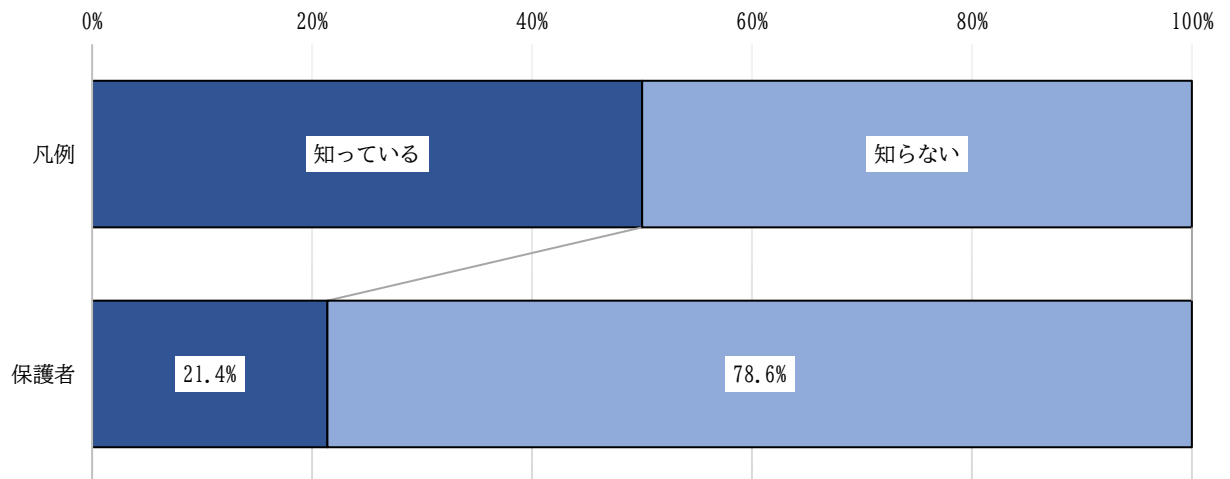
	知っている	知らない
大学生等	13.6%	86.4%
社会人 (10代)	0.0%	100.0%
社会人 (20代)	11.0%	89.0%
全体	11.7%	88.3%

### 3) 保護者

「インクルーシブな公園」という言葉の認知状況について、保護者では、「知っている」が21.4%となっており「知らない」の78.6%を下回っている。

<「インクルーシブな公園」という言葉を聞いたことがありますか。> (n=734)

※「インクルーシブな公園」とは、障害の有無などに関わらず遊ぶことのできる遊具などが置かれている公園です。



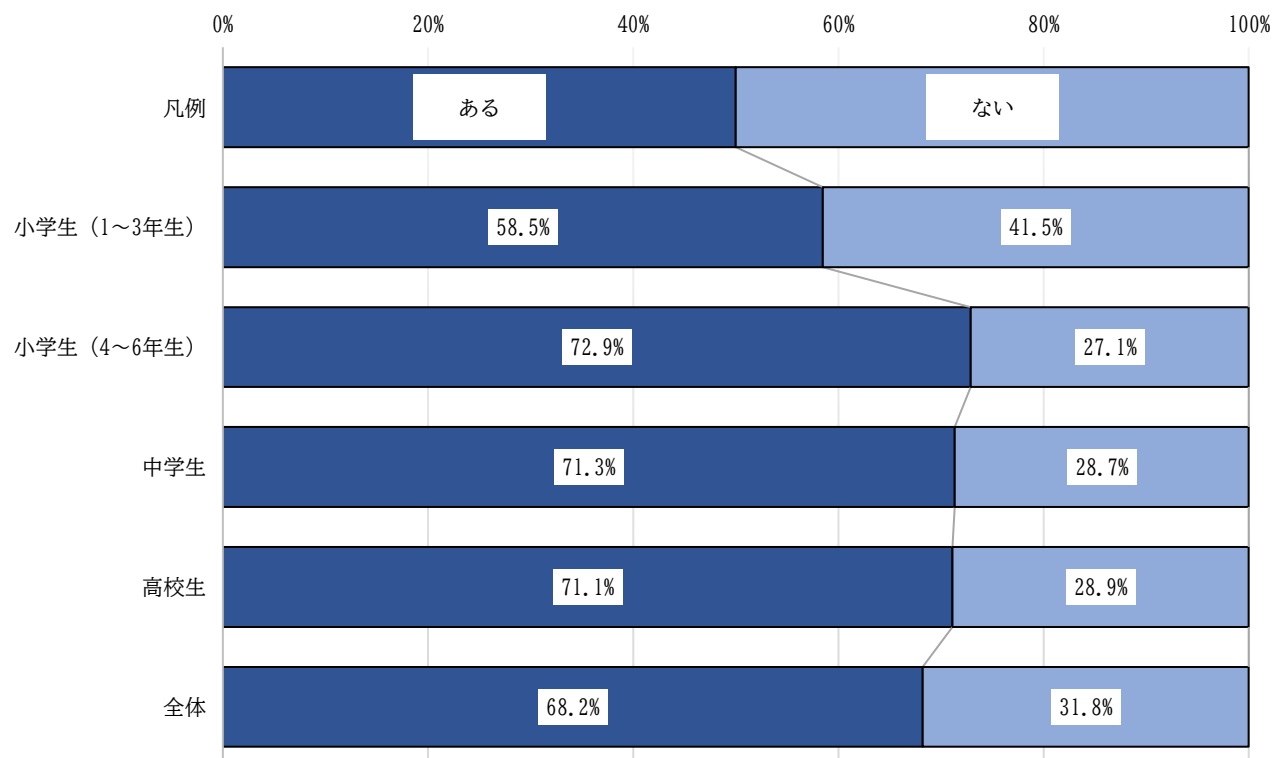
## 2.2. 公園に時計がなく困った経験

### 1) 小学生、中学生、高校生

公園に時計がなく時間が分からず困った経験の有無について、全体では、「ある」が68.2%となっており、「ない」の31.8%を上回っている。

また、全ての年代で「ある」が「ない」を上回っており、小学生（1～3年生）では、「ある」が58.5%に対して「ない」が41.5%、小学生（4～6年生）や中学生、高校生では、「ある」がいずれも70%超であるのに対して「ない」がいずれも30%未満となっている。

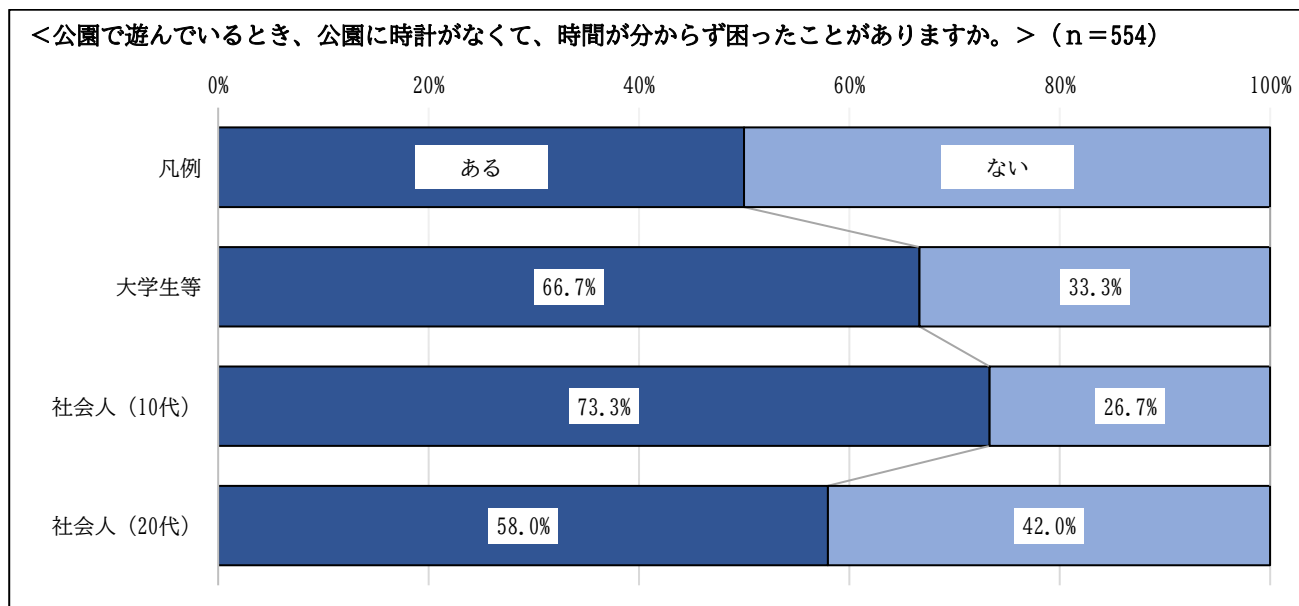
<公園で遊んでいるとき、公園に時計がなく、時間が分からず困ったことがありますか。> (n=689)



	ある	ない
小学生（1～3年生）	58.5%	41.5%
小学生（4～6年生）	72.9%	27.1%
中学生	71.3%	28.7%
高校生	71.1%	28.9%
全体	68.2%	31.8%

## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

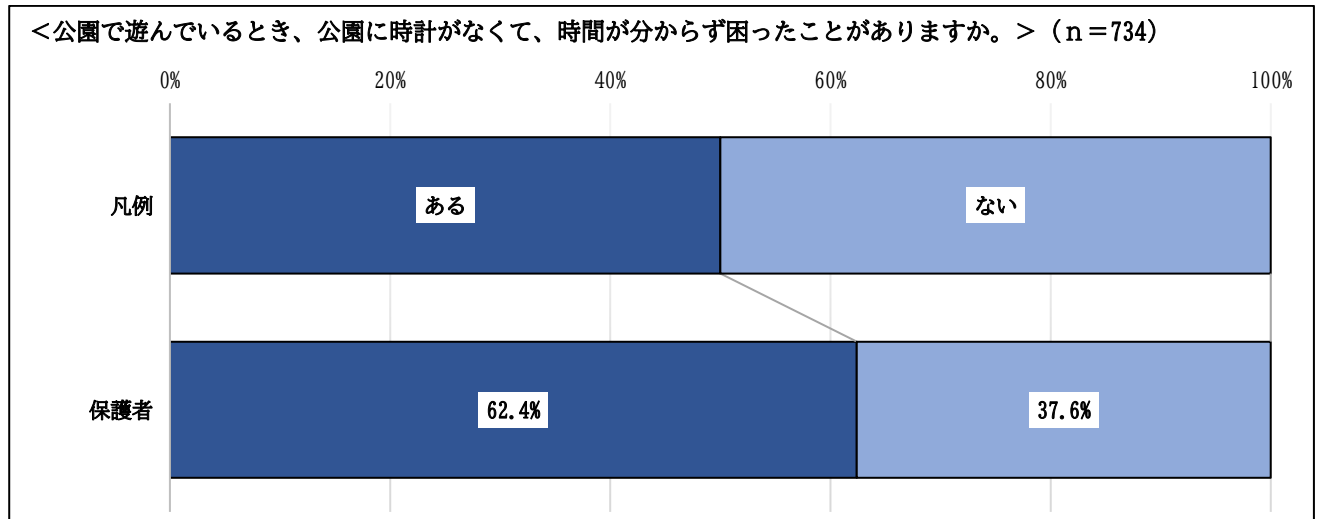
公園に時計がなく時間が分からず困った経験の有無について、大学生等では、「ある」が66.7%に対して「ない」が33.3%、社会人（10代）では、「ある」が73.3%に対して「ない」が26.7%、社会人（20代）では、「ある」が58.0%に対して「ない」が42.0%となっている。



	ある	ない
大学生等	66.7%	33.3%
社会人(10代)	73.3%	26.7%
社会人(20代)	58.0%	42.0%
全体	61.7%	38.3%

### 3) 保護者

公園に時計がなく時間が分からず困った経験の有無について、保護者では、「ある」が62.4%に対して「ない」が37.6%となっている。



## 2.3. 平日の放課後における読書時間

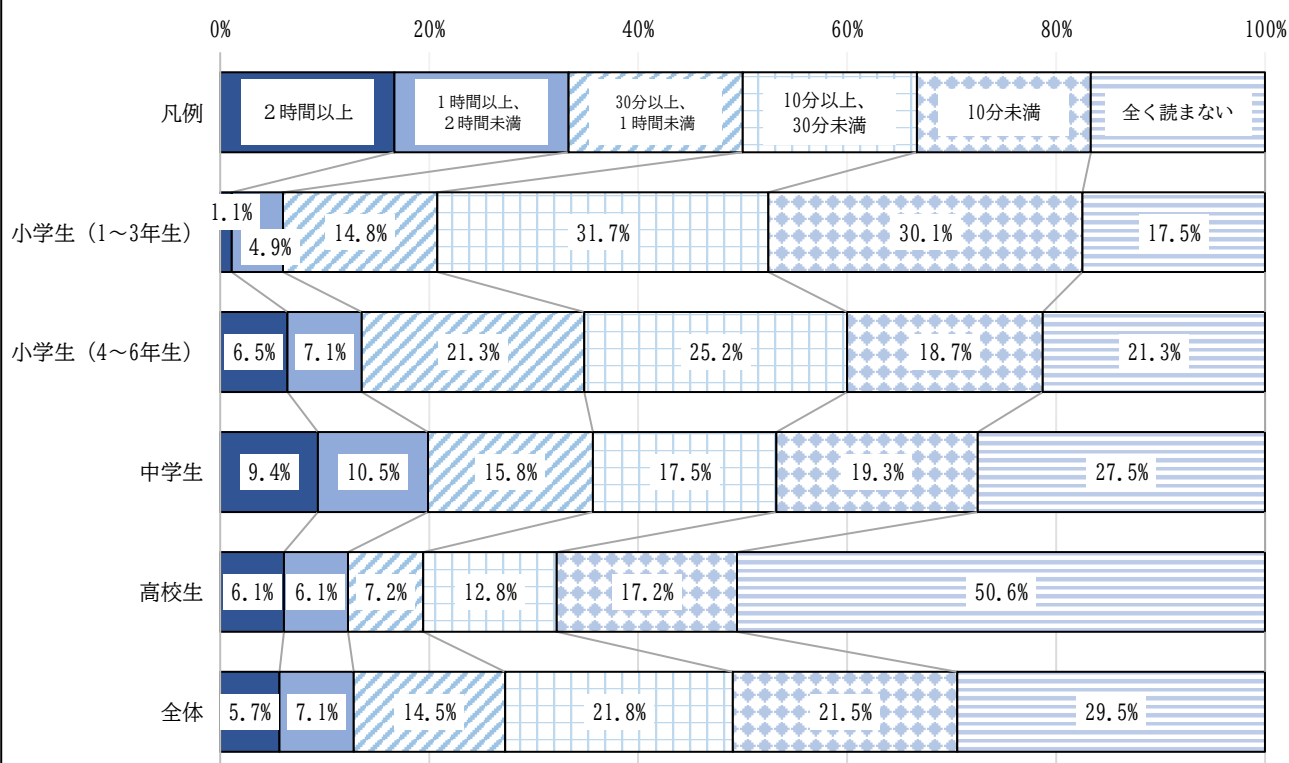
### 小学生、中学生、高校生

平日の放課後における読書（教科書、参考書、漫画等を除く）について、全体では、「全く読まない」が29.5%で最も高く、次いで「10分以上、30分未満」が21.8%、「10分未満」が21.5%となっている。

小学生（1～3年生）では、「10分以上、30分未満」が31.7%で最も高く、次いで「10分未満」が30.1%となっており、小学生（4～6年生）では、「10分以上、30分未満」が25.2%で最も高く、次いで「30分以上、1時間未満」と「全く読まない」がともに21.3%となっている。

中学生、高校生ともに「全く読まない」が最も高く、中学生が27.5%、高校生が50.6%となっており、次いで「10分未満」がともに高く、中学生が19.3%、高校生が17.2%となっている。

<直近1か月のことを教えてください。普段（月曜日から金曜日に学校の授業時間以外）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む、教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。> (n=689)



	2時間以上	1時間以上、2時間未満	30分以上、1時間未満	10分以上、30分未満	10分未満	全く読まない
小学生 (1~3年生)	1.1%	4.9%	14.8%	31.7%	30.1%	17.5%
小学生 (4~6年生)	6.5%	7.1%	21.3%	25.2%	18.7%	21.3%
中学生	9.4%	10.5%	15.8%	17.5%	19.3%	27.5%
高校生	6.1%	6.1%	7.2%	12.8%	17.2%	50.6%
全体	5.7%	7.1%	14.5%	21.8%	21.5%	29.5%

## 24. 本の入手・閲覧方法

回答対象：平日の放課後における読書時間（教科書、参考書、漫画等を除く）について、「2時間以上」、「1時間以上、2時間未満」、「30分以上、1時間未満」、「10分以上、30分未満」、「10分未満」のいずれかを選択した者

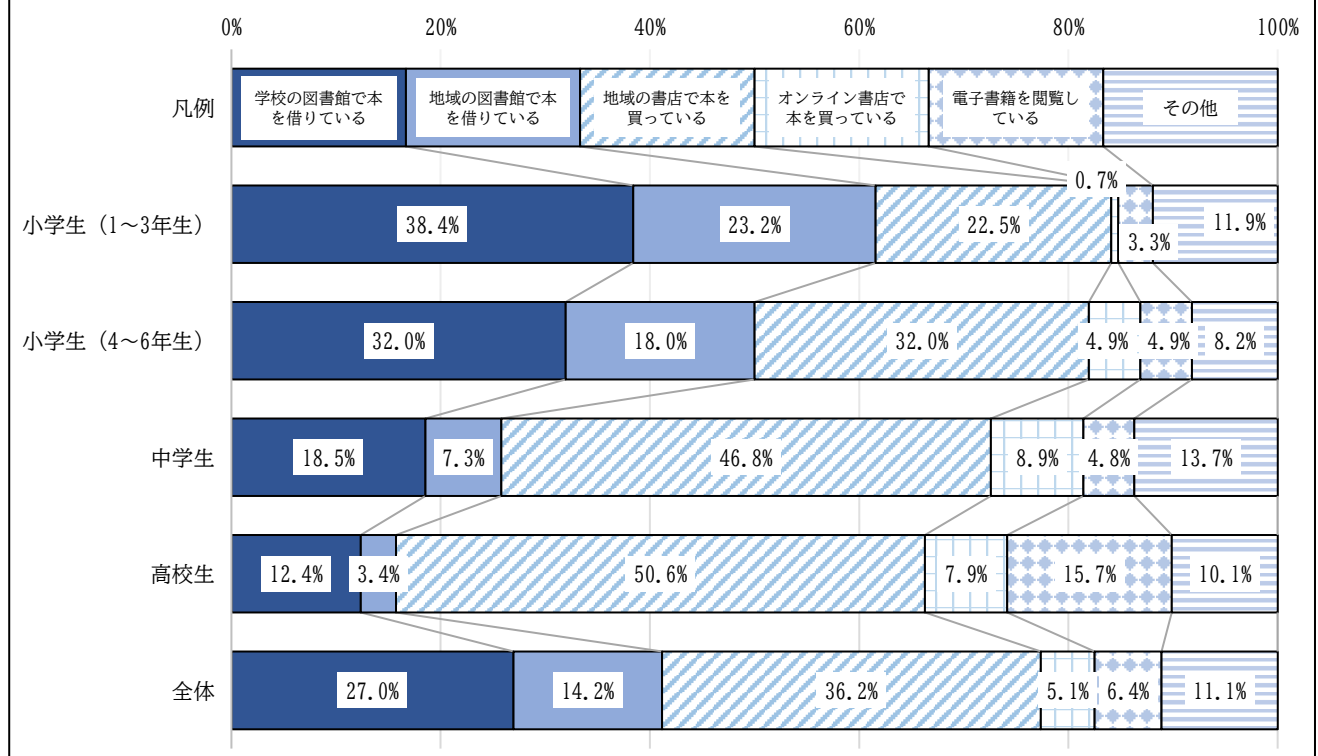
### 小学生、中学生、高校生

普段の本の入手・閲覧方法について、全体では、「地域の書店で本を買っている」が36.2%で最も高く、次いで「学校の図書館で本を借りている」が27.0%、「地域の図書館で本を借りている」が14.2%となっている。

小学生（1～3年生）では、「学校の図書館で本を借りている」が38.4%で最も高く、次いで「地域の図書館で本を借りている」が23.2%となっており、小学生（4～6年生）では、「学校の図書館で本を借りている」と「地域の書店で本を買っている」がともに32.0%で最も高く、次いで「地域の図書館で本を借りている」が18.0%となっている。

中学生、高校生では、ともに「地域の書店で本を買っている」が最も高く、中学生が46.8%、高校生が50.6%となっており、次いで、中学生では「学校の図書館で本を借りている」が18.5%、高校生では、「電子書籍を閲覧している」が15.7%となっている。

<普段どうやって本を読んでいますか。次のうち、当てはまるものを一つ選んでください。> (n=486)



	本学校の図書館で借りて読む	地域の図書館で借りて読む	地域の書店で本を買って読む	オンライン書店で本を買って読む	電子書籍を閲覧	その他
小学生 (1～3年生)	38.4%	23.2%	22.5%	0.7%	3.3%	11.9%
小学生 (4～6年生)	32.0%	18.0%	32.0%	4.9%	4.9%	8.2%
中学生	18.5%	7.3%	46.8%	8.9%	4.8%	13.7%
高校生	12.4%	3.4%	50.6%	7.9%	15.7%	10.1%
全体	27.0%	14.2%	36.2%	5.1%	6.4%	11.1%

## 25. 読書をしなかった理由

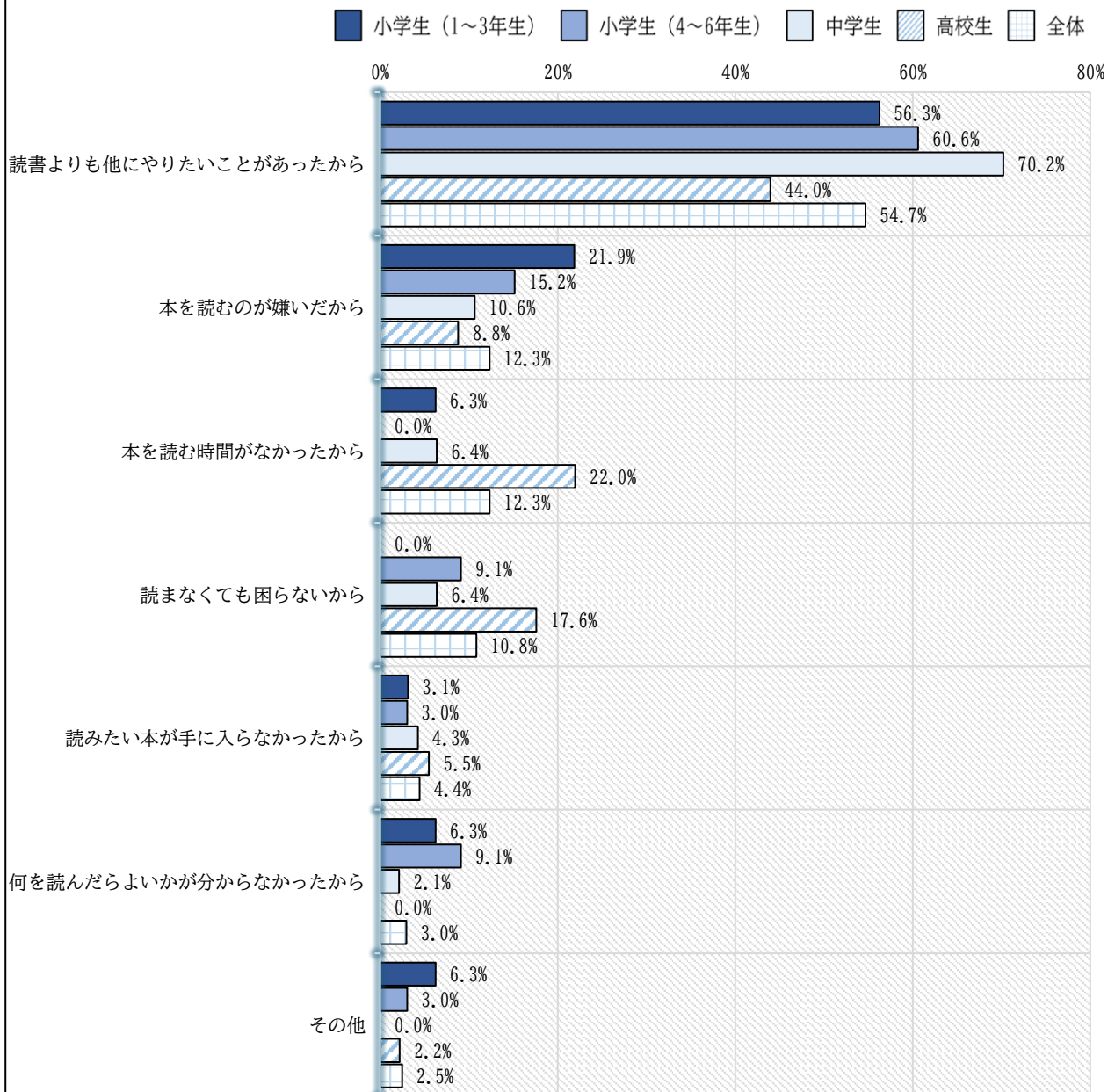
回答対象：平日の放課後における読書時間（教科書、参考書、漫画等を除く）で、「全く読まない」を選択した者

### 小学生、中学生、高校生

読書をしなかった主な理由について、全体では、「読書よりも他にやりたいことがあったから」が54.7%で最も高く、次いで「本を読むのが嫌いだから」と「本を読む時間がなかったから」がともに12.3%となっている。

全ての年代で「読書よりも他にやりたいことがあったから」が最も高く、小学生（1～3年生）が56.3%、小学生（4～6年生）が60.6%、中学生が70.2%、高校生が44.0%となっている。次いで、小学生（1～3年生）や小学生（4～6年生）、中学生では、「本を読むのが嫌いだから」が高く、小学生（1～3年生）が21.9%、小学生（4～6年生）が15.2%、中学生が10.6%となっており、高校生では、「本を読む時間がなかったから」が22.0%となっている。

< 1か月の間に本を読まなかった理由はなんですか。次のうち、もっとも当てはまるものを選んでください。 >  
(n=203)



	読書よりも他にやりたいことがあつたから	本を読むのが嫌いだから	本を読む時間がなかったから	読まなくても困らないから	読みたい本が手に入らなかったから	何を読んだらよいか分からなかったから	その他
小学生（1～3年生）	56.3%	21.9%	6.3%	0.0%	3.1%	6.3%	6.3%
小学生（4～6年生）	60.6%	15.2%	0.0%	9.1%	3.0%	9.1%	3.0%
中学生	70.2%	10.6%	6.4%	6.4%	4.3%	2.1%	0.0%
高校生	44.0%	8.8%	22.0%	17.6%	5.5%	0.0%	2.2%
全体	54.7%	12.3%	12.3%	10.8%	4.4%	3.0%	2.5%

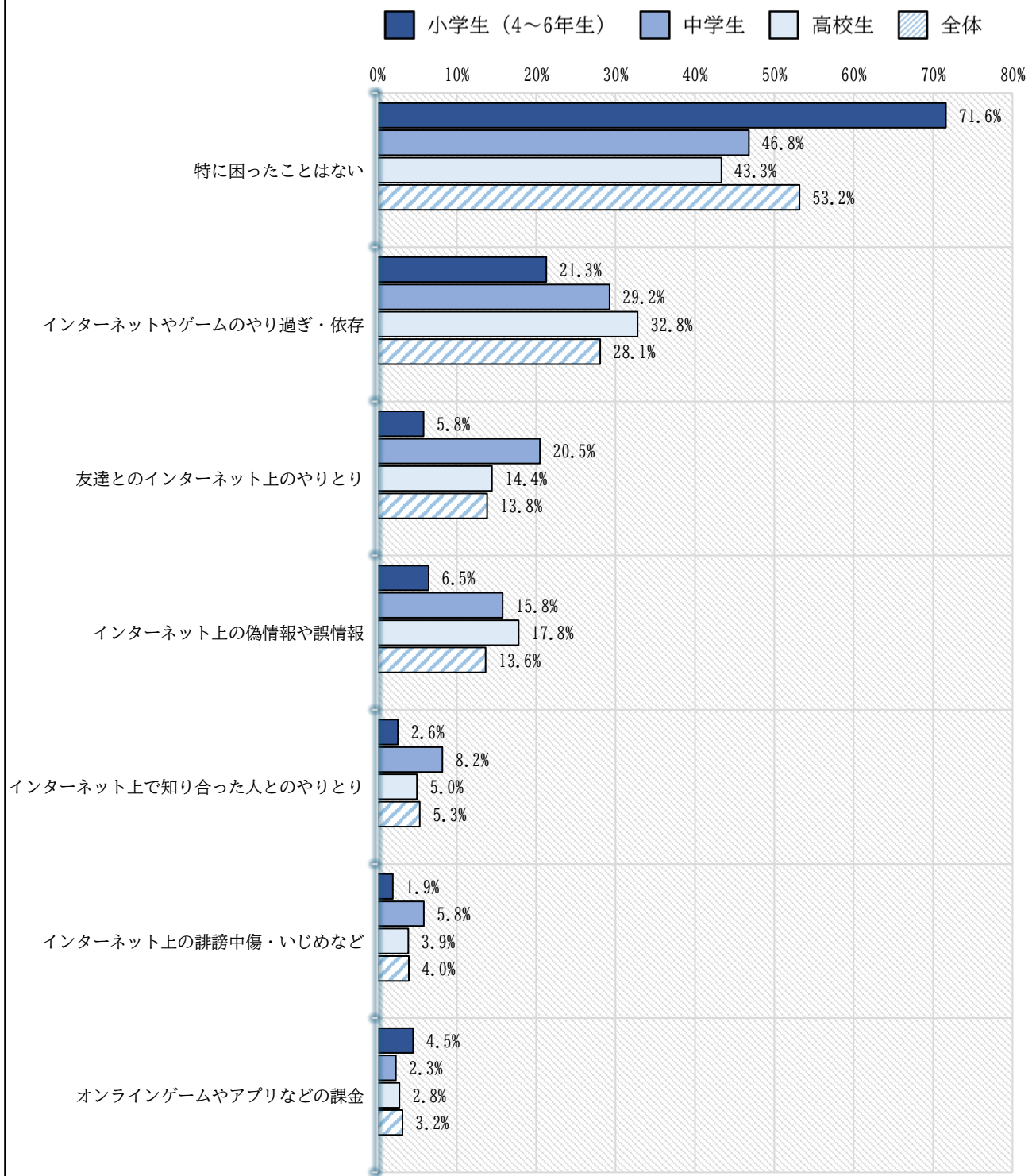
## 26. インターネット利用で経験した困りごと

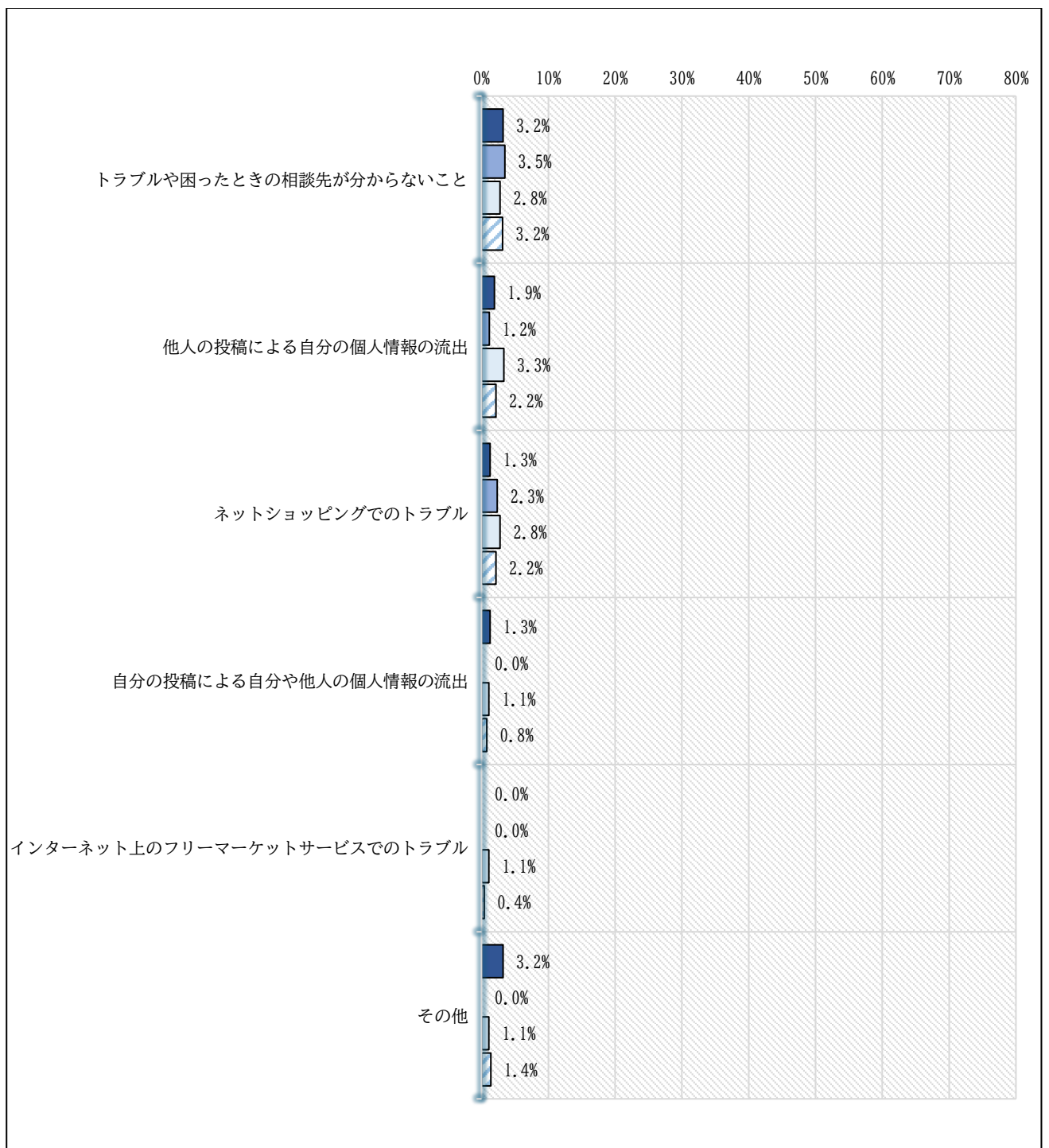
### 1) 小学生（4～6年生）、中学生

インターネット利用で経験した困りごとについて、全体では、「特に困ったことはない」が53.2%で最も高く、次いで「インターネットやゲームのやり過ぎ・依存」が28.1%となっている。

全ての年代で「特に困ったことはない」が最も高く、小学生（4～6年生）が71.6%、中学生が46.8%、高校生が43.3%となっており、次いで「インターネットやゲームのやり過ぎ・依存」がいずれも高く、小学生（4～6年生）が21.3%、中学生が29.2%、高校生が32.8%となっている。

<インターネットを利用して困ったことはありませんか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。>  
(n=506)



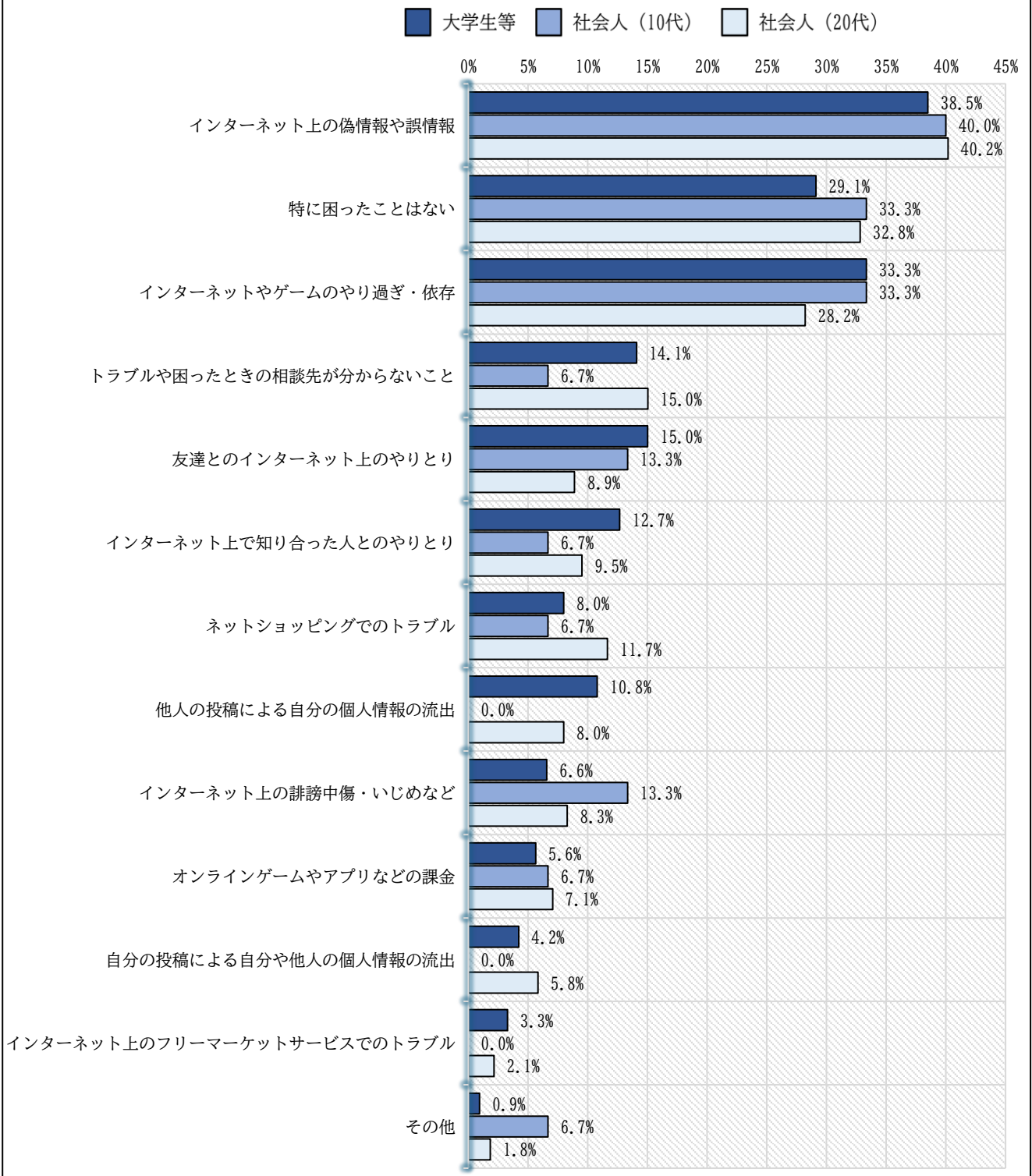


	特に困ったことはない	インターネットやゲームのやり過ぎ・依存	友達とのインターネット	インターネット上の偽情報や誤情報	インターネット上で知り合った人とのやりとり	インターネット上の誹謗中傷・いじめなど	オンラインゲームやアプリなどの課金	トラブルや困ったときの相談先が分からないこと	他人の投稿による自分の個人情報の流出	ネットショッピングでのトラブル	自分の投稿による自分や他人の個人情報の流出	インターネット上のサービスでのトラブル	その他
小学生 (4~6年生)	71.6%	21.3%	5.8%	6.5%	2.6%	1.9%	4.5%	3.2%	1.9%	1.3%	1.3%	0.0%	3.2%
中学生	46.8%	29.2%	20.5%	15.8%	8.2%	5.8%	2.3%	3.5%	1.2%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
高校生	43.3%	32.8%	14.4%	17.8%	5.0%	3.9%	2.8%	2.8%	3.3%	2.8%	1.1%	1.1%	1.1%
全体	53.2%	28.1%	13.8%	13.6%	5.3%	4.0%	3.2%	3.2%	2.2%	2.2%	0.8%	0.4%	1.4%

## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

インターネット利用で経験した困りごとについて、全ての年代で「インターネット上の偽情報や誤情報」が最も高く、大学生等が38.5%、社会人（10代）が40.0%、社会人（20代）が40.2%となっている。次いで、大学生等では「インターネットやゲームのやり過ぎ・依存」が33.3%となっており、社会人（10代）では「特に困ったことはない」と「インターネットやゲームのやり過ぎ・依存」がともに33.3%となっており、社会人（20代）では「特に困ったことはない」が32.8%となっている。

<インターネットを利用して困ったことはありますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。>  
(n=554)

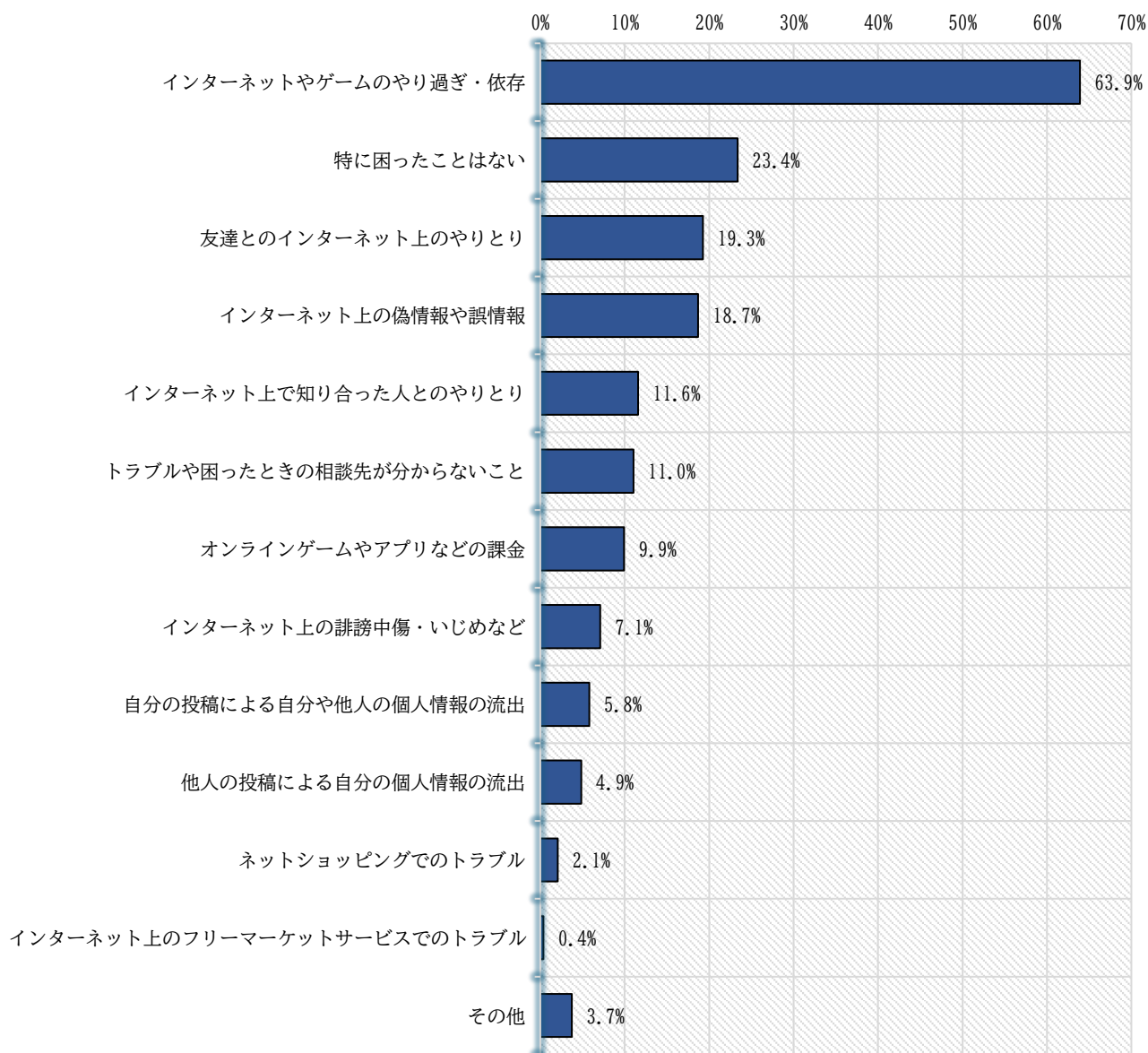


	インターネット上の偽情報や誤情報	特に困ったことはない	インターネットやゲームのやり過ぎ・依存	トラブルや困ったときの相談先が分からないこと	友達とのインターネット上のやりとり	インターネット上で知り合った人とのやりとり	ネットショッピングでのトラブル	他人の投稿による自分の個人情報の流出	インターネット上の誹謗中傷・いじめなど	オンラインゲームやアプリなどの課金	自分の投稿による自分や他人の個人情報の流出	インターネット上のフリーマーケットサービスでのトラブル	その他
大学生等	38.5%	29.1%	33.3%	14.1%	15.0%	12.7%	8.0%	10.8%	6.6%	5.6%	4.2%	3.3%	0.9%
社会人（10代）	40.0%	33.3%	33.3%	6.7%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%
社会人（20代）	40.2%	32.8%	28.2%	15.0%	8.9%	9.5%	11.7%	8.0%	8.3%	7.1%	5.8%	2.1%	1.8%
全体	39.5%	31.4%	30.3%	14.4%	11.4%	10.6%	10.1%	8.8%	7.8%	6.5%	5.1%	2.5%	1.6%

### 3) 保護者

こどものインターネット利用で経験した保護者の困りごとについて、保護者では、「インターネット・ゲームのやり過ぎ・依存」が63.9%で最も高く、次いで「特に困ったことはない」が23.4%、「友達とのインターネット上のやりとり」が19.3%となっている。

<インターネットを利用して困ったことはありませんか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。  
(お子様のことについて、お答えください。) > (n=535)



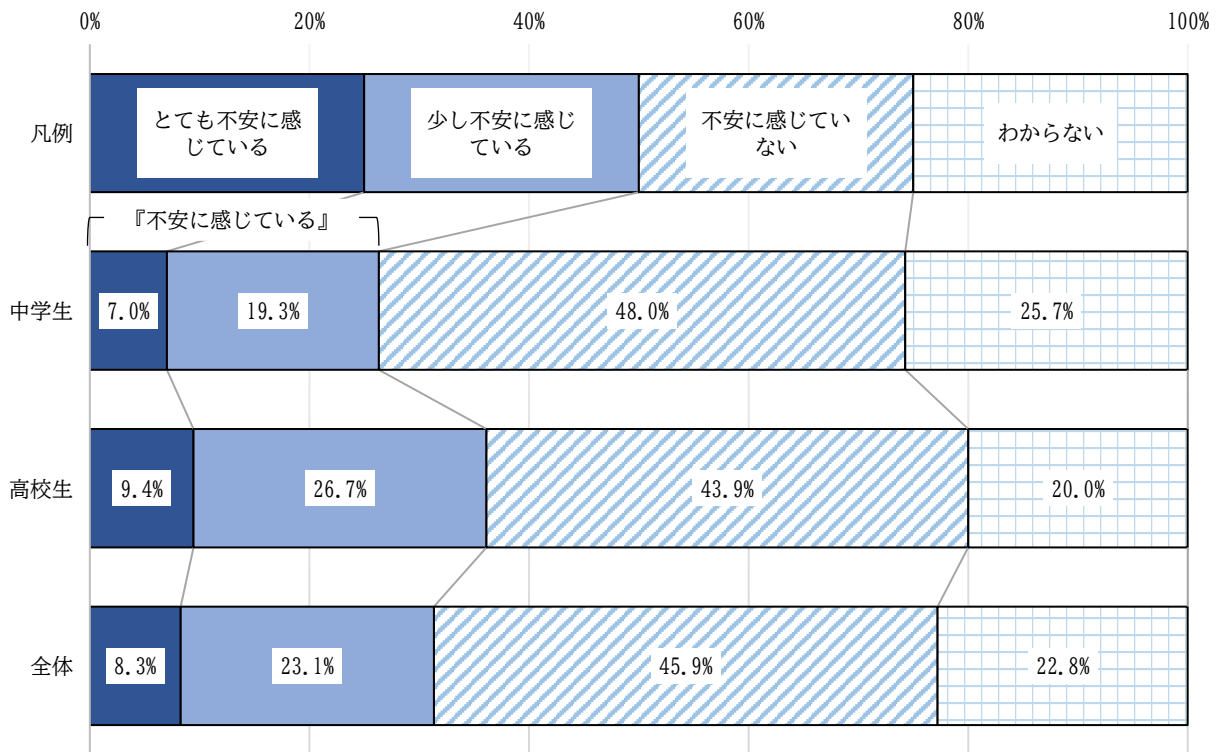
## 2.7. 成年年齢の引き下げに対する不安

### 1) 中学生、高校生

成年年齢が令和4年4月1日から引き下げられたことに対する不安の有無について、全体では、『不安に感じている（「とても不安に感じている」と「少し不安に感じている」を合わせた割合）』が31.4%で、「不安に感じていない」が45.9%となっている。

中学生、高校生ともに「不安に感じていない」が高く、中学生が48.0%、高校生が43.9%となっており、『不安に感じている』については、中学生が26.3%、高校生が36.1%となっている。

<成年年齢が引き下げられ、18歳で成年となったことについて、不安に感じていますか。> (n=351)



	とても不安に感じている	少し不安に感じている	不安に感じていない	わからない
中学生	7.0%	19.3%	48.0%	25.7%
高校生	9.4%	26.7%	43.9%	20.0%
全体	8.3%	23.1%	45.9%	22.8%

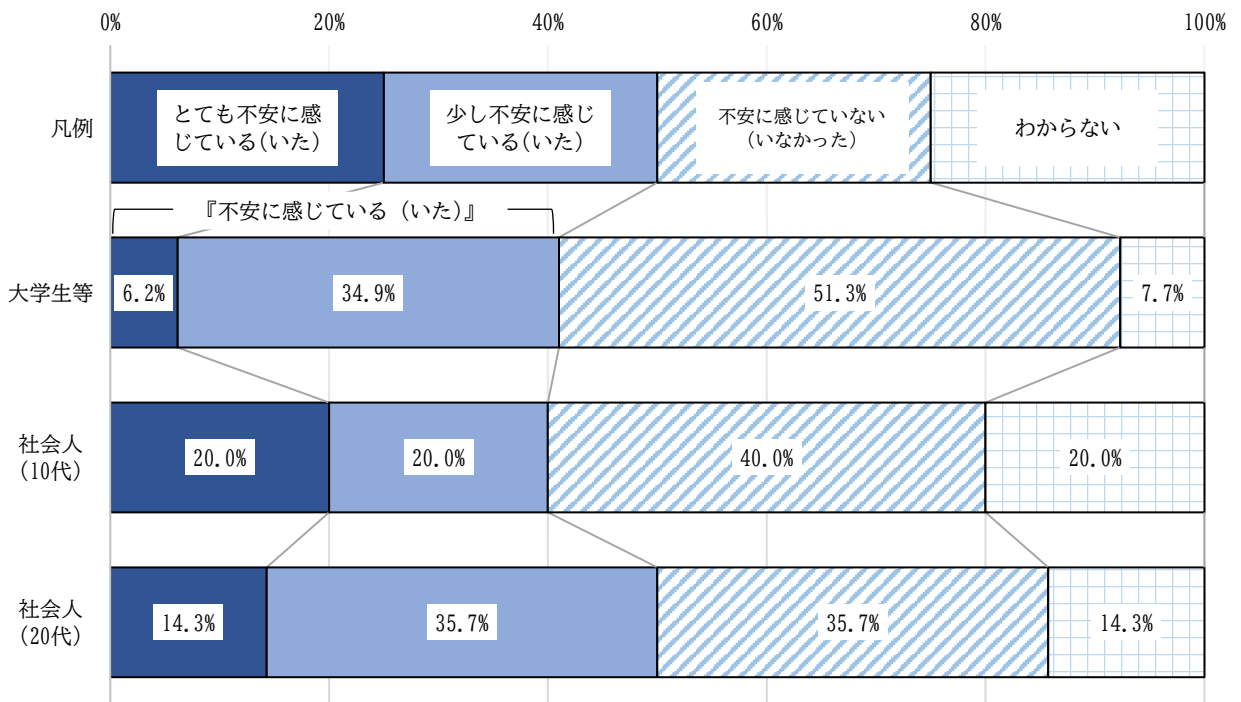
## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

成年年齢が引き下げられたことに対する不安の有無について、大学生等では、「不安に感じていない（いなかった）」が51.3%で、『不安に感じている（いた）（「とても不安に感じている（いた）」と「少し不安に感じている（いた）」を合わせた割合）が41.1%となっている。

社会人（10代）では、『不安に感じている（いた）』と「不安に感じていない（いなかった）」がともに40.0%となっている。

社会人（20代）では、『不安に感じている（いた）』が50.0%、「不安に感じていない（いなかった）」が35.7%となっている。

<成年年齢が引き下げられ、18歳で成年となったことについて、不安を感じていますか。(いましたか。)>  
(n=238)

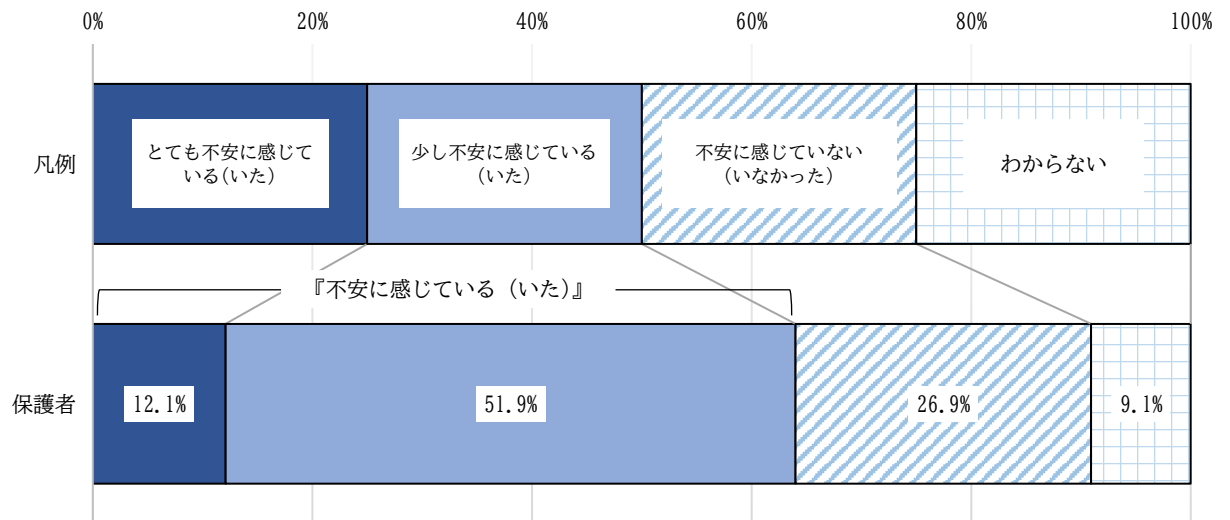


	とても不安に感じている (いた)	少し不安に感じている (いた)	不安に感じていない (いなかった)	わからない
大学生等	6.2%	34.9%	51.3%	7.7%
社会人(10代)	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%
社会人(20代)	14.3%	35.7%	35.7%	14.3%
全体	8.0%	34.0%	48.7%	9.2%

### 3) 保護者

成年年齢が引き下げられたことに対する不安の有無について、保護者では、『不安に感じている（いた）（「とても不安に感じている（いた）」と「少し不安に感じている（いた）」を合わせた割合』が64.0%、「不安に感じていない（いなかった）」が26.9%となっている。

<成年年齢が引き下げられ、18歳で成年となったことについて、不安に感じていますか。(いましたか。)> (n =



## 28. 成年年齢の引き下げに不安を感じる内容

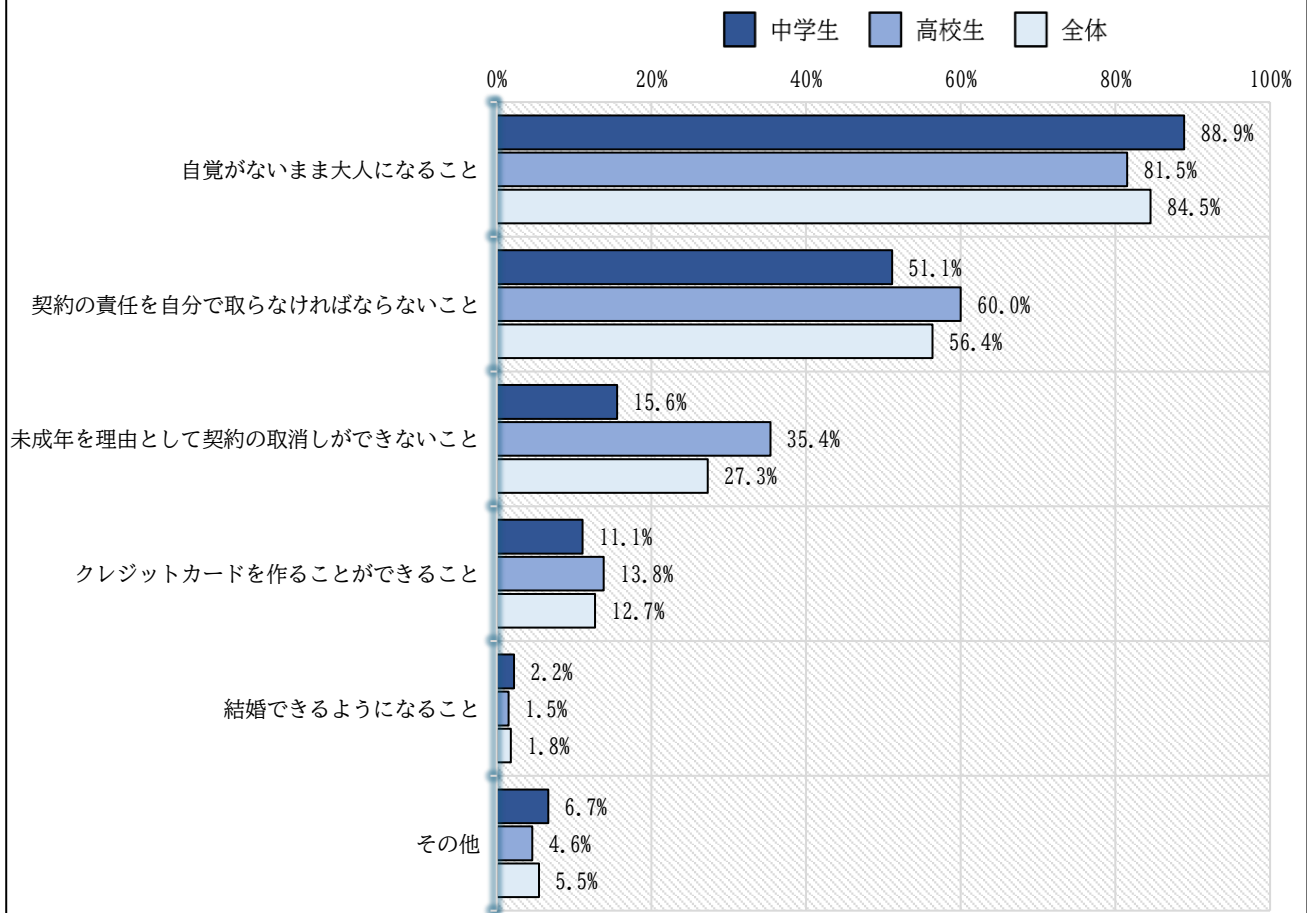
（回答対象：成年年齢が引き下げられたことに対する不安の有無で、「とても不安に感じている」、「少し不安に感じている」を選択した者）

### 1) 中学生、高校生

成年年齢の引き下げに不安を感じる具体的内容について、全体では、「自覚がないまま大人になること」が84.5%で最も高く、次いで「契約の責任を自分で取らなければならないこと」が56.4%、「未成年を理由として契約の取消しができないこと」が27.3%となっている。

中学生、高校生ともに、「自覚がないまま大人になること」が最も高く、中学生が88.9%、高校生が81.5%となっており、次いで「契約の責任を自分で取らなければならないこと」がともに高く、中学生が51.1%、高校生が60.0%となっている。

<どのようなことに不安を感じていますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=110)

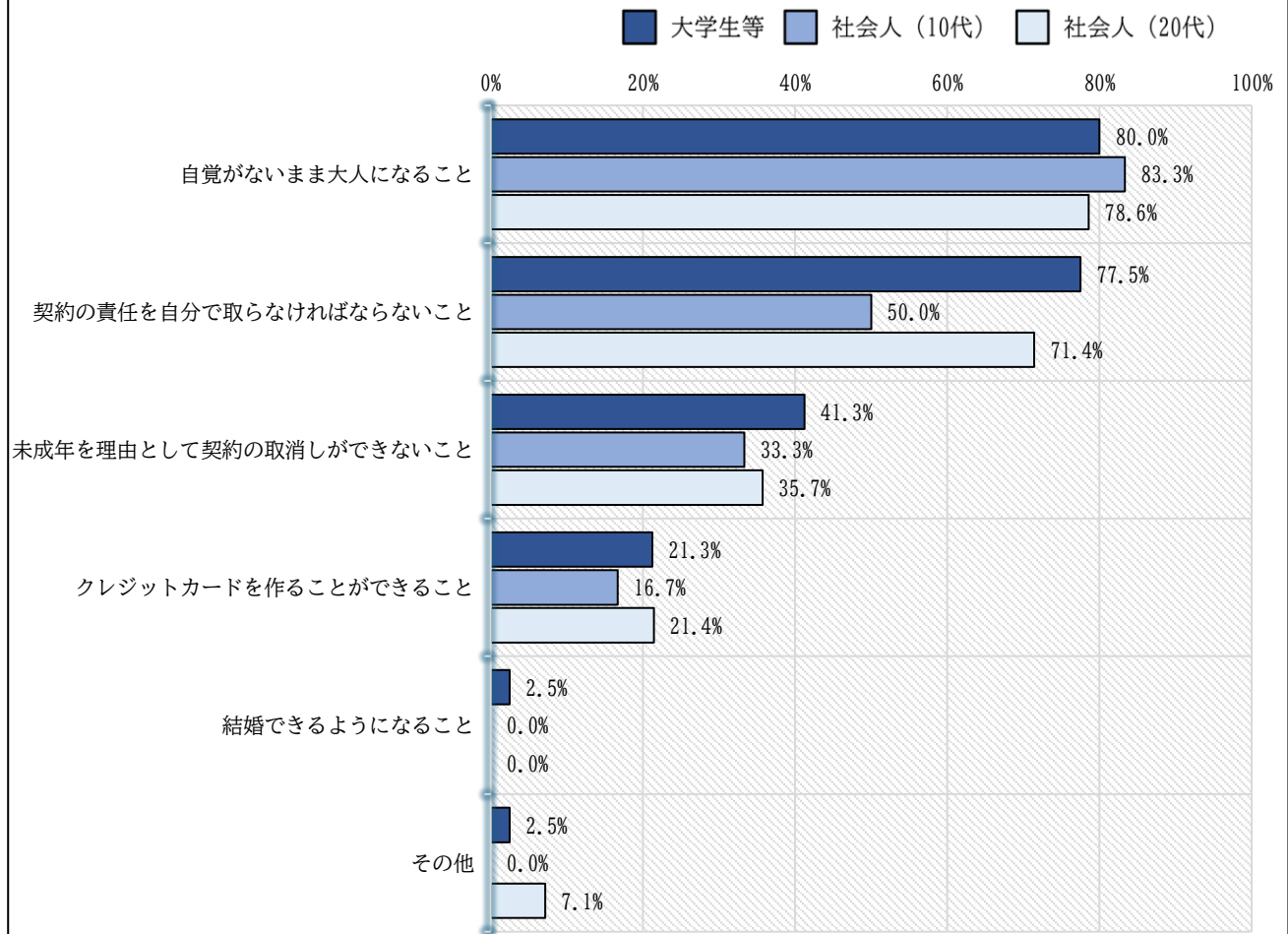


	自覚がないまま大人になること	契約の責任を自分で取らなければならないこと	未成年を理由として契約の取消しができないこと	クレジットカードを作ることができること	結婚できるようになること	その他
中学生	88.9%	51.1%	15.6%	11.1%	2.2%	6.7%
高校生	81.5%	60.0%	35.4%	13.8%	1.5%	4.6%
全体	84.5%	56.4%	27.3%	12.7%	1.8%	5.5%

## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

成年年齢の引き下げに不安を感じる具体的内容について、全ての年代で「自覚がないまま大人になること」が最も高く、大学生等が80.0%、社会人（10代）が83.3%、社会人（20代）が78.6%となっており、次いで「契約の責任を自分で取らなければならないこと」がいずれも高く、大学生等が77.5%、社会人（10代）が50.0%、社会人（20代）が71.4%となっている。

<どのようなことに不安を感じていますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=100)

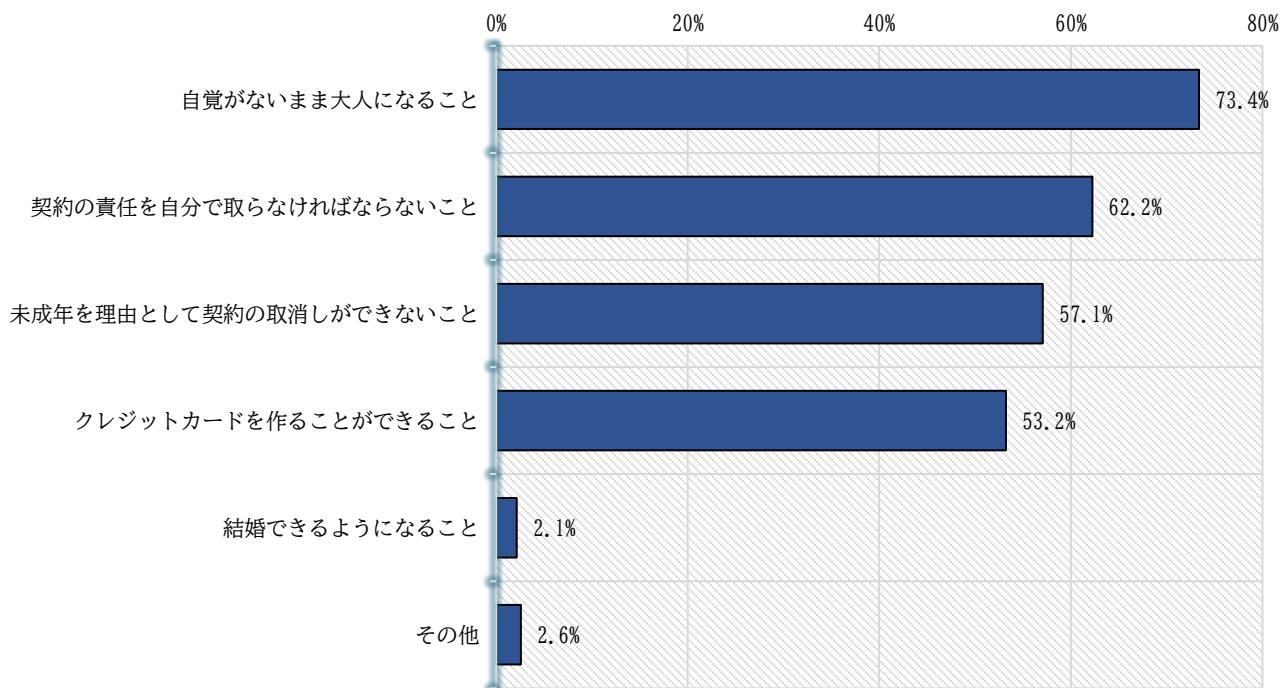


	自覚がないまま大人になること	契約の責任を自分で取らなければならないこと	未成年を理由として契約の取消しができないこと	クレジットカードを作ることができること	結婚できるようになること	その他
大学生等	80.0%	77.5%	41.3%	21.3%	2.5%	2.5%
社会人（10代）	83.3%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
社会人（20代）	78.6%	71.4%	35.7%	21.4%	0.0%	7.1%
全体	80.0%	75.0%	40.0%	21.0%	2.0%	3.0%

### 3) 保護者

成年年齢の引き下げに不安を感じる具体的内容について、保護者では、「自覚がないまま大人になること」が73.4%で最も高く、次いで「契約の責任を自分で取らなければならないこと」が62.2%、「未成年を理由として契約の取消しができないこと」が57.1%、「クレジットカードを作ることができること」が53.2%となっている。

<どのようなことに不安を感じていますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。> (n=233)



## 29. 消費者トラブル時の相談先の認知状況

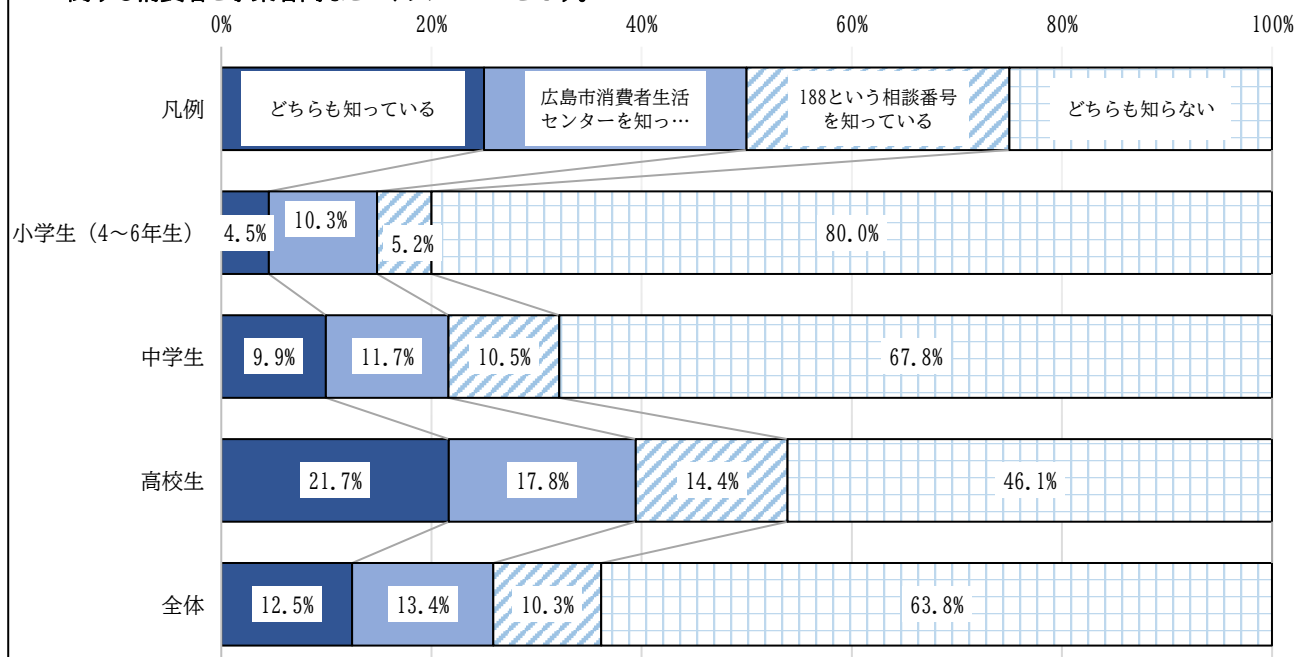
### 1) 小学生（4～6年生）、中学生、高校生

消費者トラブル時の相談先（広島市消費生活センター、消費者ホットライン188番（電話相談））の認知状況について、全体では、「どちらも知らない」が63.8%で最も高く、次いで「広島市消費生活センターを知っている」が13.4%となっている。

全ての年代で「どちらも知らない」が最も高く、小学生（4～6年生）が80.0%、中学生が67.8%、高校生が46.1%となっており、次いで小学生（4～6年生）と中学生では、「広島市消費生活センターを知っている」が高く、小学生（4～6年生）が10.3%、中学生が11.7%であり、高校生では、「どちらも知っている」が21.7%となっている。

<消費者トラブルに遭った際の相談先である、「広島市消費生活センター」や「消費者ホットライン188番（電話相談）」を知っていますか。>（n=506）

※消費者トラブルとは、「商品やサービスの契約で事業所とトラブルになった」「製品を使ってけがをした」などの消費生活に関する消費者と事業者間などのトラブルのことです。



	どちらも知っている	広島市消費生活センターを知っている	188という相談番号を知っている	どちらも知らない
小学生（4～6年生）	4.5%	10.3%	5.2%	80.0%
中学生	9.9%	11.7%	10.5%	67.8%
高校生	21.7%	17.8%	14.4%	46.1%
全体	12.5%	13.4%	10.3%	63.8%

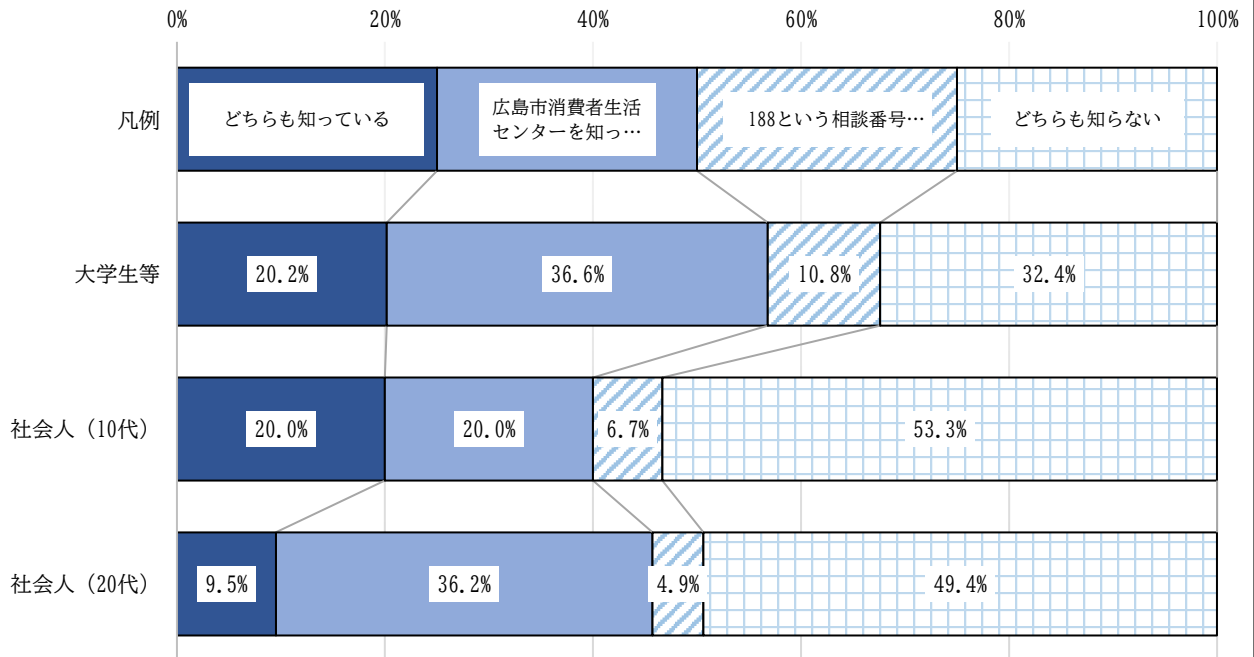
## 2) 大学生等、社会人（10代）、社会人（20代）

消費者トラブル時の相談先（広島市消費生活センター、消費者ホットライン188番（電話相談））の認知状況について、大学生等では、「広島市消費生活センターを知っている」が36.6%で最も高く、次いで「どちらも知らない」が32.4%となっている。

社会人（10代）、社会人（20代）ともに「どちらも知らない」が最も高く、社会人（10代）が53.3%、社会人（20代）が49.4%となっており、次いで社会人（10代）では、「広島市消費生活センターを知っている」と「どちらも知っている」がともに20.0%、社会人（20代）では、「広島市消費生活センターを知っている」が36.2%となっている。

<消費者トラブルに遭った際の相談先である、「広島市消費生活センター」や「消費者ホットライン188番（電話相談）」を知っていますか。>（n=554）

※消費者トラブルとは、「商品やサービスの契約で事業所とトラブルになった」「製品を使ってけがをした」などの消費生活に関する消費者と事業者間などのトラブルのことです。

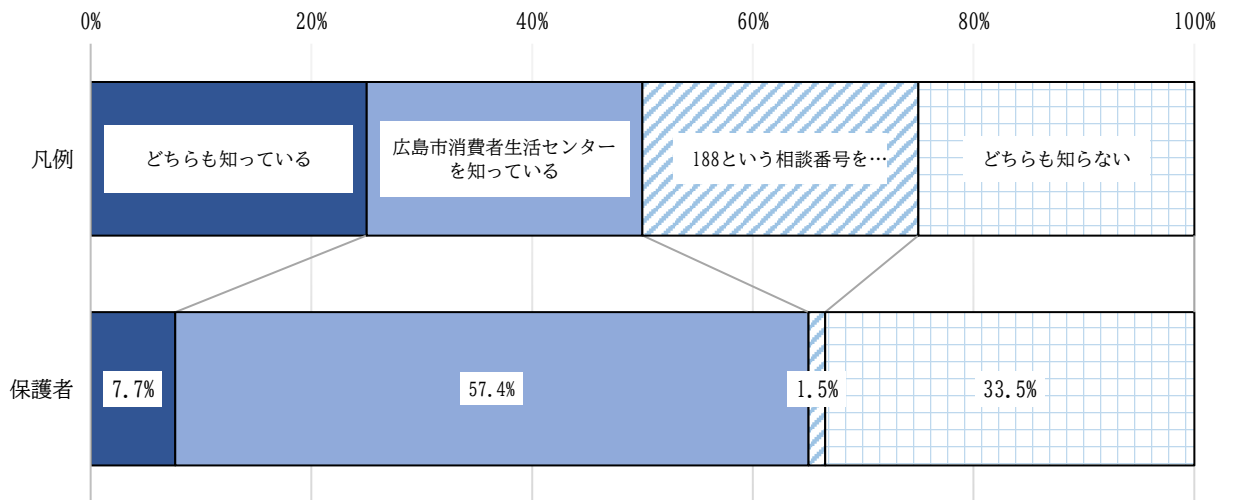


	どちらも知っている	広島市消費生活センターを知っている	188という相談番号を知っている	どちらも知らない
大学生等	20.2%	36.6%	10.8%	32.4%
社会人（10代）	20.0%	20.0%	6.7%	53.3%
社会人（20代）	9.5%	36.2%	4.9%	49.4%
全体	13.9%	35.9%	7.2%	43.0%

### 3) 保護者

消費者トラブル時の相談先（広島市消費生活センター、消費者ホットライン188番（電話相談））の認知状況について、保護者では、「広島市消費生活センターを知っている」が57.4%で最も多く、次いで「どちらも知らない」が33.5%となっている。

<消費者トラブルに遭った際の相談先である、「広島市消費生活センター」や「消費者ホットライン188番（電話相談）」を知っていますか。>（n=535）  
※消費者トラブルとは、「商品やサービスの契約で事業所とトラブルになった」「製品を使ってけがをした」などの消費生活に関する消費者と事業者間などのトラブルのことです。



### 30. 「エシカル消費」の認知状況

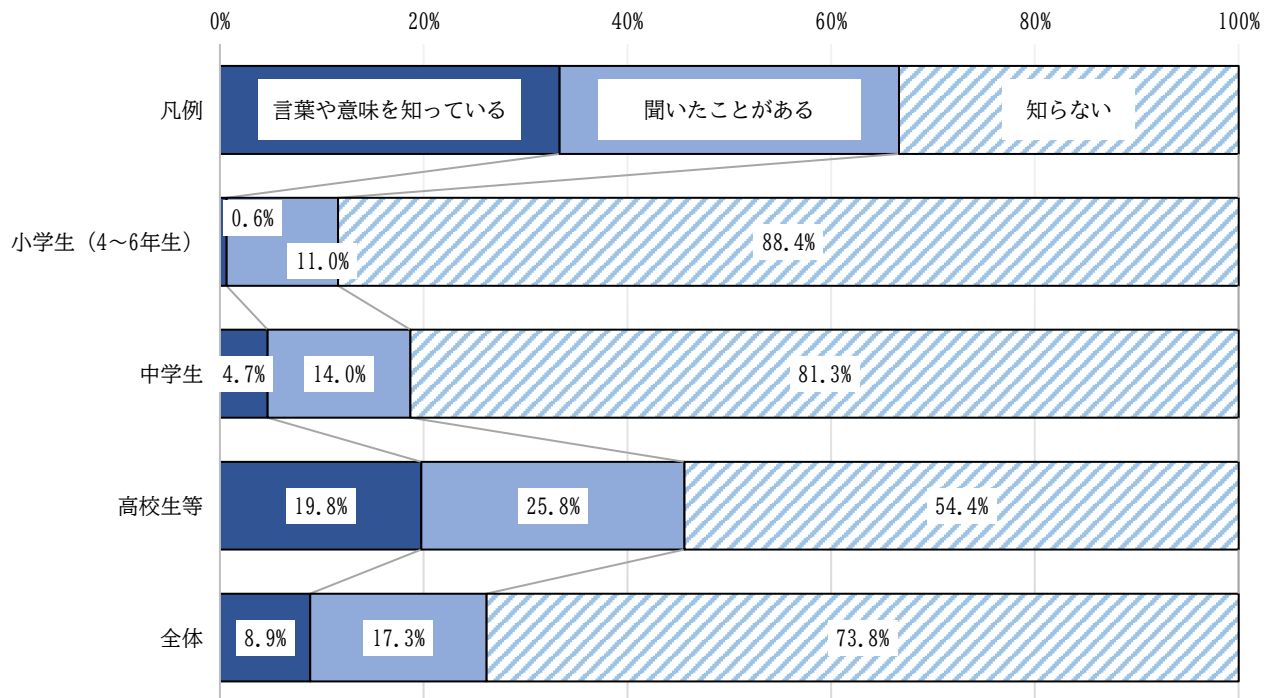
#### 1) 小学生（4～6年生）、中学生、高校生等

「エシカル消費」の認知状況について、全体では、「知らない」が73.8%で最も多く、次いで「聞いたことがある」が17.3%、「言葉や意味を知っている」が8.9%となっている。

全ての年代で「知らない」が最も多く、小学生（4～6年生）が88.4%、中学生が81.3%、高校生等が54.4%となっている一方、「言葉や意味を知っている」は、小学生（4～6年生）が0.6%、中学生が4.7%、高校生等が19.8%に留まっている。

<「エシカル消費」という言葉を知っていますか。> (n=508)

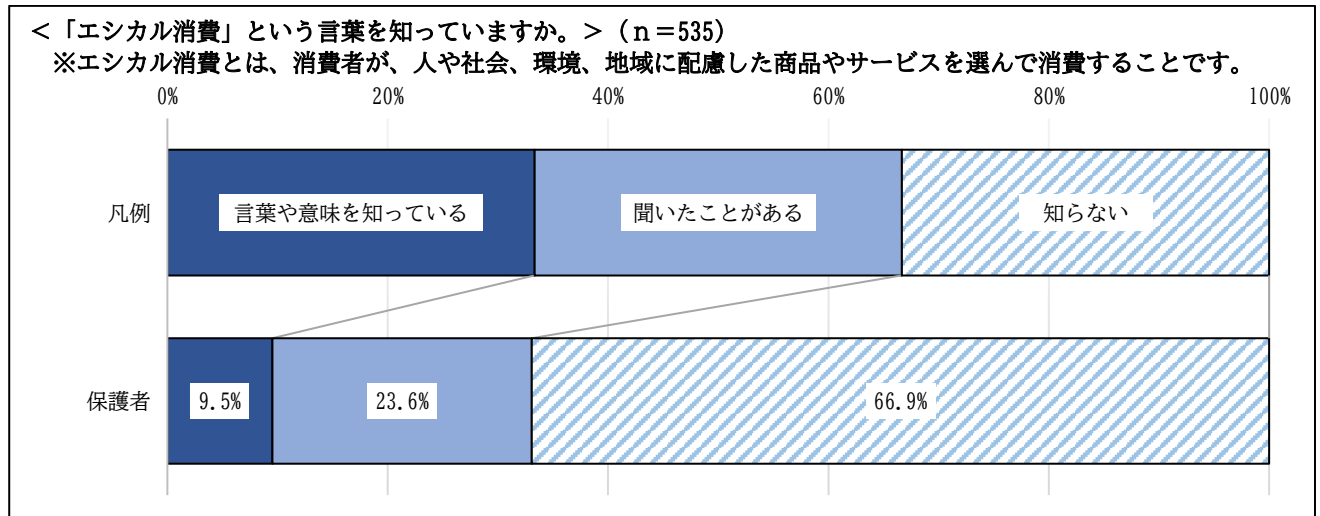
※エシカル消費とは、消費者が、人や社会、環境、地域に配慮した商品やサービスを選んで消費することです。



	言葉や意味を知っている	聞いたことがある	知らない
小学生（4～6年生）	0.6%	11.0%	88.4%
中学生	4.7%	14.0%	81.3%
高校生等	19.8%	25.8%	54.4%
全体	8.9%	17.3%	73.8%

## 2) 保護者

「エシカル消費」の認知状況について、保護者では、「知らない」が66.9%で最も高く、次いで「言葉や意味を知っている」が23.6%、「言葉や意味を知っている」が9.5%となっている。



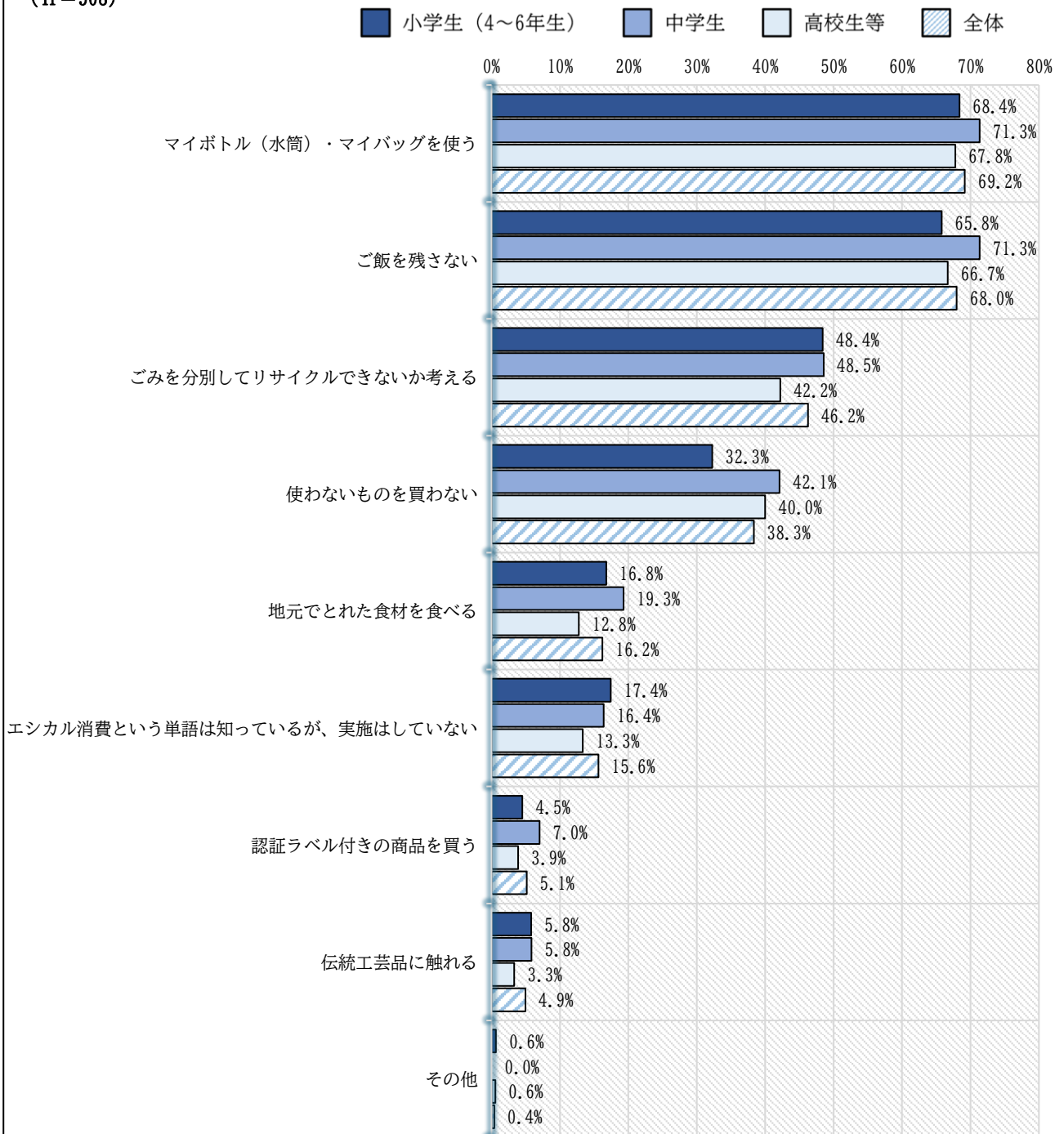
### 3.1. 実施しているエシカル消費の内容

#### 1) 小学生（4～6年生）、中学生、高校生等

実施しているエシカル消費の内容について、全体では、「マイボトル（水筒）・マイバッグを使う」が69.2%で最も高く、次いで「ご飯を残さない」が68.0%、「ごみを分別してリサイクルできないか考える」が46.2%となっている。

全ての年代で「マイボトル（水筒）・マイバッグを使う」が最も高く、小学生（4～6年生）が68.4%、中学生が71.3%、高校生等が67.8%となっており、中学生では「ご飯を残さない」が同じく71.3%となっている。次いで、小学生（4～6年生）と高校生等では「ご飯を残さない」が高く、小学生（4～6年生）が65.8%、高校生等が66.7%となっており、中学生は「ごみを分別してリサイクルできないか考える」が48.5%となっている。

<普段、どのようなエシカル消費を実施していますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください>  
(n=508)

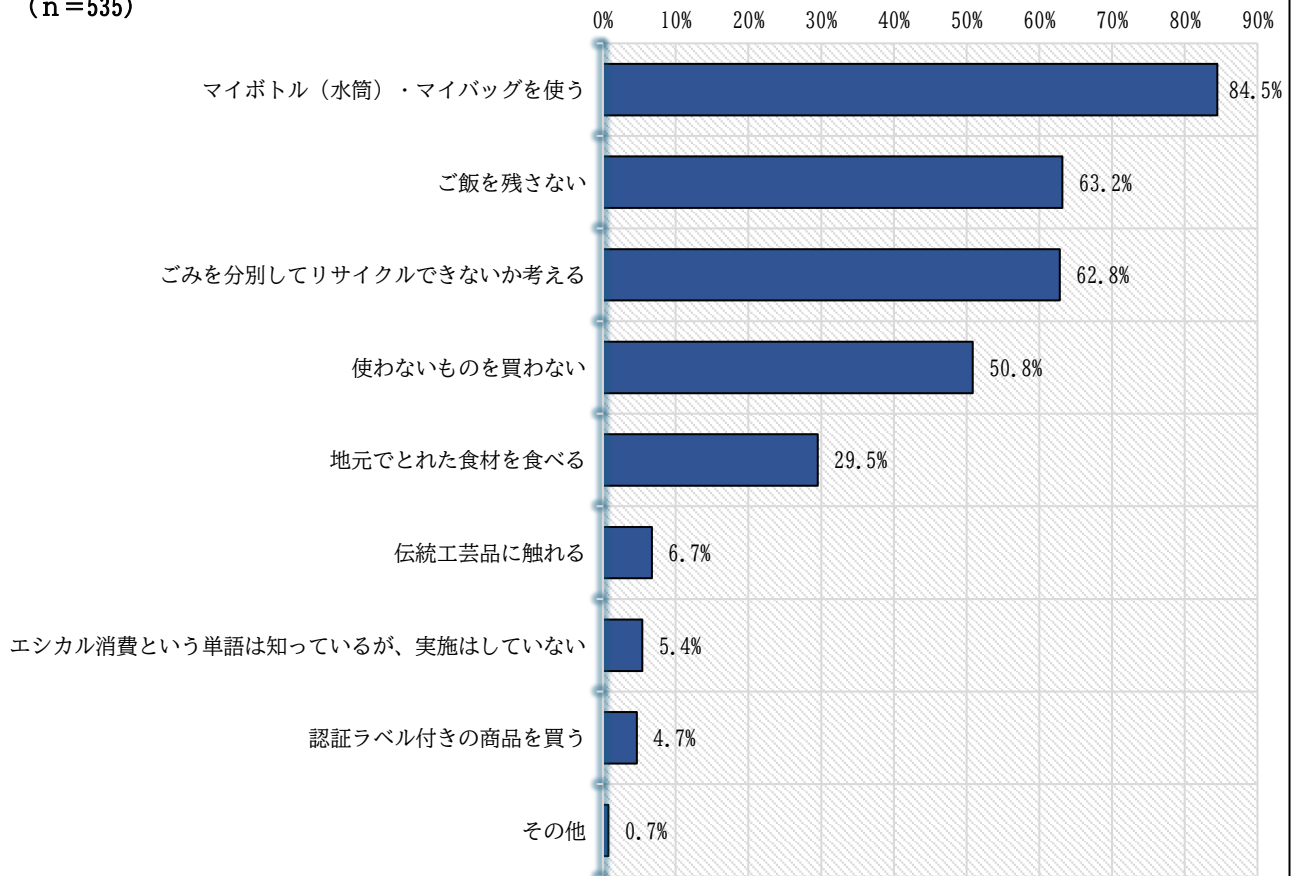


	マイボトル（水筒）・マイバッグを使う	ご飯を残さない	ごみを分別してリサイクルできないか考える	使わないものを買わない	地元でとれた食材を食べる	エシカル消費という単語は知っているが、実施はしていない	認証ラベル付きの商品を買う	伝統工芸品に触れる	その他
小学生（4～6年生）	68.4%	65.8%	48.4%	32.3%	16.8%	17.4%	4.5%	5.8%	0.6%
中学生	71.3%	71.3%	48.5%	42.1%	19.3%	16.4%	7.0%	5.8%	0.0%
高校生等	67.8%	66.7%	42.2%	40.0%	12.8%	13.3%	3.9%	3.3%	0.6%
全体	69.2%	68.0%	46.2%	38.3%	16.2%	15.6%	5.1%	4.9%	0.4%

## 2) 保護者

実施しているエシカル消費の内容について、保護者では、「マイボトル（水筒）・マイバッグを使う」が84.5%で最も高く、次いで「ご飯を残さない」が63.2%、「ごみを分別してリサイクルできないか考える」が62.8%、「使わないものは買わない」が50.8%となっている。

<普段、どのようなエシカル消費を実施していますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください>  
(n=535)



## Ⅱ 設問一覧

### 設問一覧

区分	設問文	選択肢	対象者区分
属性	居住区はどこですか。次のうち当てはまるものを選んでください。	① 中区 ② 東区 ③ 南区 ④ 西区 ⑤ 安佐南区 ⑥ 安佐北区 ⑦ 安芸区 ⑧ 佐伯区	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・中学生 ・15歳以上18歳未満の者 ・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以下の者 ・保護者
属性	あなたの性別を選んでください。	① 男性 ② 女性 ③ その他・答えたくない	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・中学生 ・15歳以上18歳未満の者 ・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以下の者 ・保護者
属性	あなたの職業等を選択してください。	① 大学生・専門学生等 ② 会社員等 ③ 自営業 ④ 公務員 ⑤ パート・アルバイト等 ⑥ 無職	・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以下の者
属性	あなたの職業を選択してください。	① 会社員等 ② 自営業 ③ 公務員 ④ パート・アルバイト等 ⑤ 無職	・15歳以上18歳未満の者 （学生以外の者） ・保護者
属性	あなたの同居家族の人数を教えてください。（あなたを含む）	① 1人（自分だけ） ② 2人 ③ 3人 ④ 4人 ⑤ 5人 ⑥ 6人以上	・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以上の者 ・保護者
属性	あなたの同居家族の構成を教えてください。	① 一人暮らし ② 夫婦のみ ③ 二世帯（親と同居） ④ 二世帯（子と同居） ⑤ 三世帯 ⑥ その他	・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以上の者 ・保護者
属性	あなたの婚姻関係を次から選んでください。	① 既婚 ② 未婚 ③ 離婚・死別	・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以上の者 ・保護者
属性	あなたの世帯は、経済的な意味で、現在の暮らしの状況をどう感じていますか。	① 大変苦しい ② やや苦しい ③ 普通 ④ ややゆとりがある ⑤ 大変ゆとりがある	・保護者
1. 広島市居住者が感じる都市の魅力	広島市に住んでいて、魅力だと感じることは何ですか。次のうち、当てはまるものを2つまで選んでください。	① 都心（広島駅周辺や紙屋町・八丁堀地区）がにぎわっていること ② 食が豊かなこと ③ 平和への取組が積極的に行われていること ④ 公共交通機関の利便性がよいこと ⑤ スポーツが盛んなこと ⑥ 文化・芸術が充実していること ⑦ 海・山・川など、自然豊かなこと ⑧ その他（自由記述）	・15歳以上18歳未満の者 ・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以下の者

区分	設問文	選択肢	対象者区分
2. 卒業後の進路	高校卒業後の進学について、進学先は県内と県外のどちらを希望していますか。 (保護者の方は、お子様のことについて、保護者自身の考えをお答えください。)	① 進学を予定していない ② 県内進学を希望 ③ どちらかといえば県内進学を希望 ④ どちらかといえば県外進学を希望 ⑤ 県外進学を希望 ⑥ 県内進学か県外進学はまだ決まっていない	・中学生 ・15歳以上18歳未満の者(高校生) ・保護者
3. 県内の大学等が進学先候補となる条件	どのような条件があれば、県内の大学等が進学先候補となりますか。次のうち、当てはまるものを2つまで選んでください。 【2.卒業後の進路で、「④どちらかといえば県外進学を希望」「⑤県外進学を希望」「⑥県内進学か県外進学かまだ決まっていない」のいずれかを選択した者】	① 自分の望む分野・レベルの学習ができる大学等に入学できること ② 授業料・入学料の減免制度や交通費の助成、余暇活動に関する助成など、一定の経済的支援を行っている大学等に入学できること ③ 学生寮の整備やWi-fi環境の整備、パソコンの配布など、施設等の面が充実している大学等に入学できること ④ 地域との連携活動や留学の支援制度、チューター制度など、学習に関する支援が充実している大学等に入学できること ⑤ インターンシップや就職相談など、就職に関する支援が充実している大学等に入学できること ⑥ その他(自由記述)	・中学生 ・15歳以上18歳未満の者(高校生) ・保護者
4. 就職先の希望	就職活動中の方について、就職先は県内と県外のどちらを希望していますか。	① 就職活動をしていない ② 県内の就職先を希望 ③ どちらかといえば県内の就職先を希望 ④ どちらかといえば県外の就職先を希望 ⑤ 県外の就職先を希望 ⑥ まだ決まっていない	・15歳以上18歳未満の者 ・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以下の者
5. 県内の企業が就職先候補となる条件	どのような条件があれば、県内の企業が就職先候補となりますか。次のうち、当てはまるものを2つまで選んでください。 【4.就職先の希望で、「④どちらかといえば県外の就職先を希望」「⑤県外の就職先を希望」「⑥まだ決まっていない」のいずれかを選択した者】	① 自分の望むやりがいのある仕事ができること ② 給与水準が高い企業に就職できること ③ 休暇制度や福利厚生が充実している企業に就職できること ④ 仕事とプライベートを両立できる企業に就職できること ⑤ 奨学金の返済支援や家賃補助など、経済的支援が充実している企業に就職できること ⑥ 性別に関わらず活躍できること ⑦ その他(自由記述)	・15歳以上18歳未満の者 ・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以下の者
6. 社会生活・日常生活での困難さの有無	現在、社会生活や日常生活の中で困難さを感じていることはありますか。	① ある ② どちらかといえばある ③ どちらかといえばない ④ ない ⑤ わからない	・15歳以上18歳未満の者 ・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以下の者

区分	設問文	選択肢	対象者区分
7. 困難さの主な原因	<p>困難さを感じている主な原因は何ですか。次のうち、当てはまるものすべてを選んでください。</p> <p>【6. 社会生活・日常生活での困難さの有無で、「①ある」又は「②どちらかといえばある」を選択した者】</p>	<p>① 学業に関すること（授業についていけない、成績が悪い など）</p> <p>② 学業の進路に関すること（希望の進学先ではない、中退 など）</p> <p>③ 学校の間関係（先生・友人 など）</p> <p>④ 学校でのいじめ・体罰・ハラスメント</p> <p>⑤ 不登校やひきこもりの状態にあること</p> <p>⑥ 仕事の量や内容が自分の能力を超えていること</p> <p>⑦ 仕事の内容が自分に不向きなことや、やりたい仕事でないこと</p> <p>⑧ 職場の間関係（上司・同僚 など）</p> <p>⑨ 職場でのいじめ・ハラスメント</p> <p>⑩ 無職であること</p> <p>⑪ 経済的なこと</p> <p>⑫ 家庭内の人間関係（親・きょうだい など）</p> <p>⑬ 家庭内で自分が看護・介護の担い手であること</p> <p>⑭ DV（ドメスティック・バイオレンス）</p> <p>⑮ 妊娠・出産の不安など</p> <p>⑯ 子育ての不安・負担など</p> <p>⑰ 身体的な病気・ケガ</p> <p>⑱ 精神的な病気</p> <p>⑲ 自身の性格に関すること（人付き合いが苦手 など）</p> <p>⑳ 自分の居場所だと感じるところがないこと</p> <p>㉑ 悩み事や不安などが相談できないこと</p> <p>㉒ その他（自由記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 15 歳以上 18 歳未満の者</li> <li>・ 18 歳以上 22 歳未満の者</li> <li>・ 22 歳以上 29 歳以下の者</li> </ul>
8. 困りごと・悩みごとの相談手段の希望	<p>困りごとや悩みごとがあったときに、どのような方法であれば相談しやすいですか。次のうち、当てはまるものすべてを選んでください。</p>	<p>① 対面で相談する</p> <p>② 電話で相談する</p> <p>③ LINE などの SNS やチャットで相談する。</p> <p>④ オンライン通話（Zoom など）で相談する</p> <p>⑤ メールで相談する</p> <p>⑥ 手紙で相談する</p> <p>⑦ その他（自由記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生（1～3 年生）</li> <li>・ 小学生（4～6 年生）</li> <li>・ 中学生</li> <li>・ 15 歳以上 18 歳未満の者</li> <li>・ 18 歳以上 22 歳未満の者</li> <li>・ 22 歳以上 29 歳以下の者</li> <li>・ 保護者</li> </ul>
9. オンライン上の悩みを共有する場（オンラインサロン・メタバース）の利用意向	<p>困りごとや悩みごとについて、同じ悩みを持つ人たちと、インターネット上で悩みを話せる場（オンラインサロンやメタバース（仮想空間））があれば、利用してみたいですか。</p>	<p>① ぜひ利用したい</p> <p>② どちらかといえば利用してみたい</p> <p>③ あまり利用したいとは思わない</p> <p>④ 利用したくない</p> <p>⑤ どちらでもない</p> <p>⑥ わからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生（1～3 年生）</li> <li>・ 小学生（4～6 年生）</li> <li>・ 中学生</li> <li>・ 15 歳以上 18 歳未満の者</li> <li>・ 18 歳以上 22 歳未満の者</li> <li>・ 22 歳以上 29 歳以下の者</li> <li>・ 保護者</li> </ul>
10. 広島市における「こども・若者の遊び・活動環境」	<p>広島市には、こども・若者にとって様々な遊びや活動ができる環境が確保されていると思いますか。</p>	<p>① そう思う</p> <p>② どちらかといえばそう思う</p> <p>③ どちらかといえばそう思わない</p> <p>④ そう思わない</p> <p>⑤ わからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生（1～3 年生）</li> <li>・ 小学生（4～6 年生）</li> <li>・ 中学生</li> <li>・ 15 歳以上 18 歳未満の者</li> <li>・ 18 歳以上 22 歳未満の者</li> <li>・ 22 歳以上 29 歳以下の者</li> <li>・ 保護者</li> </ul>

区分	設問文	選択肢	対象者区分
11. 家や学校以外で「行ってみたい・あったらいい・あったらいい」と思う居場所	家や学校以外で、あなたが「行ってみたい」「あったらいい」と思う居場所はどのようなところですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 友達と自由に話をしたり、遊べる場所</li> <li>② スポーツなど、体を動かせる場所</li> <li>③ 自習や読書（マンガを含む）など、静かに過ごせる場所</li> <li>④ テレビゲームやカードゲームなど、ゲームで遊べる場所</li> <li>⑤ 楽器の演奏や歌を歌うなど、音楽を楽しめる場所</li> <li>⑥ 絵を描くなどのアートや、工作、プラモデルなどができる場所</li> <li>⑦ 同じ趣味の人と一緒に楽しめる場所</li> <li>⑧ 食事を安く食べられる場所</li> <li>⑨ 相談もできる信頼できる大人がいる場所</li> <li>⑩ 地域の人と気軽に交流できる場所</li> <li>⑪ 自分たちが自由に好きなことができる場所</li> <li>⑫ 特にない</li> <li>その他（自由記述）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生（1～3年生）</li> <li>・小学生（4～6年生）</li> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> <li>・18歳以上22歳未満の者</li> <li>・22歳以上29歳以下の者</li> <li>・保護者</li> </ul>
12. 三滝少年自然の家の利用経験	三滝少年自然の家（グリーンスポーツセンターを含む）を利用したことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日帰りで利用したことがある</li> <li>② 宿泊でも利用したことがある</li> <li>③ 利用したことがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生（1～3年生）</li> <li>・小学生（4～6年生）</li> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> <li>・18歳以上22歳未満の者</li> <li>・22歳以上29歳以下の者</li> <li>・保護者</li> </ul>
13. 三滝少年自然の家に望む機能・設備	「三滝少年自然の家」を魅力的施設とするため、どのようなものがあれば良いと思いますか。次のうち、当てはまるものを3つまで選んでください。 【12. 三滝少年自然の家の利用経験で、「①日帰りで利用したことがある」または「③利用したことがない」を選択した者】	<ul style="list-style-type: none"> <li>① プレーパーク（火や水、木などの自然素材を使い、自身で工夫しながら自由に遊ぶ場所）</li> <li>② 芝生の広場</li> <li>③ 屋根付きの広場</li> <li>④ 水遊びができる場所</li> <li>⑤ 泥んこあそびができる場所</li> <li>⑥ 幼児向けの遊具</li> <li>⑦ 障害の有無に関係なく遊べる遊具</li> <li>⑧ 展望台・展望デッキ</li> <li>⑨ 室内の遊び場・休憩所</li> <li>⑩ 研修室</li> <li>⑪ デイキャンプ・バーベキュー場</li> <li>⑫ 軽食の提供（キッチンカーなど）</li> <li>⑬ 広い駐車場</li> <li>⑭ シャトルバス（例）横川駅⇄三滝少年自然の家）</li> <li>⑮ その他（自由記述）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生（1～3年生）</li> <li>・小学生（4～6年生）</li> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> <li>・18歳以上22歳未満の者</li> <li>・22歳以上29歳以下の者</li> <li>・保護者</li> </ul>
14. 三滝少年自然の家で体験したいプログラム	三滝少年自然の家において、どのような体験ができれば行きたいと思いますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 料理体験（飯ごう炊飯、ピザづくり、焼きマシュマロ体験など）</li> <li>② 自然体験（虫取り・動植物観察、天体観察など）</li> <li>③ 野外体験（ハイキング、トレッキング、木登りなど）</li> <li>④ 創作体験（クラフト、木工細工、お絵描きなど）</li> <li>⑤ 遊び体験（泥遊び、水遊び、落葉プール遊びなど）</li> <li>⑥ その他（自由記述）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生（1～3年生）</li> <li>・小学生（4～6年生）</li> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> <li>・18歳以上22歳未満の者</li> <li>・22歳以上29歳以下の者</li> <li>・保護者</li> </ul>
15. 児童館で遊んだ経験	児童館（※）へ遊びに行ったことがありますか。 ※小・中学生は誰でも遊びに行ける場所です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① はい</li> <li>② いいえ</li> <li>③ 分からない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生（1～3年生）</li> <li>・小学生（4～6年生）</li> <li>・中学生</li> </ul>

区分	設問文	選択肢	対象者区分
16. 児童館で楽しかったことや魅力的に感じたこと	児童館で楽しかったことや魅力的に感じたことは何ですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。 【15. 児童館へ遊びに行ったことがあるかで「①はい」または「③分からない」を選択した者】	① 本やおもちゃ、遊具などが置いてあり、自由に遊べること ② 児童館まつりなど、イベントがあること ③ ボール遊びなど、体を動かすことができること ④ 天気や気温に関係なく遊べること ⑤ 遊びを通じて他の学年の子どもと交流ができること ⑥ 特になし ⑦ その他（自由記述）	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・中学生
17. 児童館への要望	児童館に置いてほしいものや設備など、具体的な要望がありますか。次のうち、当てはまるものを全て選んでください 【15. 児童館へ遊びに行ったことがあるかで「①はい」または「③分からない」を選択した者】	① たくさんの本やおもちゃ ② 冷水器 ③ ボルダリングなどの大型遊具 ④ 特になし ⑤ その他（自由記述）	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・中学生
18. 児童館へ遊びに行ったことがない理由	児童館へ遊びに行ったことがない理由は何ですか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。 【15. 児童館へ遊びに行ったことがあるかで「②いいえ」を選択した者】	① 児童館で遊べることを知らなかつたから ② 放課後児童クラブに申込みをしないと、利用できないと思っていたから ③ 他に遊びに行く場所があるから ④ 塾や習い事で忙しいから ⑤ 近くに児童館がないから ⑥ その他（自由記述）	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・中学生
19. 放課後児童クラブの利用	放課後児童クラブに通っていますか。または、通っていたことがありますか。 （保護者の方は、お子様のことについて、お答えください。）	① はい ② いいえ ③ 分からない	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・保護者
20. 放課後児童クラブに置いてほしいものや設備	放課後児童クラブに置いてほしいものや設備はありますか、次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。 （保護者の方は、保護者自身の考えをお答えください。） 【19. 放課後児童クラブの利用で「①はい」を選択した者】	① たくさんの本やおもちゃ ② 冷水器 ③ Wi-Fi ④ 特になし ⑤ その他（自由記述）	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・保護者
21. 「インクルーシブ公園」の認知状況	「インクルーシブな公園」という言葉を聞いたことがありますか。 ※「インクルーシブな公園」とは、障害の有無などに関わらず遊ぶことができる遊具などが置かれている公園です。	① 知っている ② 知らない	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・中学生 ・15歳以上18歳未満の者 ・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以下の者 ・保護者
22. 公園に時計がなくて困った経験	公園で遊んでいるとき、公園に時計がなくて、時間が分からず困ったことがありますか。	① ない ② ある	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・中学生 ・15歳以上18歳未満の者 ・18歳以上22歳未満の者 ・22歳以上29歳以下の者 ・保護者
23. 平日の放課後における読書時間（教科書・参考書・漫画等を除く）	直近1か月のことを教えてください。 普段（月曜日から金曜日に学校の授業時間以外）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（電子書籍の読書も含む、教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。	① 2時間以上 ② 1時間以上、2時間より少ない ③ 30分以上、1時間より少ない ④ 10分以上、30分より少ない ⑤ 10分より少ない ⑥ 全くしない	・小学生（1～3年生） ・小学生（4～6年生） ・中学生 ・15歳以上18歳未満の者

区分	設問文	選択肢	対象者区分
24. 本の入手・閲覧方法	<p>普段どうやって本を読んでいますか。次のうち、当てはまるものを一つ選んでください。</p> <p>【23. 平日の放課後における読書時間で「①2時間以上」「②1時間以上、2時間より少ない」「③30分以上、1時間より少ない」「④10分以上、30分より少ない」「⑤10分より少ない」を選択した者】</p>	<p>① 学校の図書館で本を借りている</p> <p>② 地域の図書館で本を借りている</p> <p>③ 地域の書店で本を買っている</p> <p>④ オンライン書店で本を買っている</p> <p>⑤ 電子書籍を閲覧している</p> <p>⑥ その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生（1～3年生）</li> <li>・小学生（4～6年生）</li> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> </ul>
25. 読書をしなかった主な理由	<p>1か月の間に本を読まなかった理由はなんですか。次のうち、もっとも当てはまるものを選んでください。</p> <p>【23. 平日の放課後における読書時間で「⑥全くしない」を選択した者】</p>	<p>① 読書よりも他にやりたいことがあったから</p> <p>② 読まなくても困らないから</p> <p>③ 本を読むのが嫌いだから</p> <p>④ 本を読む時間がなかったから</p> <p>⑤ 何を讀んだらよいか分からなかったから</p> <p>⑥ 読みたい本が手に入らなかったから</p> <p>⑦ その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生（1～3年生）</li> <li>・小学生（4～6年生）</li> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> </ul>
26. インターネット利用で経験した困りごと	<p>インターネットを利用して困ったことはありますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。</p> <p>（保護者の方は、お子様のことについて、お答えください。）</p>	<p>① 友達とのインターネット上のやりとり</p> <p>② インターネット上で知り合った人とのやりとり</p> <p>③ インターネット上の誹謗中傷・いじめなど</p> <p>④ 自分の投稿による自分や他人の個人情報の流出</p> <p>⑤ 他人の投稿による自分の個人情報の流出</p> <p>⑥ インターネット上の偽情報や誤情報</p> <p>⑦ インターネットやゲームのやり過ぎ・依存</p> <p>⑧ オンラインゲームやアプリなどの課金</p> <p>⑨ ネットショッピングでのトラブル</p> <p>⑩ インターネット上のフリーマーケットサービスでのトラブル</p> <p>⑪ トラブルや困ったときの相談先が分からないこと</p> <p>⑫ その他（自由記述）</p> <p>⑬ 特に困ったことはない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生（4～6年生）</li> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> <li>・18歳以上22歳未満の者</li> <li>・22歳以上29歳以下の者</li> <li>・保護者</li> </ul>
27. 成年年齢の引き下げに対する不安	<p>成年年齢が引き下げられ、18歳で成年となったことについて、不安に感じていますか。（感じていましたか。）</p>	<p>① とても不安に感じている（感じていた）</p> <p>② 少し不安に感じている（感じていた）</p> <p>③ 不安に感じていない（感じていなかった）</p> <p>④ わからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> <li>・18歳以上22歳未満の者</li> <li>・保護者</li> </ul>
28. 成年年齢引下げに不安を感じる内容	<p>どのようなことに不安を感じていますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。</p> <p>【27. 成年年齢の引き下げに対する不安の有無で「①とても不安に感じている（感じていた）または「②少し不安に感じている（感じていた）」を選択した者】</p>	<p>① 未成年を理由として契約の取消しができないこと</p> <p>② クレジットカードを作ることができること</p> <p>③ 契約の責任を自分で取らなければならないこと</p> <p>④ 結婚できるようになること</p> <p>⑤ 自覚がないまま大人になること</p> <p>⑥ その他（自由記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> <li>・18歳以上22歳未満の者</li> <li>・保護者</li> </ul>
29. 消費者トラブル時の相談先の認知状況	<p>消費者トラブル（※）に遭った際の相談先である、「広島市消費生活センター」や「消費者ホットライン188番（電話相談）」を知っていますか。</p> <p>※消費者トラブルとは、「商品やサービスの契約で事業者とトラブルになった」「製品を使ってけがをした」などの消費生活に関する消費者と事業者間などのトラブルのことです。</p>	<p>① 広島市消費者生活センターを知っている</p> <p>② 188という相談番号を知っている</p> <p>③ どちらも知っている</p> <p>④ どちらも知らない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生（4～6年生）</li> <li>・中学生</li> <li>・15歳以上18歳未満の者</li> <li>・18歳以上22歳未満の者</li> <li>・22歳以上29歳以下の者</li> <li>・保護者</li> </ul>

区分	設問文	選択肢	対象者区分
30. 「エシカル消費」の認知状況	<p>「エシカル消費」(※)という言葉を知っていますか。  ※消費者が、人や社会、環境、地域に配慮した商品やサービスを選んで消費することです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 言葉や意味を知っている</li> <li>② 聞いたことがある</li> <li>③ 知らない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生(4~6年生)</li> <li>・ 中学生</li> <li>・ 15歳以上18歳未満の者</li> <li>・ 保護者</li> </ul>
31. 実施しているエシカル消費の内容	<p>普段、どのようなエシカル消費を実施していますか。次のうち、当てはまるものをすべて選んでください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① マイボトル(水筒)・マイバッグを使う(ごみを減らす)</li> <li>② ご飯を残さない(ごみを減らす)</li> <li>③ ごみを分別してリサイクルできないか考える(ごみを減らす)</li> <li>④ 使わないものを買わない(ごみを減らす)</li> <li>⑤ 認証ラベル付きの商品を買う(環境などに良い商品)</li> <li>⑥ 地元でとれた食材を食べる(地域を元気にする、食材を運ぶときに出る温室効果ガスを減らす)</li> <li>⑦ 伝統工芸品に触れる(地域の伝統をつなげる)</li> <li>⑧ その他(自由記述)</li> <li>⑨ エシカル消費という単語は知っているが、実施はしていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生(4~6年生)</li> <li>・ 中学生</li> <li>・ 15歳以上18歳未満の者</li> <li>・ 保護者</li> </ul>

登録番号 広 G3-2025-549

名 称 広島市こども・若者アンケート調査 報告書

発 行 広島市こども未来局こども未来調整課

所 在 地 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番 34号

電 話 082-504-2812